

NEC プロジェクター

ViewLight[®]
ビューライト

NP-PV800UL-WJL/NP-PV800UL-BJL

NP-PV730UL-WJL/NP-PV730UL-BJL

設置説明書

本機を安全にお使いいただくためにご使用前に必ずお読みください

目次

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください	5
本書の表記について	26

1. 製品概要、添付品、名称を確認する	27
1-1. 特長	27
1-2. 添付品の確認	29
1-3. 本体各部の名称	30
1-4. リモコン各部の名称	35
2. 映像を投写する（基本操作）	41
2-1. 映像を投写する流れ	41
2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する	42
2-3. 本機の電源を入れる	44
2-4. 入力信号を選択する	46
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する	48
2-6. 映像や音声を調整する	58
2-7. 本機の電源を切る	59
2-8. あとかたづけ	60
3. 便利な機能	61
3-1. 投写光を消灯する（シャッター）	61
3-2. オンスクリーン表示を消去する（オンスクリーンミュート）	61
3-3. 映像の一部を拡大する（部分拡大）	62
3-4. 輝度（明るさ）の調整	63
3-5. 台形歪みを調整する（台形補正）	66
3-6. セキュリティを設定して無断使用を防止する	71
3-7. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作	74
4. オンスクリーンメニュー	81
4-1. オンスクリーンメニューの基本操作	81
4-2. オンスクリーンメニュー一覧	85
4-3. 入力端子	89
4-4. 調整	90
4-5. セットアップ	95
4-6. 情報	115
4-7. リセット	117

5. レンズユニットや添付品などを取り付ける	118
5-1. レンズユニット（別売）を取り付ける	118
5-2. 落下防止用ストラップ（添付）を取り付ける	122
5-3. 電源コードストッパー（添付）を取り付ける	123
5-4. ケーブルカバー（別売）を取り付ける	124
6. 機器と接続する	126
6-1. コンピューターと接続する	127
6-2. 映像機器と接続する	128
6-3. HDBaseT 対応の伝送機器（市販）と接続する	130
6-4. 有線 LAN と接続する	132
7. 本体のお手入れ	133
7-1. レンズの清掃	133
7-2. キャビネットの清掃	134
7-3. フィルターの清掃	135
7-4. フィルターの交換	138
8. 付 録	140
8-1. 投写距離とスクリーンサイズ	140
8-2. 対応解像度一覧	148
8-3. 仕 様	149
8-4. 外観図	152
8-5. 主な端子のピン配列と信号	156
8-6. バックグラウンドロゴを変更する（Virtual Remote Tool）	158
8-7. ポートレート（縦向き）投写をする	159
8-8. 故障かな？と思ったら	161
8-9. インジケーター表示一覧	164
8-10. ASCII コントロールコマンドについて	166
8-11. トラブルチェックシート	168
8-12. 別売品	170
保証と修理サービス（必ずお読みください）	171
NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターのご案内	裏表紙

はじめに

このたびは、NEC プロジェクター（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機は、コンピューターやブルーレイプレーヤーなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この設置説明書（本書）をよくお読みください。また、万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。

本書は、下記の機種について共通の説明書です。NP-PV800UL-WJL を主にして説明しています。

本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

- 本書で説明している機種名

NP-PV800UL-WJL/NP-PV800UL-BJL/NP-PV730UL-WJL/NP-PV730UL-BJL

- 機種名について

本機に貼付している銘版では、機種名を「NP-PV800UL」または「NP-PV730UL」と表記しています。

本書では、機種名に「-WJL」または「-BJL」を付けて表記しています。

【注意】



- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
 - (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
 - (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
 - (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
-

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください




絵表示について

この説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	▲記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



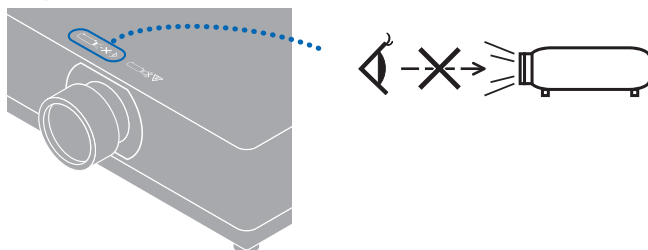
プロジェクターの投写光について



禁止

投写光と本体の表示

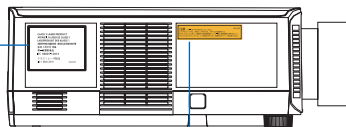
- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。
動作中は強い光が投写されていますので、視力障害の原因となります。またレンズ近くでのレーザー光への露光は、やけどを引き起こす可能性があります。特にお子様には注意してください。
- 投写光を、光学機器（ルーペや反射鏡など）を使ってのぞかないでください。視力障害の原因になります。
- プロジェクターの電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。
- お子様一人でプロジェクターを操作させないでください。お子様が操作する場合は、必ず大人が付き添い、お子様から目を離さないでください。
- レンズの上のプロジェクター上面に、次ののぞきこみ禁止を表す図記号を表示しています。



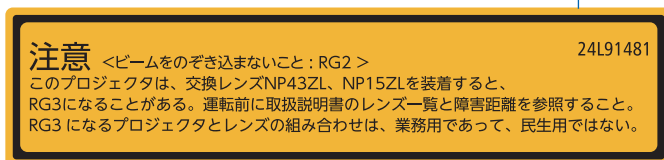
次ページへ続く

警告

- プロジェクター本体に次のラベルを貼付しています。
レーザー説明ラベル



レンズ交換注意ラベル



- 本機は、レンズユニットとの組み合わせによって、IEC 62471-5:2015 規格のリスクグループ 2 または 3 に分類されます。RG3 の場合、本機はプロフェッショナル用途となり、専門の設置業者による安全が担保された設置が必要です。リスクグループについて、詳しくは [17 ページ](#) をご覧ください。
- レーザー光線の安全に関する注意事項は [14 ページ](#) をご覧ください。

電源について



必ず行う

プロジェクターは日本国内専用です

- このプロジェクターと添付の電源コードは国内使用専用です。



必ず行う

正しい電源電圧で使用する

- このプロジェクターは、交流 100 ボルト、50/60Hz の電源で使用するように設計されています。プロジェクターを使用する前に、プロジェクターを接続する電源が要求を満たすものかを確認してください。
- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。危険ですので直接電灯線に接続しないでください。

警告



禁止



感電注意

電源コードの取り扱い

● このプロジェクターに添付している電源コードは、このプロジェクター専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

● 電源コードは大切に取扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。

・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない

・ コードの上に重い物をのせない

・ コードをプロジェクターの下敷きにしな

・ コードの上を敷物などで覆わない

・ コードを傷つけない、加工しない

・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない

・ コードを加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。

● 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

設置について



禁止

次のような所では使用しない

● 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所

・ 暖房の近くや振動の多い所

・ 屋外および湿気やほこりの多い場所

・ 油煙や湯気の当たるような場所

・ 調理台や加湿器のそば



水ぬれ禁止

● 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。

・ 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない

・ 風呂やシャワー室で使用しない

・ プロジェクターの上に花瓶、植木鉢を置かない

・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない

万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに連絡してください。



プラグを抜く

警告



注意

天吊り設置

- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。
設置業者様は、21 ページの「設置や保管についての注意事項」をご覧ください。
- 設置や取り扱いが適切でない、誤使用、改造、天災などに起因する事故、損害については、当社は一切責任を負いません。
- 天吊りなどの設置をしたときは、プロジェクターにぶらさがらないでください。落下してけがの原因となります。
- 天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントを使用してください。

使用について



禁止



プラグを抜く

内部に物を入れない

- プロジェクターの通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭では注意してください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに連絡してください。



プラグを抜く

故障したときは電源プラグを抜く



- プロジェクターから煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合や、プロジェクターを落としたりキャビネットを破損した場合は、プロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となるだけではなく、視力障害ややけどの原因となります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



分解禁止

プロジェクターの分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。
また改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電およびレーザー光がもれることによる視力障害ややけどの原因となります。
内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ依頼してください。

 警告	
 禁止  高温注意	<p>プロジェクターの動作中にレンズの前に物を置かない</p> <ul style="list-style-type: none">● 動作中にレンズにレンズキャップをしないでください。レンズキャップが高温になり変形します。● 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。● 上記を警告するために、プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。 
 禁止	<p>プロジェクターの清掃時</p> <ul style="list-style-type: none">● レンズやキャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。
 必ず行う  禁止	<p>ケーブルカバーについて（別売品）</p> <ul style="list-style-type: none">● ケーブルカバーを取り付け後、必ずネジ止めしてください。確実に固定されていないと、ケーブルカバーが外れてけがをするおそれがあります。また、落下してケーブルカバーが破損する原因となります。● 電源コードを束ねてケーブルカバー内に収納しないでください。電源コードを束ねると火災の原因となります。● ケーブルカバーを持つての移動や無理な力を加えることはしないでください。ケーブルカバーが破損しけがをするおそれがあります。
 禁止	<p>極めて高い信頼性を必要とする業務に使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">● 生命維持にかかわる医療機器などの人命に直接かかわる業務や、航空機、原子力設備などの極めて高い信頼性を必要とする業務には使用できません。

⚠️ 注意

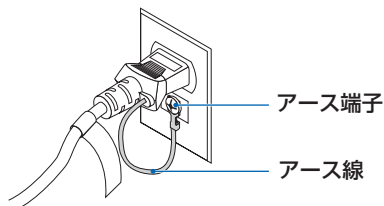
電源について



必ず行う

アース線を接続する

- このプロジェクターは電源コードのアース線をアースに接続することを前提に設計されているアースつき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。
- プロジェクターとコンピューター（信号源）は必ず同じアースに接続してください。プロジェクターとコンピューター（信号源）を離れた場所のアースに接続すると、アース電位の変動により、発火・発煙の原因となることがあります。
- アース工事は専門業者にご依頼ください。
- 必ず電源プラグをコンセントに差し込む前にアース線を接続してください。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後にアース線を外してください。



必ず行う



ぬれた手で
さわらない



プラグを抜く

電源コードの取り扱い

- プロジェクターの AC IN 端子に電源コードを接続する際は、コネクターを奥までしっかり差し込み、必ず電源コードストッパーを使って固定してください。電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- プロジェクターをお手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プロジェクターを移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外してください。
- 長期間、プロジェクターを使用しないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

設置について



必ず行う

レンズユニットは落下防止用ワイヤーで固定する

- 天吊りなど、本機を高所から吊り下げて設置するような場合は、落下防止用ワイヤー（市販品）を使ってレンズユニットを固定してください。固定しないと、レンズユニットが外れた場合に落下するおそれがあります。

使用について



禁止

過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない

- プロジェクターの Ethernet/HDBaseT ポートおよび LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。Ethernet/HDBaseT ポートおよび LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。



必ず行う

レンズシフト、フォーカス、ズームの操作

- レンズシフト、フォーカス、ズームはプロジェクターの後ろまたは横から調整してください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。
- レンズシフト動作中は、レンズの周囲に手を近づけないでください。キャビネットとレンズユニットの隙間に指を挟むおそれがあります。



禁止

電池の取り扱い

- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 - ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない。
 - ・ 指定以外の電池は使用しない。
 - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
 - ・ 電池を入れるときは、極性（+と-の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
- 電池を廃棄する際は、販売店、または自治体に問い合わせてください。



禁止



高温注意

通風口について

- プロジェクターの通風口をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクターを設置する場所は周囲から適度な空間をあけてください。（→ 23 ページ）
- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があり、やけどの原因となることがあります。

注意



禁止

プロジェクターの持ち運び

- プロジェクターを持ち運ぶときに、レンズ部分に手をかけないでください。フォーカスリングが回転し、プロジェクターが落下してけがの原因となることがあります。
- レンズユニットを外した状態で本機を持ち運ぶときに、レンズの取り付け部に手をかけないでください。また、接続端子部のくぼみに手をかけないでください。本機が破損して落下し、けがの原因となることがあります。
フィルターカバーを外したあとのくぼみを持って運ばないでください。キャビネットが破損してプロジェクターが落下してけがの原因となることがあります。
- 本機に別売のケーブルカバーを取り付けているとき、移動する場合は、ケーブルカバーを持たないでください。
ケーブルカバーが外れ本体が落下し、けがの原因となることがあります。



必ず行う

レンズの取り外し / 取り付け

- レンズユニットを取り外したり取り付けたりする際は、プロジェクターの電源を切り、電源コードを抜いてください。視力障害ややけどの原因となることがあります。



必ず行う

温度や湿度が急激に変化する環境での使用、保存を避ける

- 以下の使用環境・保存環境で本機をご使用、保存ください。守らなかった場合は故障、火災や感電などの原因となることがあります。
動作温度：0 ～ 45 °C / 湿度：20 ～ 80 % (結露のないこと)
保存温度：-10 ～ 50 °C / 湿度：20 ～ 80 % (結露のないこと)

点検と清掃について



必ず行う

プロジェクターの点検・本体内部の清掃

- 1年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に清掃すると、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

レーザー光線の安全に関する注意事項



- 本製品は、レーザー製品の安全基準 JIS C 6802:2018、および IEC 60825-1 3rd Edition:2014 においてクラス 1 に分類されています。
- 本製品にはレーザーモジュールが内蔵されています。本書に記載した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。またレンズ近くでのレーザー光への露光は、やけどを引き起こす可能性があります。

【内蔵されたレーザーの概要】

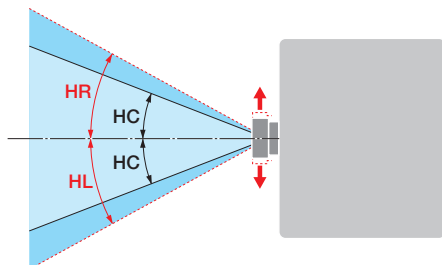
- ・ 波長：455 nm
- ・ 最大出力：176 W

レーザー光の放射範囲

下図は、レーザー光の最大の放射範囲を表しています。

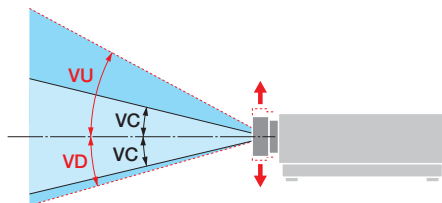
水平放射角：H（単位：度）

レンズユニット	ズーム	レンズの位置		
		右端	センター (参考値)	左端
		HR	HC	HL
NP11FL		31.8	31.8	31.8
NP12ZL	テレ	27.4	18.0	27.4
	ワイド	34.0	22.9	34.0
NP13ZL	テレ	15.1	9.6	15.1
	ワイド	28.3	18.6	28.3
NP14ZL	テレ	9.6	6.0	9.6
	ワイド	15.1	9.6	15.1
NP15ZL	テレ	6.4	4.0	6.4
	ワイド	9.7	6.1	9.7
NP40ZL	テレ	31.7	23.8	31.7
	ワイド	41.0	31.8	41.0
NP41ZL	テレ	13.0	9.4	13.0
	ワイド	27.9	20.7	27.9
NP43ZL	テレ	6.8	4.9	6.8
	ワイド	13.4	9.7	13.4
NP50ZL	テレ	42.0	32.7	42.0
	ワイド	48.2	38.6	48.2



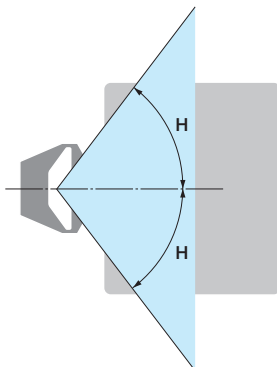
垂直放射角：V（単位：度）

レンズユニット	ズーム	レンズの位置		
		上	センター (参考値)	下
		VU	VC	VD
NP11FL		21.2	21.2	21.2
NP12ZL	テレ	24.0	11.5	13.7
	ワイド	30.1	14.8	17.6
NP13ZL	テレ	13.0	6.0	7.2
	ワイド	24.8	11.9	14.1
NP14ZL	テレ	8.3	3.8	4.5
	ワイド	13.1	6.0	7.2
NP15ZL	テレ	5.5	2.5	3.0
	ワイド	8.4	3.8	4.6
NP40ZL	テレ	28.9	15.4	18.3
	ワイド	37.8	21.2	24.9
NP41ZL	テレ	11.6	5.9	7.0
	ワイド	25.3	13.3	15.8
NP43ZL	テレ	6.1	3.0	3.7
	ワイド	12.0	6.1	7.3
NP50ZL	テレ	38.8	21.9	25.7
	ワイド	44.9	26.5	30.9



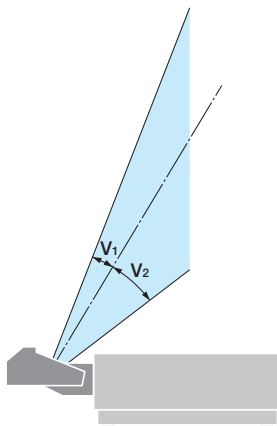
水平放射角：H（単位：度）

レンズ ユニット	レンズの位置	
	テレ	ワイド
NP44ML	—	55.8



垂直放射角：V（単位：度）

レンズ ユニット	テレ	ズーム	
		ワイド	
		V ₁	V ₂
NP44ML	—	10.7	24.6



リスクグループについて

本機は、レンズユニットとの組み合わせによって、IEC 62471-5:2015 規格のリスクグループ 2 またはリスクグループ 3 に分類されます。

リスクグループ 2 (RG2)



明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。 RG2 IEC 62471-5:2015.

リスクグループ 3 (RG3)

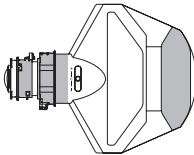
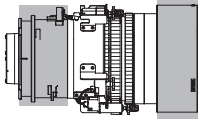


- RG3 の場合、本機はプロフェッショナル用途となり、安全が担保される設置が必要です。そのため専門の設置業者が設置することが義務付けられていますので、必ず販売店へご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。視力障害などの原因となります。
- 目へのビームの直接被ばくを禁止します。RG3 IEC 62471-5:2015
- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。視力傷害の原因になります。
- 機器管理者（オペレーター）は、侵入禁止領域内でのビームへの被ばくを管理するか、侵入禁止領域内での観客の目への露光を避ける高さの本機を設置すること。
- プロジェクターの電源を入れる際は、プロジェクター本体の側面または背面（侵入禁止領域の外）で操作してください。

・本機を設置する前に確認してください

① レンズユニット型名

レンズユニットの型名は、下図の  で示した位置のいずれかに記載されています。

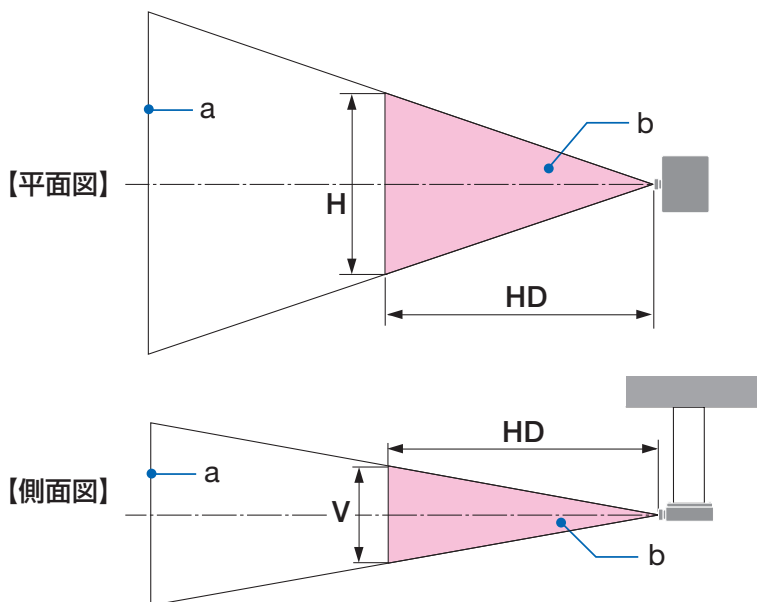
NP44ML の場合	NP44ML 以外の場合
	

② リスクグループ 3 に分類される組み合わせ

プロジェクター型名	レンズユニット型名
NP-PV800UL-WJL/NP-PV800UL-BJL	NP15ZL
NP-PV730UL-WJL/NP-PV730UL-BJL	NP43ZL

・リスクグループ 3 の場合の侵入禁止領域と注意事項

下図の範囲は、IEC 62471-5:2015 にてリスクグループ 3 (RG3) に分類された投写光の範囲 (侵入禁止領域) を表しています。



a : スクリーン / b : 侵入禁止領域

NP-PV800UL-WJL/NP-PV800UL-BJL

レンズユニット		侵入禁止領域 (m)		
		HD(m)	水平 H	垂直 V
NP15ZL	ワイド	1.0	0.25	0.16
	テレ	1.5	0.23	0.15
NP43ZL	ワイド	0.7	0.26	0.16
	テレ	1.4	0.24	0.16

NP-PV730UL-WJL/NP-PV730UL-BJL

レンズユニット		侵入禁止領域 (m)		
		HD(m)	水平 H	垂直 V
NP15ZL	ワイド	0.9	0.23	0.14
	テレ	1.3	0.21	0.13
NP43ZL	ワイド	0.7	0.23	0.15
	テレ	1.2	0.21	0.13

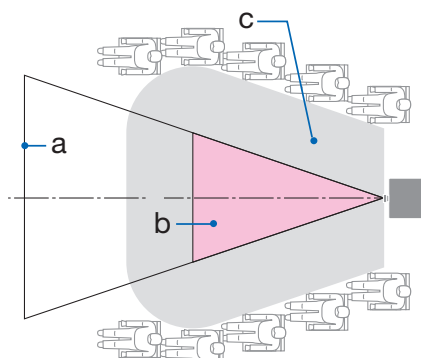
保安領域について

保安領域や物理的バリアを設けることで、人の目が侵入禁止領域に侵入することを防止できます。

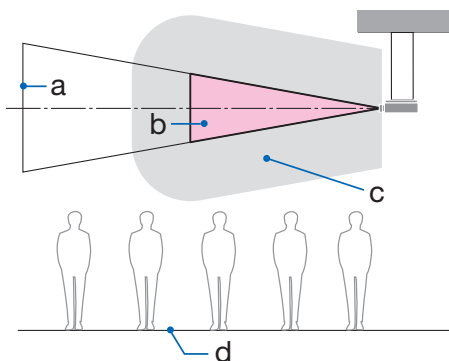
公共の施設など、機器管理者 (オペレーター) が侵入禁止領域内への観客の侵入を制御できないときは、観客の安全を考慮した保安領域として、侵入禁止領域から 1m 以上の空間を確保することをおすすめします。また、プロジェクターを頭上に設置する場合は、床面と侵入禁止領域の距離を垂直方向に 3m 以上確保することをおすすめします。

保安領域を考慮した設置例

① 床置きまたはデスクトップ設置の例



② 天吊り設置の例



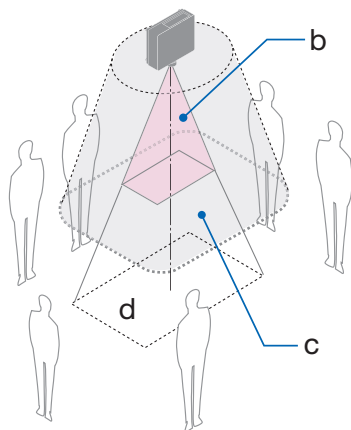
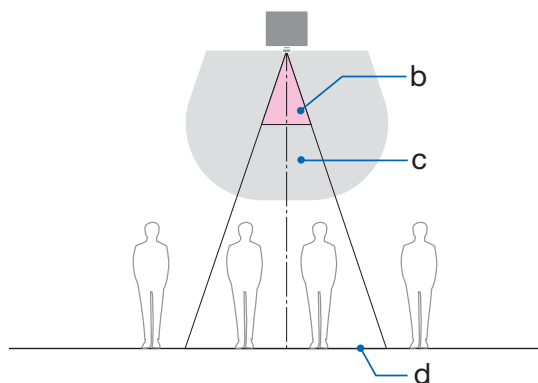
a : スクリーン / b : 侵入禁止領域 / c : 保安領域 / d : 床面



注意

天吊り時に侵入禁止領域へ観客の侵入が想定される場合（例えば床面と保安領域の距離が2m以下の場合）は、その範囲への観客の立ち入りに制限が必要です。

③ 天井に設置して下向き投写の例



b : 侵入禁止領域 / c : 保安領域 / d : 床面



注意

床面と侵入禁止領域の間の保安領域を確保できない場合は、右図のように画面の周囲への観客の立ち入りに制限が必要です。

※ レンズシフトをお使いの場合は、画面が移動します。シフト量も考慮してください。



安全確保のため、以下の事項を順守してください。

設置について

- 設置場所のレイアウト設計の際には本書に記載された安全への処置の実施を遵守すること。
- 危険回避のため、緊急時に電源プラグをコンセントから抜けるように、コンセントは手の届く範囲に設置すること。
もしくは、プロジェクターを停止できるようなデバイス（ブレーカー）を設けること。
- 前項の侵入禁止領域へ人の目が入らないような安全処置をすること。
- 設置する場所に適したレンズを選定し、レンズごとに設定された安全のための領域を確保する処置を適切にすること。
プロジェクターを動作させて光の調整作業などをする前に、必ず適切な処置を完了すること。
- 設置後にレンズごとに設定された安全確保の処置が適切に施行されているか妥当性を確認すること。
妥当性の確認は定期的を実施し、確認結果の記録を保管すること。

設置業者または販売店から機器管理者（オペレーター）に対して、必ず以下を実施してください

- 機器管理者（オペレーター）に対して、安全に関する教育を機器使用前に必ず実施すること。
- 機器管理者（オペレーター）に対して、動作前点検（投写光に対する安全の確認を含む）を必ず実施するように指示すること。
- 機器管理者（オペレーター）に対して、プロジェクター動作時には必ず機器管理者（オペレーター）が緊急時の対応が出来るような状態で管理するように指示すること。
- 機器管理者（オペレーター）に対して、本書、点検記録をいつでも参照できるところへ保存・保管しておくよう指示すること。
各国、各地域の規制を遵守した状態であることを明確にしておくように指示すること。

電波障害に関する注意事項

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

警告：本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

プロジェクターに接続する信号ケーブルは、フェライトコア付きやシールドタイプを使用してください。

それ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

詳しくは、本書の「機器と接続する」をご覧ください。

設置や保管についての注意事項

● 次のような場所に設置したり、保管したりしないでください。

- ・ 振動や衝撃が加わる場所
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、プロジェクターに振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。
- ・ 高圧電線や動力源の近く
妨害を受ける場合があります。
- ・ 強い磁界が発生する場所
故障の原因となります。
- ・ 屋外および湿気やほこりの多い場所
油煙や湯気の当たるような場所
腐食性のガスが発生する場所
キャビネットに油や薬品、水分などが付着した場合、キャビネットの変形またはひび割れ、金属部分の腐食、および故障の原因となります。

● 設置業者様へ

- ① 落下防止のためプロジェクターおよび天井取付けユニットの荷重に長期間耐えるようにしてください。
- ② 設置は、天井取付けユニットの取扱説明書に従って、正しく確実に作業してください。所定のネジや固定金具はすべて確実に取り付けてください。
- ③ 落下防止のために落下防止ワイヤーを使用してください。
 - ・ 市販の金具などを用いて建物や構造物の丈夫な箇所とプロジェクターのセキュリティバーを落下防止ワイヤーで接続してください。
 - ・ 市販の金具や落下防止ワイヤーはプロジェクターおよび天井取付けユニットの荷重に耐えられるように十分強度のある物をご使用ください。

- ・落下防止ワイヤーはプロジェクターに負荷をかけないように、少したるませるように設置してください。
- ・セキュリティバーの位置については、30 ページをご覧ください。

廃棄について

プロジェクターを廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

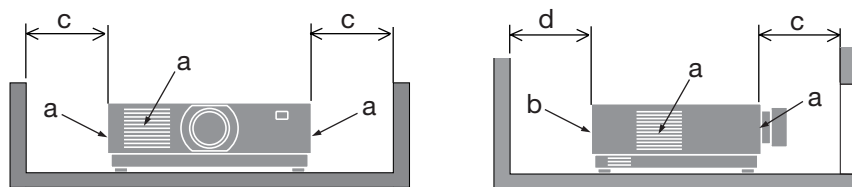
プロジェクターの性能確保のための注意事項

- レーザー光線のような強い光がレンズから入り込むと、故障の原因となります。
- たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して（12 時間／日または 260 日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめ NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
- コンピューターなどで同じ絵柄の静止画を長時間投写すると、その絵柄が画面に若干残りますが、しばらくすると消えます。これは液晶パネルの特性上発生するもので、故障ではありません。コンピューター側でスクリーンセーバーをお使いになることをおすすめします。
- 標高約 1600 m 以上の場所でプロジェクターを使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、プロジェクター内部が高温になり、故障の原因となります。
- プロジェクターを高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品の交換時期が早まる場合があります。
- プロジェクターの持ち運びについて
 - ・いったんレンズユニットを取り外し、レンズに傷が付かないように必ずレンズキャップを取り付けてください。また、プロジェクターには防塵キャップを取り付けてください。
 - ・プロジェクターに振動や強い衝撃を与えないでください。プロジェクターの故障の原因となります。
- チルトフットはプロジェクターの傾き調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、投写レンズ面には手を触れないでください。
- 投写中に電源コードを抜かないでください。プロジェクターの AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、プレーカーなどを利用してください。
- リモコンの使用上の注意
 - ・リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
 - ・リモコンとリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。

- ・電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。
- ・蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
- ・誤動作防止のために、エアコンやステレオコンポなど他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。
- ・他の機器のリモコンによる影響が懸念される場合は、リモコンの識別 ID (リモコン ID またはコントロール ID) を設定するなどして誤動作を防止してください。
- ・プロジェクターから約 20 m 以内でプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作してください。
- ・リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- ・リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- ・長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を 2 本とも取り出してください。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明などプロジェクター以外からの光が入らないようにしてください。外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

設置する際の周囲との距離についての注意

- プロジェクターを設置する際は、下記のように周囲に十分な空間を作ってください。プロジェクターから出た高温の排気が再びプロジェクターに吸気される場合があります。また、エアコンから吹き出された風がプロジェクターに当たらないようにしてください。プロジェクターの温度制御で異常（温度エラー）を感知して自動的に電源が切れることがあります。



a : 吸気口 / b : 排気口 / c : 20cm 以上 / d : 30cm 以上

[注意]

- 上の図において、プロジェクターの上方には十分な空間があるものとします。

- 複数台のプロジェクターを並べて設置する場合は、吸気と排気に障害が生じないように、本体の周囲に十分な空間をあけてください。吸気と排気に障害が生じると、プロジェクターの内部温度が上昇し、故障の原因となります。



投写する映像の著作権について

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、プロジェクターを使って映像を投写する場合、プロジェクターの機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

本機のパワーマネージメント機能についてのお知らせ

本機は、消費電力を抑えるため、工場出荷時に以下のパワーマネージメント機能 (1)、(2) を設定しています。本機を LAN やシリアルケーブルなどを經由して外部機器から制御する場合は、オンスクリーンメニューを表示して (1)、(2) の設定を変更してください。

- (1) スタンバイモード (工場出荷時の設定：ノーマル)

外部機器から制御する場合は「ネットワークスタンバイ」または「スリープ」に変更してください。(→ 109 ページ)

- (2) オートパワーオフ (工場出荷時の設定：1 時間)

外部機器から制御する場合は「オフ」に変更してください。(→ 111 ページ)

有線 LAN に関するご注意

- 本機の Ethernet/HDBaseT ポートおよび LAN ポートは公衆回線（電気通信事業者から貸与またはレンタルされたルーターを含む）に直接接続することを意図して設計されていません。そのため Ethernet/HDBaseT ポートおよび LAN ポートを公衆回線に直接接続することは電気通信事業法で禁止されています。

商標について

- ・ ViewLight、ビューライト、NaViSet、ProAssist、Virtual Remote は、シャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の商標または登録商標です。
- ・ Mac は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ Microsoft、Windows、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。



- ・ HDBaseT™および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の商標です。



- ・ PJLink 商標は、日本・米国その他の国や地域における登録商標または出願商標です。
- ・ ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- ・ CRESTRON, CRESTRON ROOMVIEW は Crestron Electronics, Inc. の米国その他の国における登録商標または商標です。
- ・ Ethernet は、富士フイルムビジネスソリューション株式会社の登録商標です。
- ・ Extron および XTP は RGB Systems, Inc. (RGB システムズ社) の米国における登録商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。
- ・ Virtual Remote Toolは Nicom soft Ltd. の Win I2C/DDC ライブラリを利用しています。

本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、当社のホームページをご参照ください。

<https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/pj/manual/lineup.html>

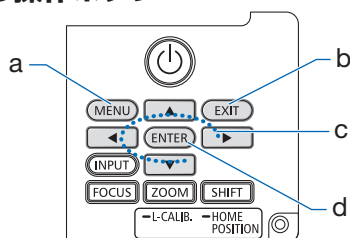
本書の表記について

マークの意味

[重要]	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
[注意]	注意や制限事項を表しています。
[参考]	補足説明や役立つ情報を表しています。
→ 00 ページ	本書内の参照ページを表しています。

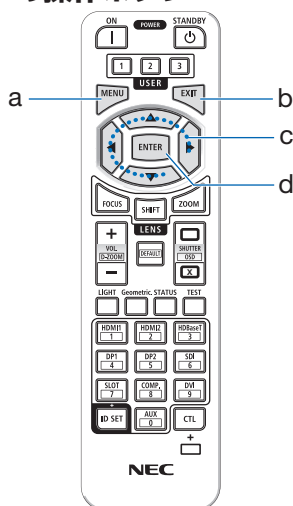
操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン



- a : MENU
- b : EXIT
- c : 上下左右の場合：▼▲◀▶
左右の場合：◀ / ▶
下の場合：▼
- d : ENTER

●リモコンの操作ボタン



[参考]

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

1. 製品概要、添付品、名称を確認する

1-1. 特長

● 液晶方式の高輝度・高解像度プロジェクター

本機は、表示解像度 1920 ドット× 1200 ライン (WUXGA)、アスペクト比 16:10 のプロジェクターです。

機種名	明るさ
NP-PV800UL-WJL/NP-PV800UL-BJL	8000 lm
NP-PV730UL-WJL/NP-PV730UL-BJL	7300 lm

● 長寿命レーザー光源を採用

レーザー光源は長寿命のため、光源の交換や調整などのメンテナンスが長期間不要になり、ローコストオペレーションを実現します。

● 設置場所に応じて選べるオプションレンズ

本機は、10 種類のオプションレンズに対応しています。様々な設置場所、投写方法に合わせたレンズが選択できます。

なお、工場出荷時はレンズが装着されていないので別途オプションレンズをお買い求めください。

● 電動レンズコントロールで容易な画面調整

本体背面の操作ボタンやリモコンの操作で、投写画面の位置調整 (レンズシフト) ができます。

● 360° の設置、ポートレート投写が可能

本機は、垂直方向と水平方向 360° の、どの角度でも設置が可能です。

本機を傾けて設置する場合は、十分な強度のある金具を使用してください。

また、投写画面を 90° 傾けたポートレート投写も可能です。必ず専用のスタンドを製作して設置してください。

● 信号切り替え時の画面変更をスムーズに見せるシームレススイッチング機能

入力端子切り替え時、切り替え前の映像を保持することで、無信号状態を経ずに切り替え後の映像が映し出されます。

● 有線 LAN

LAN ポートと Ethernet/HDBaseT ポート (RJ-45) を装備しており、有線 LAN に接続してコンピューターから本機を制御することができます。

● 便利なアプリケーションソフトに対応

当社のアプリケーションソフト（NaViSet Administrator 2、ProAssist、Virtual Remote Tool など）に対応しています。有線 LAN で接続したコンピューターからプロジェクターを制御することができます。

- ・ NaViSet Administrator 2
プロジェクターの状態をモニタリングしたり、様々な機能を制御することができます。
- ・ ProAssist
プロジェクターの制御や、円柱面や球面等の特殊形状スクリーンに投写するときの歪み補正ができます。
- ・ Virtual Remote Tool
コンピューターの画面上に仮想のリモコンを表示して、プロジェクターの電源の入／切や信号切り替えなどの簡単な制御ができます。また、本機のバックグラウンドロゴを変更する機能があります。

各ソフトウェアは、当社のホームページからダウンロードしてください。

<https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html>

● CRESTRON ROOMVIEW、Extron XTP に対応

本機は CRESTRON ROOMVIEW に対応しています。コンピューターから、ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。

また、本機を Extron 社の XTP トランスミッターに接続して、映像出力や制御ができます。

● スタンバイ時の消費電力が 0.16 ワットの省エネ設計

オンスクリーンメニューのスタンバイモードで「ノーマル」を設定すると、スタンバイ時の消費電力が 0.16 ワットになります。

- ノーマル : スタンバイ時の消費電力が 0.16 ワットのモード
- ネットワークスタンバイ : スタンバイ時の消費電力が 1.6 ワットのモード

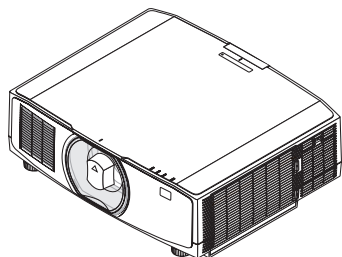
● ライトモードとカーボンメーター表示

本機は、使用目的などに合わせて、3 つのライトモードを選択できます。

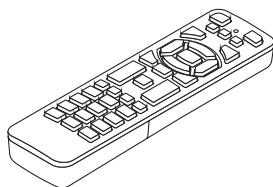
また、ライト調整で出力を下げると、消費電力を抑えることができます。このときの省エネ効果を CO₂ 排出削減量に換算して、電源を切るときの「確認メッセージ」およびオンスクリーンメニューの「情報」に表示します（カーボンメーター）。

1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。



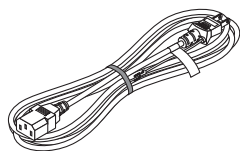
プロジェクター（本機）
防塵キャップ（24F53241）



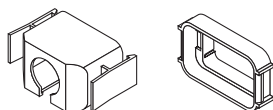
リモコン（7N901322）



単4 アルカリ乾電池
（リモコン用）2本



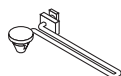
電源コード（アース付き）
（7N080123）



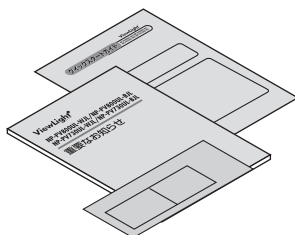
電源コードストッパー
（24F53221/24F53232）



レンズユニット盗難防止
用ネジ（24V00941）



ストラップ（フィルターカ
バーの落下防止用）
（24F54153）



クイックスタートガイド
（TINS-0007VW01）

重要なお知らせ
（TINS-0006VW01）

保証書

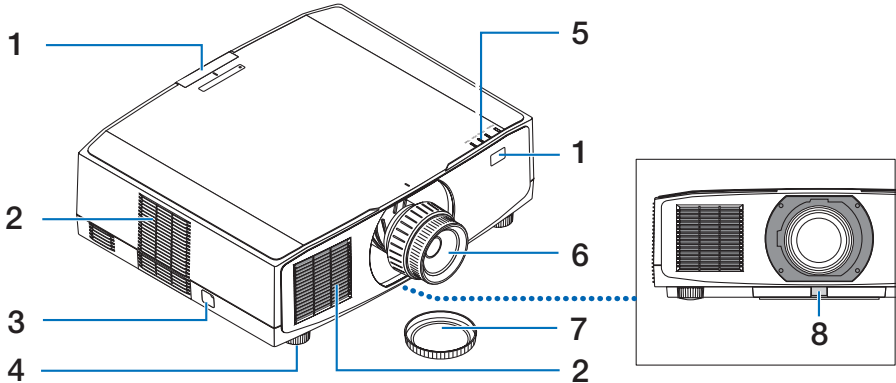
[参考]

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 本体各部の名称

本体前部

レンズは別売です。レンズユニット NP13ZL を装着している状態で説明しています。



1 リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。本体の前面と背面の2箇所にあります。

2 吸気口

外気を取り込み、内部を冷却します。

3 セキュリティバー

盗難防止用チェーン（またはワイヤー）を取り付けます。
本機のセキュリティバーは、直径 4.6 mm の太さのものまで対応しています。

4 チルトフット

チルトフットを回して左右の傾きを微調整します。

5 インジケータ表示部

電源入／スタンバイなど本機の状態をインジケータの点灯／点滅で知らせます。

6 レンズ

ここから映像が投写されます。（レンズユニットは別売です。）

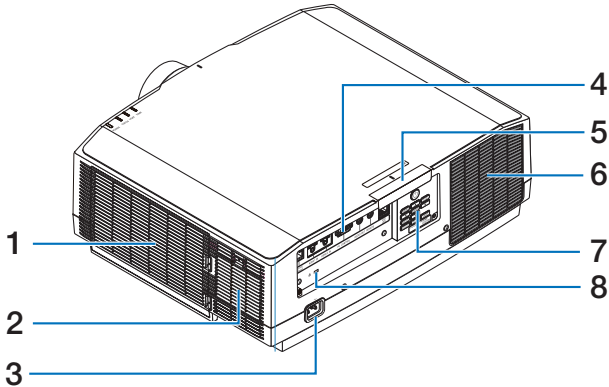
7 レンズキャップ（レンズユニットに装着）

レンズを保護します。

8 レンズリリースボタン

レンズユニットを取り外す際に使用します。

本体後部



1 吸気口 / フィルター

外気を取り込み、内部を冷却します。フィルターは、内部にほこりやゴミが入るのを防止します。

2 吸気口

外気を取り込み、内部を冷却します。

3 AC IN 端子

添付の電源コードを接続します。

4 接続端子部

各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。

5 リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。
本体の前面と背面の2箇所にあります。

6 排気口

内部の熱を排気します。


7 本体操作部

本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。

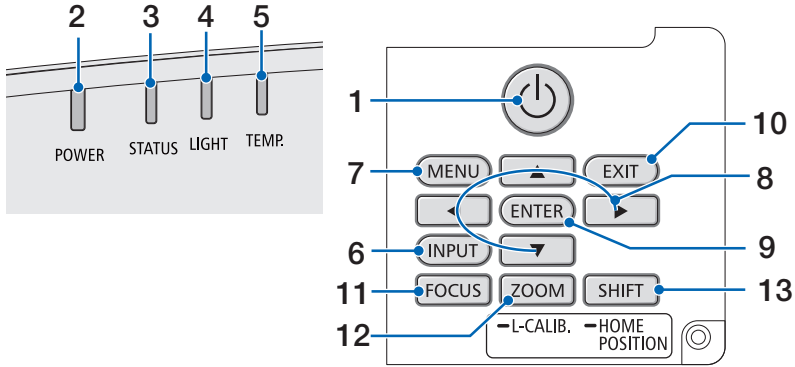
8 セキュリティスロット

盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。
詳しくは下記の [参考] をご覧ください。

[参考]

- セキュリティスロットについて 
セキュリティスロットは、市販のケンジントン社製セキュリティケーブルに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。
- 銘板ラベルは本体底面に貼付しています。

本体操作部 / インジケータ表示部



1 ㊤ ボタン (電源ボタン)

本機の電源を入/スタンバイ (待機状態) します。

電源を切る (スタンバイ状態) ときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度㊤ ボタンを押します。

2 電源インジケータ (POWER)

本機の電源の状態を表すインジケータです。

電源が入っているときは青色に点灯します。電源が切れているときは、状態によって緑色またはオレンジ色で点灯/点滅します。

詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。(→ 164 ページ)

3 ステータスインジケータ (STATUS)

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、レンズのキャリブレーション中などに、点灯/点滅します。

詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。(→ 164 ページ)

4 ライトインジケータ (LIGHT)

光源の状態をお知らせします。

5 温度インジケータ (TEMP.)

プロジェクタ周囲の温度が高くなっていることをお知らせします。

6 INPUT ボタン

入力信号を選択します。

短く押すと、入力選択画面を表示します。

1 秒以上押すと、HDMI 1 → HDMI 2 → HDBaseT…の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

7 MENU ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

8 ▼▲◀▶ボタン

- ・ オンスクリーンメニューを表示しているときに▼▲◀▶ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。
- ・ テストパターン表示中は、パターンを変更します。
- ・ オンスクリーンメニューを表示していないときに◀/▶ボタンを押すと、本機の音声出力を調整できます。

9 ENTER ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

10 EXIT ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

11 FOCUS ボタン

適応レンズユニット：NP40ZL/NP41ZL/NP43ZL/NP44ML/NP50ZL
フォーカス調整画面を表示して、投写画面のピントを合わせます。

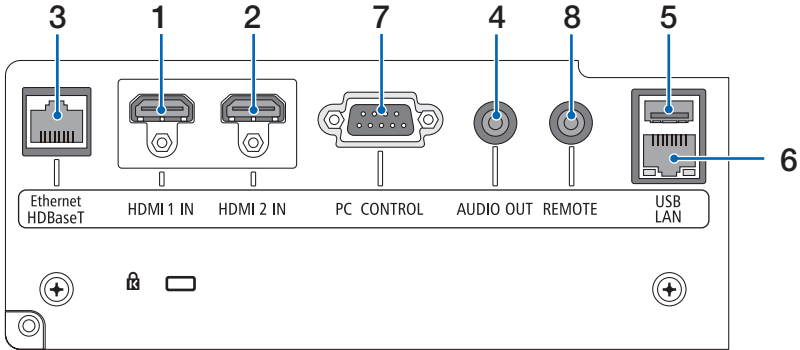
12 ZOOM/L-CALIB. ボタン

適応レンズユニット：NP40ZL/NP41ZL/NP43ZL/NP44ML/NP50ZL
・ 短く押すとズーム調整画面を表示します。投写画面の大きさを微調整します。
・ 長く（2秒以上）押すと、取り付けたレンズユニットの調整範囲を校正します（キャリブレーション）。

13 SHIFT/HOME POSITION ボタン

- ・ 短く押すとレンズシフト画面を表示します。▼▲◀▶ボタンで調整します。
- ・ 長く（2秒以上）押すとレンズシフト調整がホームポジションに戻ります。

接続端子部

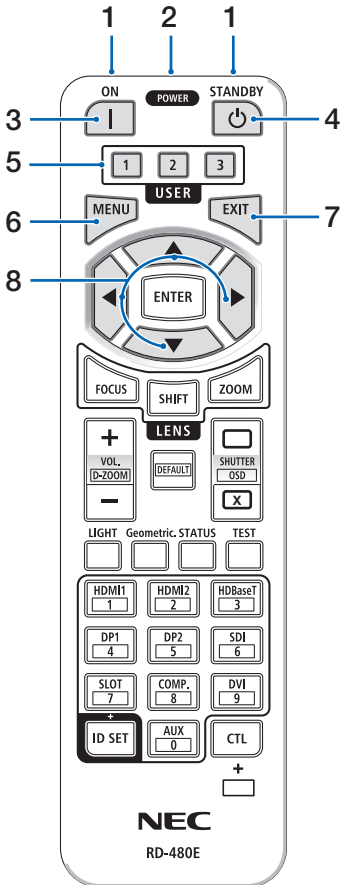


- 1 **HDMI 1 入力端子 (タイプ A)**
コンピューターやブルーレイプレーヤーなどの出力端子と接続します。
- 2 **HDMI 2 入力端子 (タイプ A)**
コンピューターやブルーレイプレーヤーなどの出力端子と接続します。
- 3 **Ethernet/HDBaseT ポート (RJ-45)**
本機を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。
- 4 **音声出力端子 (ステレオ・ミニ)**
本機から投写されている映像の音声信号を出力します。
出力音量は◀ / ▶ ボタンで調整できます。
- 5 **USB ポート (USB) (タイプ A)**
5V/1.4A の電源を供給します。
- 6 **LAN ポート (LAN) (RJ-45)**
本機を有線 LAN に接続します。接続すると本機の HTTP サーバー機能を利用し、コンピューターでウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。
- 7 **PC コントロール端子 (D-Sub 9 ピン)**
コンピューターで本機を操作するときに使用します。
- 8 **リモート端子 (ステレオ・ミニ)**
本機を有線でリモコン操作する場合に使います。

[注意]

- リモート端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。
- リモコン受光部設定で HDBaseT を選択しており、かつ市販の HDBaseT 対応の伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定している場合は赤外線でのリモコン操作ができません。ただし、伝送機器の電源を切っているときは赤外線でのリモコン操作ができます。

1-4. リモコン各部の名称



1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 リモコンケーブル接続端子

リモコンを有線で使用するとき、市販のφ3.5 ステレオミニプラグ付きケーブル（抵抗なし）を接続します。

3 POWER ON ボタン (I)

スリープ状態またはスタンバイ状態のときに、本機の電源を入れます。

4 POWER STANDBY ボタン (⏻)

一度押すと電源オフ確認メッセージを表示します。もう一度 POWER STANDBY（または ENTER）ボタンを押すと、本機の電源が切れます。

5 USER1/2/3 ボタン

以下の機能が設定されています。
 USER1:（本機では使用しません）
 USER2: AV ミュート
 映像と音声を一時的に消します。
 USER3: 静止
 投写されている動画が静止画になります。

6 MENU ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

7 EXIT ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

8 ▼▲◀▶ボタン

オンスクリーンメニュー操作や D-ZOOM ボタン、SHIFT ボタンと組み合わせて使用します。
 ・テストパターン表示中は、パターンを変更します。

9 ENTER ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。

確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

10 FOCUS ボタン

適応レンズユニット：

NP40ZL/NP41ZL/NP43ZL/NP44ML/NP50ZL
フォーカス調整画面を表示します。◀ / ▶ ボタンでレンズのフォーカスを調整します。

11 SHIFT ボタン

レンズシフト調整画面を表示します。▼▲◀▶ ボタンでレンズ位置を調整します。

12 ZOOM ボタン

適応レンズユニット：

NP40ZL/NP41ZL/NP43ZL/NP44ML/NP50ZL
ズーム調整画面を表示します。◀ / ▶ ボタンでレンズのズームを調整します。

13 VOL/D-ZOOM + / - ボタン

音声出力端子の音量を調整します。

CTL ボタンと同時に押しすと、画面の拡大・縮小（もとに戻す）をします。

14 DEFAULT ボタン

（本機では使用しません。将来の拡張用です。）

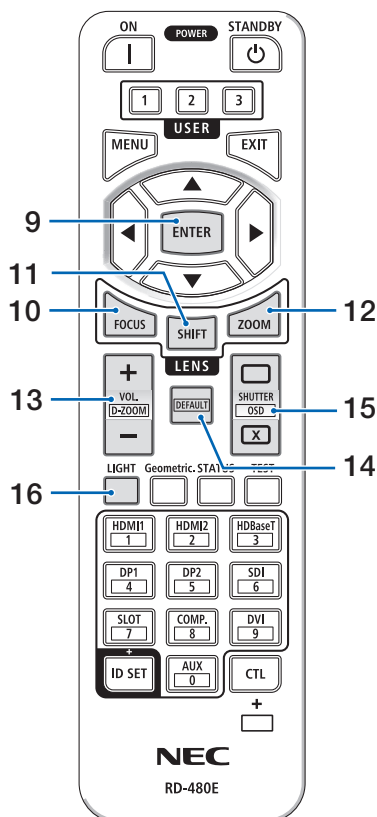
15 SHUTTER /OSD OPEN (□) /CLOSE (☒) ボタン

CLOSE ボタンを押すと、光源が消灯して投写光が一時的に消えます。OPEN ボタンを押すと戻ります。

CTL ボタンと同時に CLOSE ボタンを押すと、オンスクリーン表示を消します（オンスクリーンミュート）。CTL ボタンと同時に OPEN ボタンを押すと戻ります。

16 LIGHT ボタン

ライトモード画面を表示します。



17 Geometric. ボタン

オンスクリーンメニューの「幾何学補正」を表示します。投写画面の歪み調整に使います。

18 STATUS ボタン

オンスクリーンメニューの情報の「使用時間」を表示します。

19 TEST ボタン

テストパターンを表示します。

20 HDMI1 ボタン

HDMI1 入力を選択します。

21 HDMI2 ボタン

HDMI2 入力を選択します。

22 HDBaseT ボタン

HDBaseT を選択します。

23 DP1 ボタン

(本機では使用しません)

24 DP2 ボタン

(本機では使用しません)

25 SDI ボタン

(本機では使用しません)

26 SLOT ボタン

(本機では使用しません)

27 COMP. ボタン

(本機では使用しません)

28 DVI ボタン

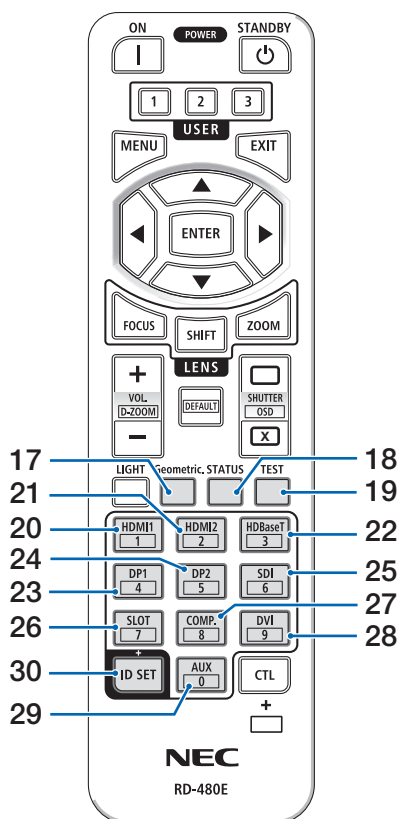
(本機では使用しません)

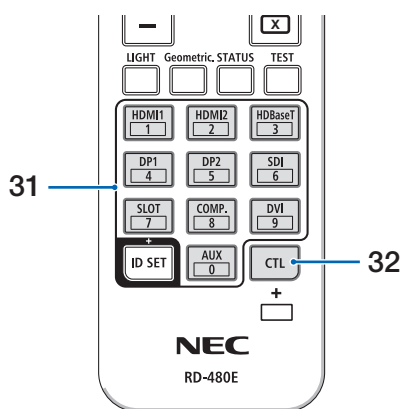
29 AUX ボタン

(本機では使用しません。将来の拡張用です。)

30 ID SET ボタン

複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作するときのコントロール ID 設定に使います。





31 数字 (0～9) 入力ボタン

複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作する場合の ID 入力に使用します (コントロール ID 設定)。

ID SET ボタンを押したまま 0 ボタンを押すと、コントロール ID 設定を解除します。

32 CTL ボタン

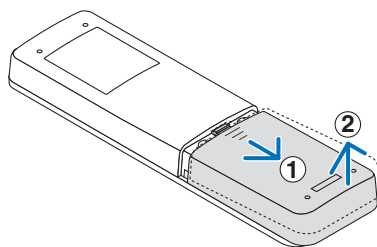
他のボタンと併用するための複合機能ボタンです。

[注意]

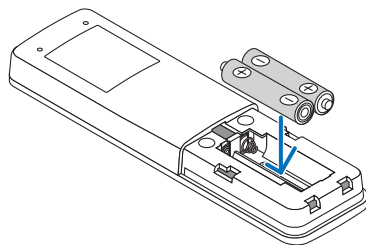
- リモコンの使用上の注意は [22 ページ](#) をご覧ください。

● 電池の入れかた

1. リモコン裏面の電池ケースのふたをあける。

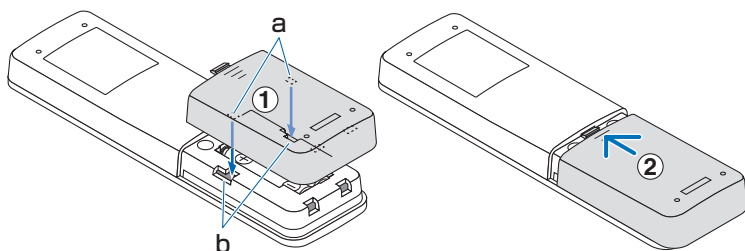


2. ケース内部に表示している+, -の向きに合わせて単 4 アルカリ乾電池をセットする。



3. もとどおりにふたをする。

ふたのツメ①をケースのミゾ②に入れてからふたをしめます。

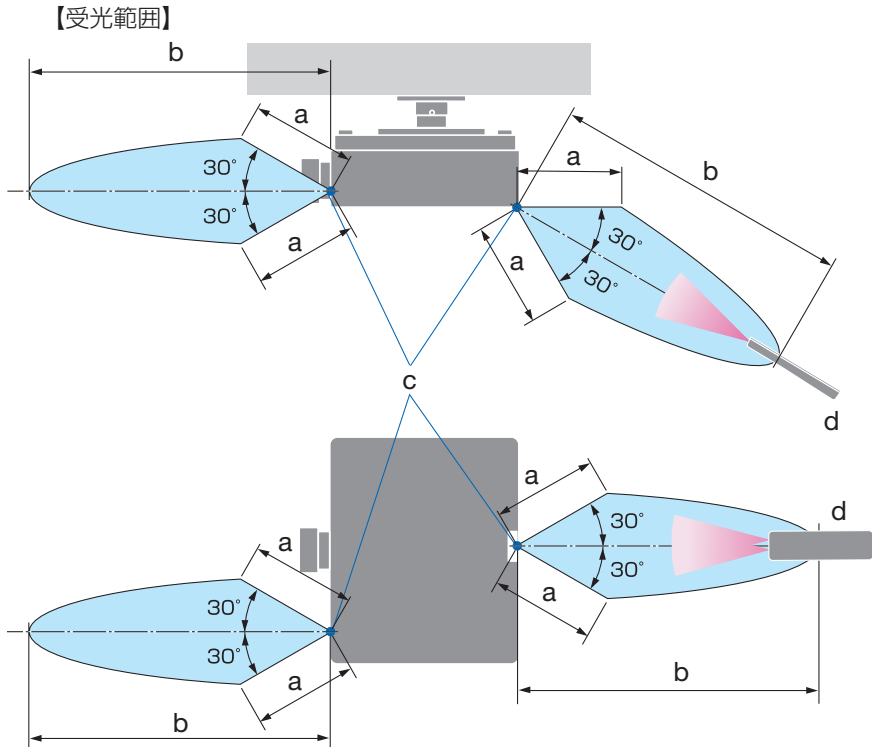


[注意]

- 乾電池を交換するときは、2 本とも同じ種類の単 4 アルカリ乾電池をお買い求めください。

● リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

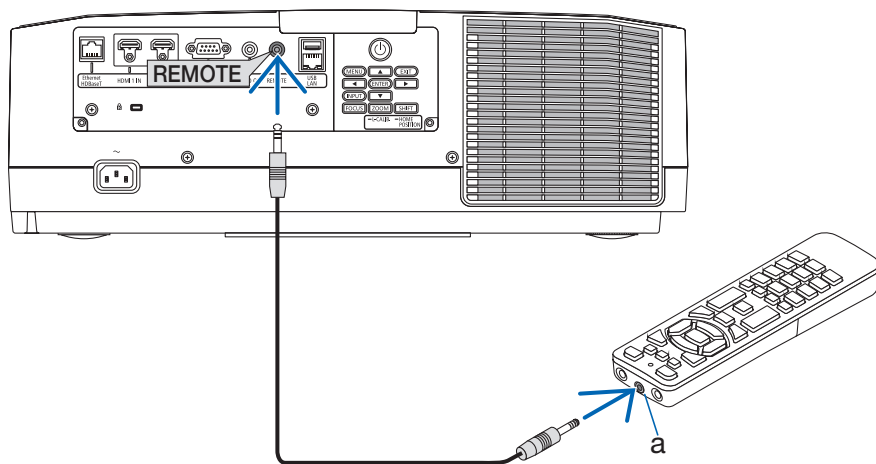


a: 約 7m / b: 約 20m / c: プロジェクターのリモコン受光部 / d: リモコン

(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

●リモコンケーブルを使用する

本体のリモコン受光部とリモコンの間に遮へい物などがあるときや、受光範囲外でリモコン操作するときは、リモコンケーブルを使用して、本体とリモコンを接続してください。



a : リモコンケーブル接続端子

- ・ リモコンケーブルは、市販のΦ 3.5 ステレオミニプラグ付き（抵抗なし）を使用してください。
- ・ REMOTE 端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。
- ・ REMOTE 端子からリモコンへ電源は供給されません。有線で使用する場合でも、リモコンに乾電池を入れてください。

2. 映像を投写する（基本操作）

2-1. 映像を投写する流れ

ステップ **1** コンピューターと接続する／電源コードを接続する
 (→[次ページ](#))

ステップ **2** 本機の電源を入れる (→ [44](#) ページ)

ステップ **3** 入力信号を選択する (→ [46](#) ページ)

ステップ **4** 投写画面の位置と大きさを調整する (→ [48](#) ページ)

ステップ **5** 映像や音声を調整する (→ [58](#) ページ)

ステップ **6** プレゼンテーションする

ステップ **7** 本機の電源を切る (→ [59](#) ページ)

ステップ **8** あとかたづけ (→ [60](#) ページ)

2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する

1. コンピューターと接続する

ここでは、コンピューターとの基本的な接続を説明します。

コンピューターの HDMI 出力端子と本機の HDMI1 入力端子 (HDMI1 IN) または HDMI2 入力端子 (HDMI2 IN) を接続します。

2. 電源コードを接続する

添付の電源コードを使って、コンセントに本機を接続します。

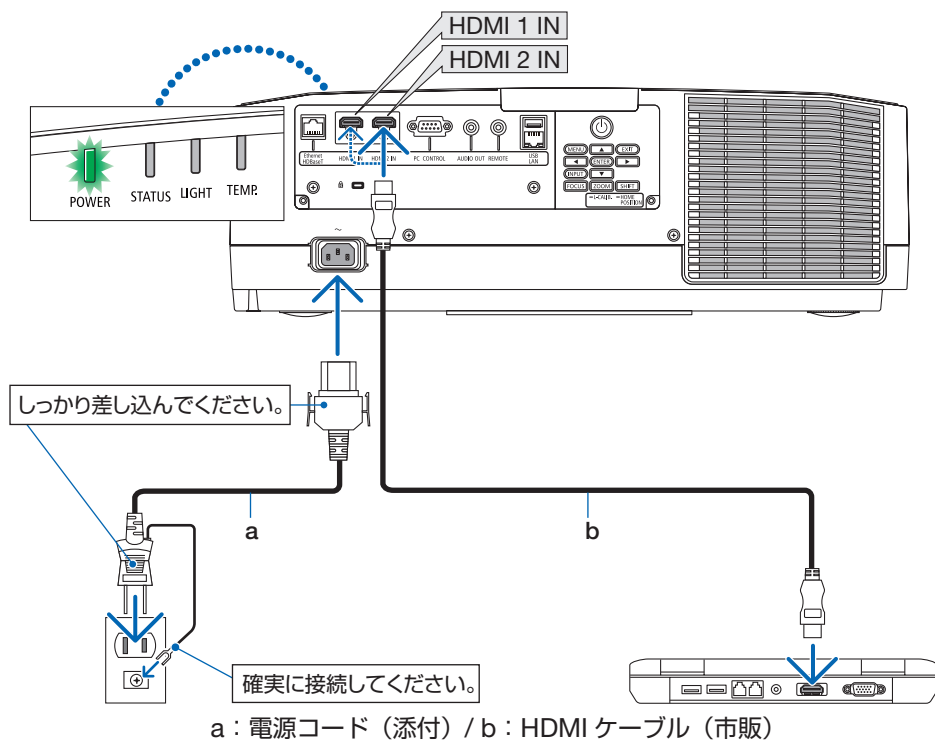
- ① 電源コードのコネクターを本機の AC IN 端子に差し込む。
- ② 電源コードのアース線を AC100V のコンセント（アース工事済み）のアース端子に接続する。
- ③ 電源コードのプラグを AC100V のコンセントに差し込む。



注意

- 本機は電源コードのアース線をアースに接続することを前提に設計されているアースつき 2 芯プラグ機器です。
機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。
- プロジェクターとコンピューター（信号源）は必ず同じアースに接続してください。
プロジェクターとコンピューター（信号源）を離れた場所のアースに接続すると、アース電位の変動により、発火・発煙の原因となることがあります。
- アース工事は専門業者にご依頼ください。
- 必ず電源プラグをコンセントに差し込む前にアース線を接続してください。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後にアース線を外してください。
- 本機の AC IN 端子に電源コードを接続する際は、コネクターを奥までしっかり差し込み、必ず電源コードストッパーを使って固定してください。電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。

電源コードを接続すると、本機の電源インジケーターが点灯します。



- HDMI ケーブルは、認証済みの HIGH SPEED ケーブルを使用してください。
- 本体の AC IN 端子に接続した電源コードのコネクターが抜け落ちないように、カチッと音がして電源コードストッパーが固定されるまで押し込んでください。（→ 123 ページ）



注意

電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

[注意]

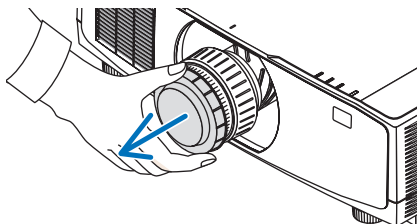
- コネクターが固定された状態で電源コードを引っ張ると、本体が落下して破損するおそれがあります。

2-3. 本機の電源を入れる




プロジェクターは強い光を投写します。
電源を入れる際は、プロジェクター本体の側面または背面（侵入禁止領域の外）で操作してください。また、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。

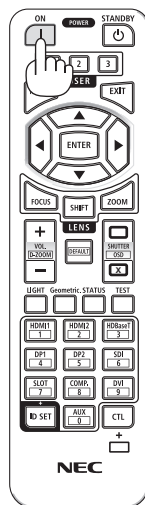
1. レンズキャップを取り外す。



2. POWER ON ボタンを押す。

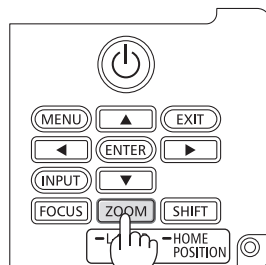
電源インジケータが緑色の点灯から青色に変わり点滅し始めます。その後、スクリーンに映像が投写されます。

- ・ 本体で操作する場合は、 ボタンを押します。
- ・ 信号が入力されていないときは、青い画面（ブルーバック）が表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
- ・ 映像がぼやけている場合は、画面のフォーカスを合わせてください。（→ 51 ページ）



[参考]

- 「セキュリティロック中です。」が表示されたときは、セキュリティキーワードが設定されています。
- ・ 別売のレンズユニットを本機に取り付けたとき、またはレンズユニットを交換したときは、本体の ZOOM/L-CALIB. ボタンを長く（2 秒以上）押して、「キャリブレーション」を実行してください。
キャリブレーションにより、レンズの調整範囲を校正します。
また、レンズシフトの動作に異常が発生したときも、「キャリブレーション」を実行してください。

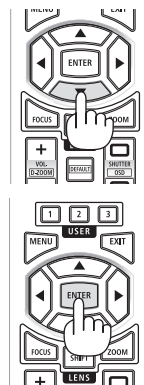


- ・ご購入後はじめて電源を入れたときは LANGUAGE 画面が表示されます。次のように操作して「日本語」を選択してください。
- ・誤って「日本語」以外を選択した場合は、オンスクリーンメニューを表示して「言語」を変更することができます。



① ▼▲◀▶ ボタンを押して、カーソルを「日本語」に合わせる。

② ENTER ボタンを押す。
オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定され、オンスクリーンメニューが消えます。



[注意]

- 本機の電源が入っている間は、レンズからレンズキャップを外しておいてください。高温になりレンズキャップが変形します。
- 次のような場合は、POWER ON ボタンを押しても電源が入りません。
 - ・内部の温度が異常に高いと保護のため電源が入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
 - ・POWER ON ボタンを押している間にステータスインジケータがオレンジ色に点灯する場合は本体キーロックが設定されています。本体キーロックを解除してください。
- 電源インジケータが青色で短い点滅をしているときは STANDBY ボタンを押しても電源は切れません（青色で長い点滅はオフタイマーを設定していますので電源は切れません）。

2-4. 入力信号を選択する

投写する信号を自動検出する

1. 本機に接続しているコンピューターやブルーレイプレーヤーなどの電源を入れる。

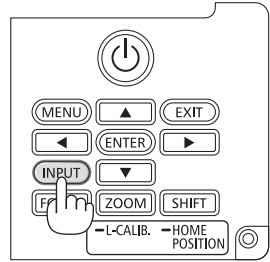
ブルーレイプレーヤーなどの映像を投写するときは、再生（PLAY）操作をしてください。

2. INPUT ボタンを 1 秒以上押す。

HDMI 1 → HDMI 2 → HDBaseT の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

・ 短く押すと、入力端子画面が表示されます。
▲ / ▼ ボタンを押して目的の入力端子に合わせて、ENTER ボタンを押すと入力が切り替わります。

入力端子画面のメニュー表示を消すには MENU ボタンまたは EXIT ボタンを押します。

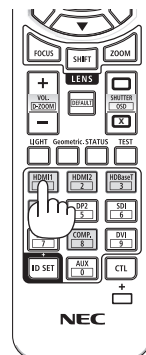


リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

1. 本機に接続しているコンピューターやブルーレイプレーヤーなどの電源を入れる。

ブルーレイプレーヤーなどの映像を投写するときは、再生（PLAY）操作をしてください。

2. リモコンの HDMI1、HDMI2、HDBaseT ボタンを押す。

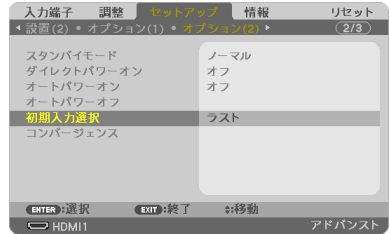


自動的に信号を選択する

入力信号を選択する操作を省略（自動化）することができます。

1. オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「オプション (2)」→「初期入力選択」を選択する。

選択画面が表示されます。



2. 電源を入れたときに自動的に選択する信号を選択し、ENTER ボタンを押す。

次回本機の電源を入れたときに自動的に選択される信号として設定されます。



3. EXIT ボタンを 3 回押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

4. 本機の電源を入れなおす。

手順 2 で設定した信号が自動的に投写されま
す。

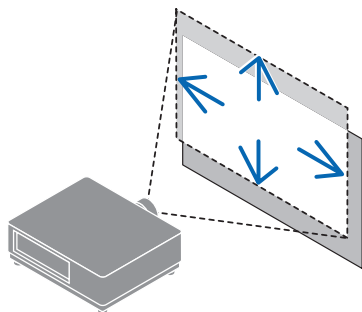
【参考】

- 信号が入力されていないときは、青い画面（ブルーバック）が表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。ブルーレイプレーヤーなどは再生（PLAY）操作をしてください。

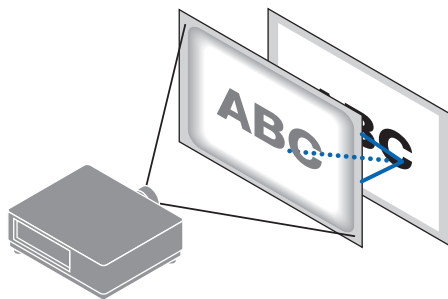
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

レンズシフトやチルトフット、ズーム、フォーカスなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

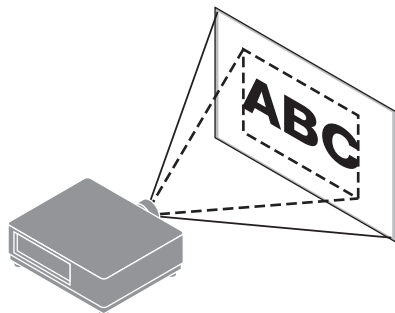
投写画面の上下・左右位置の調整
【レンズシフト】（→次ページ）



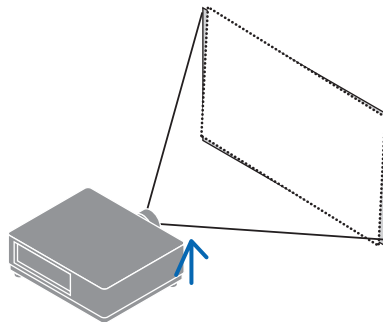
投写画面のフォーカス調整
【フォーカス】（→51ページ）



投写画面の大きさの調整
【ズーム】（→56ページ）



投写画面の傾き調整
【チルトフット】（→57ページ）



※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

投写画面の位置の調整（レンズシフト）



注意

- プロジェクターの後ろまたは横から調整してください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。
- レンズシフト動作中は、レンズユニット取り付け部の周囲に手を近づけないでください。
キャビネットとレンズユニットの隙間に指を挟むおそれがあります。

1. SHIFT/HOME POSITION ボタンを押す。

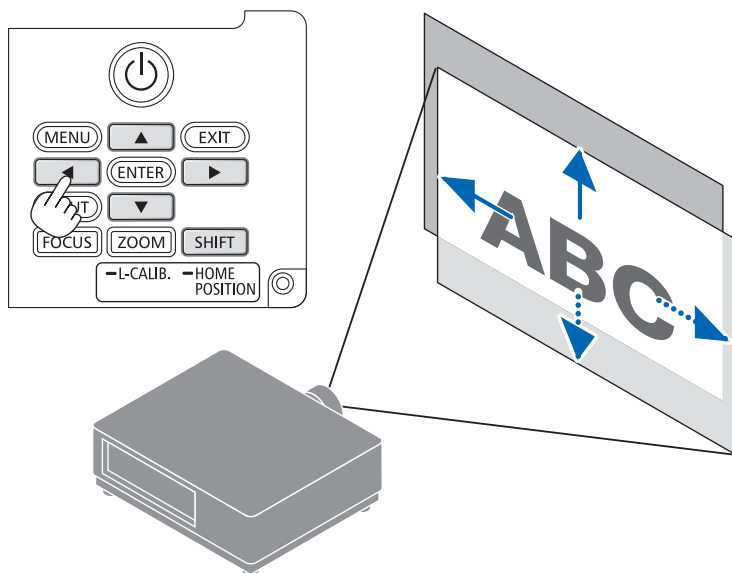
レンズシフト調整画面が表示されます。

- ・ リモコンで操作する場合は SHIFT ボタンを押します。



2. ▼▲◀▶ボタンを押す。

矢印の方向に投写画面が移動します。



レンズシフトをホームポジションに戻す場合

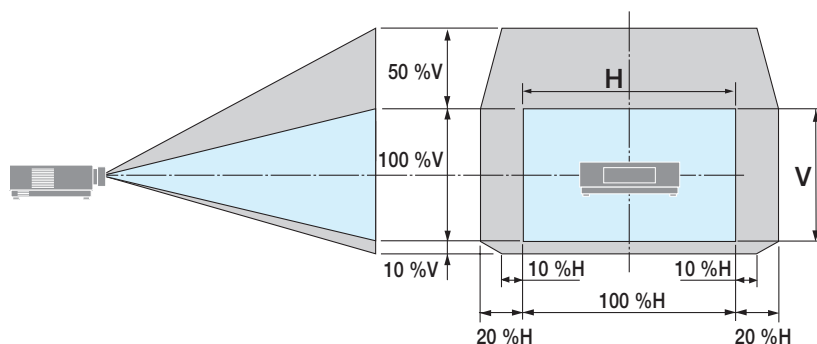
SHIFT/HOME POSITION ボタンを長押し（約 2 秒以上）すると本機のレンズ位置がホームポジション（ほぼ中心位置）に戻ります。

[注意]

- レンズシフトを斜め方向へ最大にすると、画面周辺が暗くなったり、影が出たりします。
- レンズユニット NP11FL を装着している場合は、ホームポジションで使用してください。その上で、必要な場合には、レンズシフトで投写画面の位置を微調整してください。
- レンズユニット NP50ZL を装着している場合は、同梱のサポートキットを使ってプロジェクター本体に固定してください。サポートキットのボルトをゆるめた状態で、レンズシフトで投写画面の位置を調整できます。
- レンズユニット NP44ML は、レンズシフトに対応していません。

[参考]

- 下図はレンズユニット NP41ZL のレンズシフト調整範囲（投写方式：デスク／フロント）を示しています。



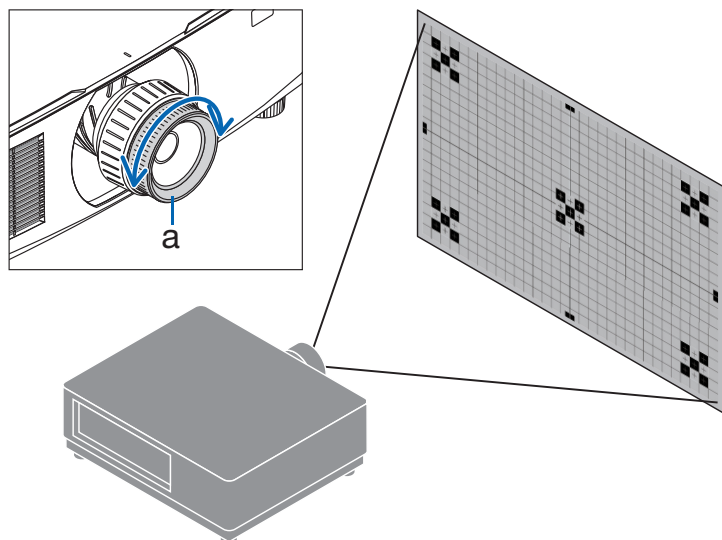
記号の意味：Vは垂直（投写画面の高さ）、Hは水平（投写画面の幅）を表し、レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表しています。

投写画面のフォーカス合わせ

フォーカスは、テストパターンを投写した状態で 30 分以上経過したのちに調整することをおすすめします。

●適応レンズユニット：NP12ZL/NP13ZL/NP14ZL/NP15ZL（マニュアルフォーカス）

1. フォーカスリング[Ⓐ]を左右に回してピントを合わせる。

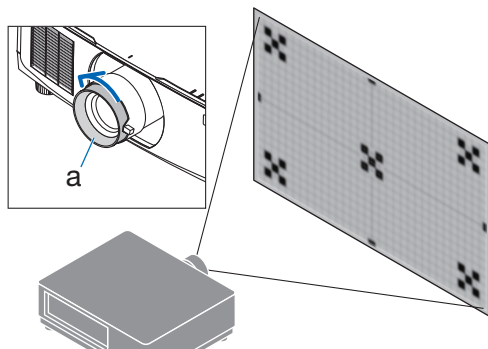


●適応レンズユニット：NP11FL（マニュアルフォーカス）

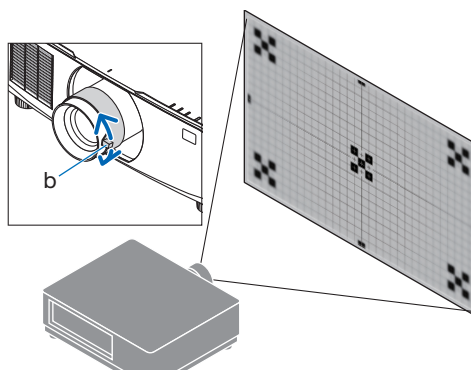
レンズユニット NP11FL はフォーカス合わせと画面歪みを調整します。

準備： 本体の SHIFT/HOME POSITION ボタンを長押し（約 2 秒以上）して、レンズ位置をホームポジションに戻してください。

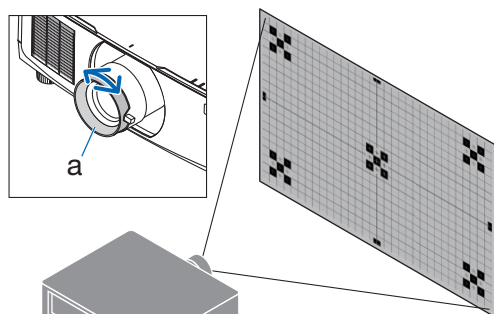
1. ディストーションリング①を左端に回す。



2. フォーカスレバー②を左右に回して画面中央のフォーカスを合わせる。



3. ディストーションリング①で画面の歪みを補正する
（併せて、画面周辺のフォーカスが合ってきます。）



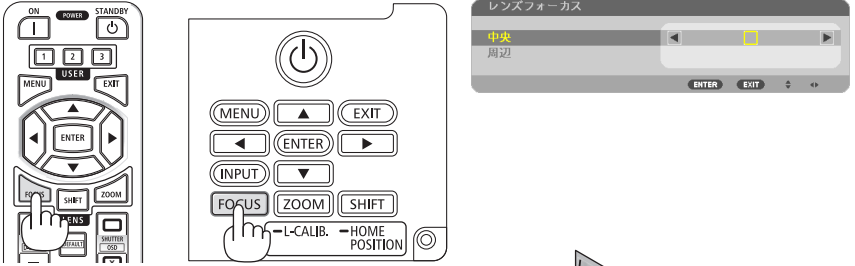
4. フォーカスレバーで②画面全体のフォーカスを合わせる。

※ 画面中央のフォーカスが合わない場合ディストーションリングを左に少し回すとフォーカスレバーで画面中央のフォーカスが取れるようになります。

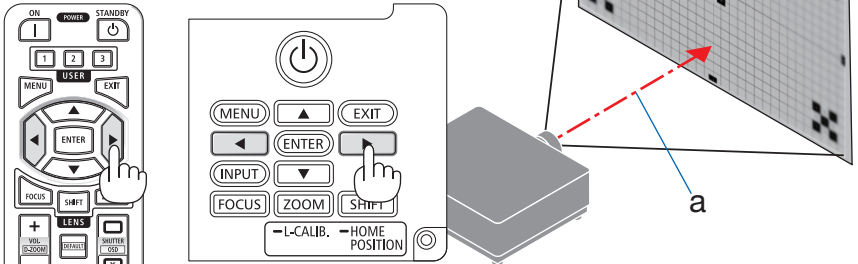
●適応レンズユニット：NP40ZL/NP41ZL（電動フォーカス）

1. FOCUS ボタンを押す。

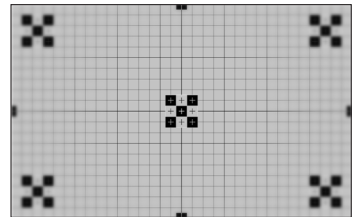
レンズフォーカス調整画面が表示されます。



2. 「中央」にカーソルが合った状態で、◀ / ▶ ボタンを押して光軸②付近のフォーカスを合わせる。



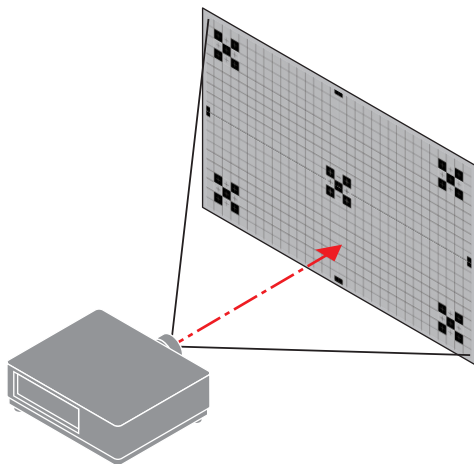
※ 図はレンズシフトを上方向へ移動しているときの例です。画面の下側が調整されます。レンズがセンターにあるときは、画面の中心が調整されます。



3. ▼ ボタンを押して「周辺」にカーソルを合わせ、◀ / ▶ ボタンを押して画面周辺のフォーカスを合わせる。

このとき、2で調整した光軸回りのフォーカスは変わりません。





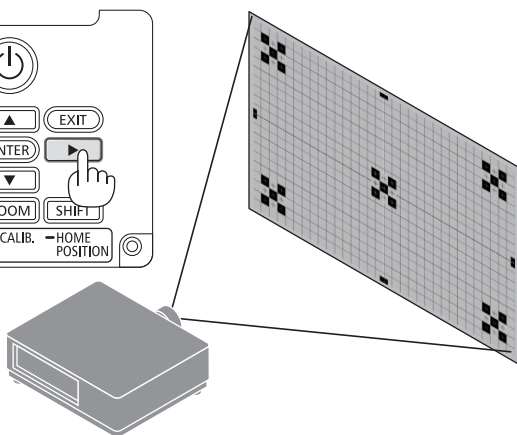
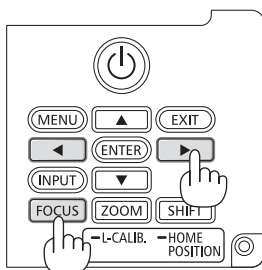
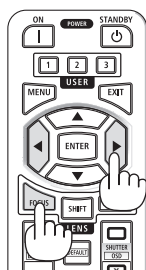
●適応レンズユニット：NP43ZL/NP50ZL（電動フォーカス）

1. FOCUS ボタンを押す。

レンズフォーカス調整画面が表示されます。

◀ / ▶ ボタンを押して、フォーカス（画面のヒント）を調整します。

・「周辺」のフォーカス調整は無効です。



●適応レンズユニット：NP44ML（電動フォーカス）

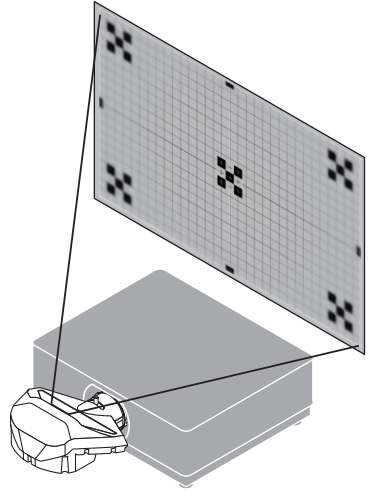
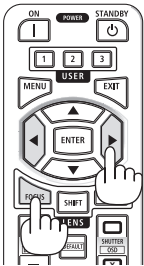
- NP44ML は、別売のサポートキット（NP01LK）を使ってプロジェクター本体に固定する必要があります。
ここでは、サポートキットを省略したイラストにしています。

1. FOCUS ボタンを押す。

レンズフォーカス調整画面が表示されます。

◀ / ▶ ボタンを押して、画面中心のフォーカスを合わせます。

- ・ レンズフォーカス調整画面の「周辺」は無効です。画面周辺のフォーカス調整はズーム調整画面で調整します。

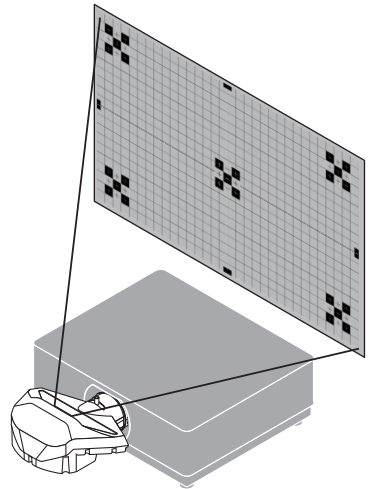
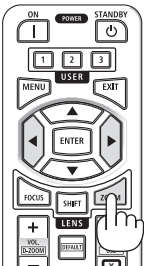


2. ZOOM/L-CALIB. ボタンを短く押す。

ズーム調整画面が表示されます。

- ・ リモコンで操作する場合は ZOOM ボタンを押します。

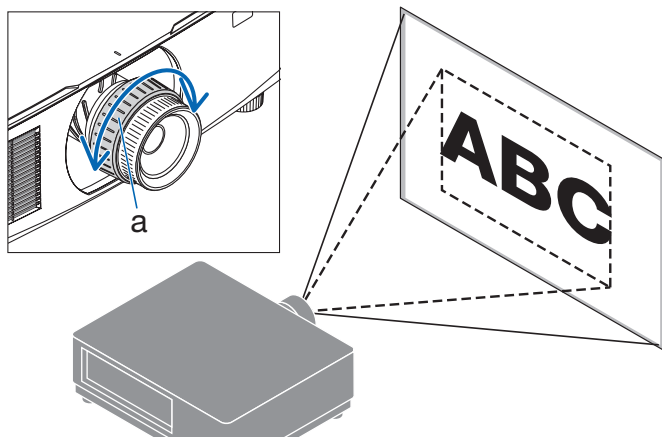
◀ / ▶ ボタンを押して画面周辺のフォーカスを合わせます。



投写画面の大きさの調整

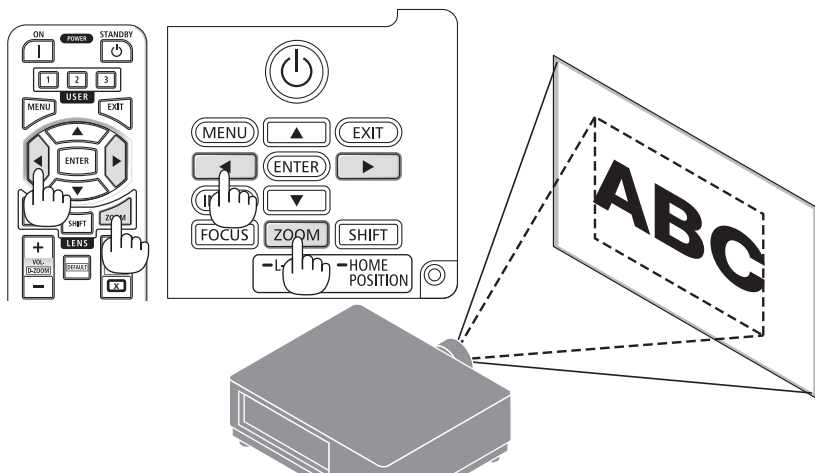
●適応レンズユニット：NP12ZL/NP13ZL/NP14ZL/NP15ZL （マニュアルズーム）

1. ズームレバーまたはズームリング^aを左右に回す。



●適応レンズユニット：NP40ZL/NP41ZL/NP43ZL/NP50ZL （電動ズーム）

1. ZOOM/L-CALIB. ボタンを短く押す。
ズーム調整画面が表示されます。
・リモコンで操作する場合はZOOM ボタンを押します。
◀ / ▶ ボタンを押して、ズームを調整します。

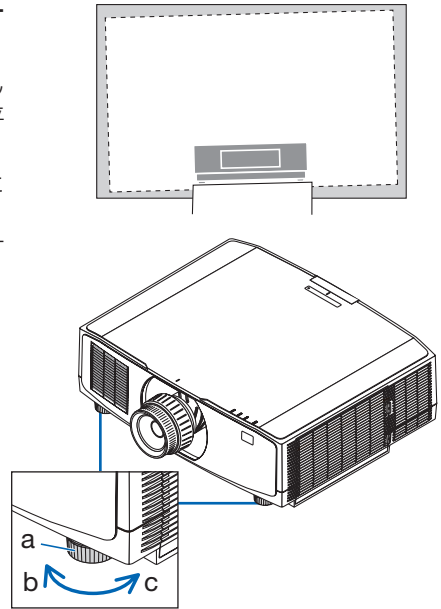


投写画面の傾き調整（チルトフット）

1. 左右のチルトフット[Ⓐ]を回して調整する。

チルトフットを回すとチルトフットが伸縮します。どちらかのチルトフットを回して水平に調整します。

- ・チルトフットは、最大 20 mm 伸ばすことができます。
- ・チルトフットにより、本機を最大 4° 傾けることができます。



a: チルトフット / b: 伸びる / c: 縮む

[注意]

- チルトフットは 20mm 以上伸ばさないでください。20mm を超えるとチルトフットの取り付け部分が不安定になり、チルトフットが本体から外れます。
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

2-6. 映像や音声を調整する

映像を調整する

オンスクリーンメニューを表示して映像を調整します。(→ 81 ページ)

本機の音声出力を調整する

本機の音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

[重要]

- 本機の音声出力端子に外部スピーカー機器を接続する場合は、外部スピーカー機器側の音量調整は最大で使用しないでください。外部スピーカー機器側の音量調整を上げすぎると、本機の電源を入れたり切ったりする際に突然大きな音が出る場合があります。聴力に悪影響を与えることがあります。
外部スピーカー機器の音量を調整する場合は、外部スピーカー機器側の音量調整を定格の半分以下に設定して、本機の音量調整で適切な音量に調整することをおすすめします。

●本体の操作ボタンで調整する

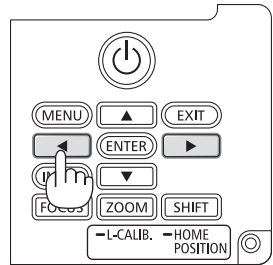
1. オンスクリーンメニューが表示されていないときに、◀ / ▶ ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。

- ◀側…音量が小さくなります。
- ▶側…音量が大きくなります。

[注意]

- オンスクリーンメニューが表示されているとき、リモコンの CTL ボタンを押したまま VOL/D-ZOOM + / - ボタンを押して画面を拡大しているときは、◀ / ▶ ボタンを使った音量調整はできません。

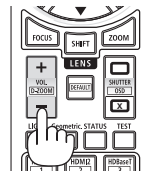


●リモコンを使って調整する

1. リモコンの VOL/D-ZOOM + / - ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。


- +側…音量が大きくなります。
- 側…音量が小さくなります。

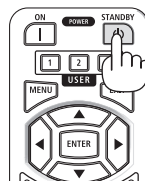


2-7. 本機の電源を切る

1. POWER STANDBY ボタンを押す。

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

- ・ 電源オフ確認メッセージには今回の CO₂ 削減量を表示します。
- ・ 本体で操作する場合は、 ボタンを押します。






電源をオフします。
よろしいですか？

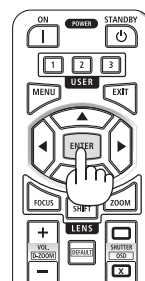
はい いいえ

今回の CO₂削減量
0.000[g-CO₂]

2. ENTER ボタンを押す。

光源が消灯し、電源が切れます。

- ・ ENTER ボタンの代わりに、POWER STANDBY ボタンまたは本体の  ボタンを押しても、電源が切れます。
- ・ 電源を切らない場合は、 /  ボタンで「はいえ」を選んで ENTER ボタンを押します。



注意

投写中および冷却ファン回転中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

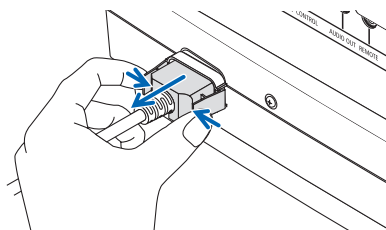
[注意]

- 電源インジケーターが青色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。
- レンズの移動中に電源を切る操作をしたときは、レンズの移動が終わってから電源が切れます。
- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、ブレーカーなどを利用してください。
- 各種の調整をして調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

2-8. あとかたづけ

1. 電源コードを取り外す。

電源コードストッパーの左右の突起を押しながら引いて取り外してください。



2. 各種信号ケーブルを取り外す。

3. レンズにレンズキャップを取り付ける。

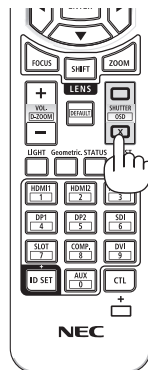
4. 移動させるとき、チルトフットを伸ばしていたら、もとに戻す。

3. 便利な機能

3-1. 投写光を消灯する（シャッター）

1. リモコンの SHUTTER CLOSE (X) ボタンを押す。

光源が消灯して、投写光が一時的に消えます。
SHUTTER OPEN (O) ボタンを押すと投写されます。

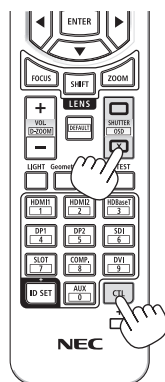


3-2. オンスクリーン表示を消去する（オンスクリーンミュート）

1. リモコンの CTL ボタンを押したまま OSD CLOSE (X) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューや入力端子などの表示がなくなります。

- ・ リモコンの CTL ボタンを押したまま OSD OPEN (O) ボタンを押すと、オンスクリーン表示が出るようになります。



[参考]

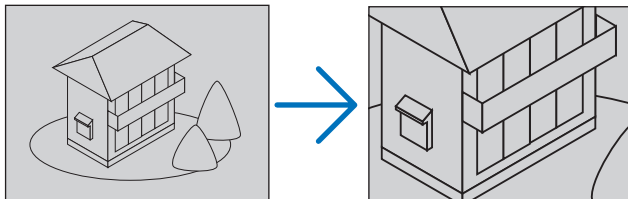
- オンスクリーンミュートが有効になっているかは、MENU ボタンを押したときにオンスクリーンメニューが出ないことで確認できます。
- 電源を切っても、オンスクリーンミュートの状態は保持されます。
- 本体でオンスクリーンミュートを無効にするには、本体の MENU ボタンを 10 秒以上押し続けます。無効になると、入力端子のメニューが表示されます。

3-3. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

1. リモコンの CTL ボタンを押したまま VOL/D-ZOOM + ボタンを押す。

押すごとに映像が拡大します。

・ 最大 4 倍まで拡大できます。



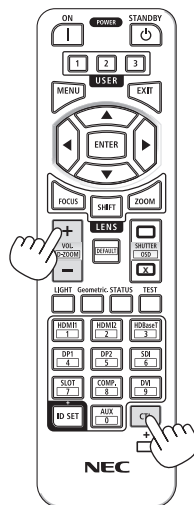
2. ▼▲◀▶ ボタンを押す。

拡大した映像の表示領域が移動します。

3. リモコンの CTL ボタンを押したまま VOL/D-ZOOM - ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。

・ もとのサイズに戻ると、それ以上押しでも縮小されません。




[参考]

- 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
- 映像を拡大しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、拡大は解除されません。

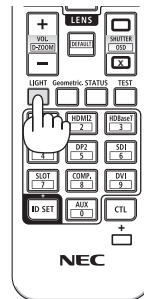
3-4. 輝度（明るさ）の調整

本機は、使用目的などに合わせて、3つのライトモードを選択できます。また、出力を調整して輝度（明るさ）を変えることができます。

ライトモードの設定 (メニュー下部のアイコン表示)	説明
ノーマル (表示なし)	標準的なモードです。 ライト調整で、出力を70～100%の範囲で調整できます。
静音 (表示なし)	動作音を小さくすることを優先するモードです。 ライト調整で、出力を70～90%の範囲で調整できます。
長寿命 ()	光学部品の寿命を延ばすことを優先するモードです。 ライト調整で、出力を70～90%の範囲で調整できます。

ライトモード画面を表示する

1. リモコンの LIGHT ボタンを押す。
ライトモード画面が表示されます。



ライトモードを切り替える

1. ライトモードにカーソルが合った状態で
ENTER ボタンを押す。
ライトモード選択画面が表示されます。



2. ▼ / ▲ ボタンを押して選択し、ENTER ボタンを押す。
ライトモード画面に戻り選択したモードに切り替わります。
MENU ボタンを押すとメニューが消えます。




ライト調整をする

1. ▼ボタンを押して「ライト調整」にカーソルを合わせる。



2. ◀ / ▶ ボタンを押して調整する。
MENU ボタンを押すとメニュー画面が消えます。

[参考]

- 輝度一定モードを「オン」に設定すると、ライト調整後の輝度（明るさ）を維持できます。（→ [95 ページ](#)）
- ライト使用時間については、オンスクリーンメニューの情報→使用時間で確認できます。（→ [115 ページ](#)）
- 本機に入力信号がない状態（ブルーバック、ブラックバック、またはロゴ表示のとき）のまま約 1 分経過すると、本機は省電力状態になり画面が暗くなります。その後、本機が入力信号を感知すると、もとの明るさに戻ります。
- 使用環境の温度が高くと、本機の保護機能により一時的に輝度（明るさ）が下がることがあります。保護機能が働くと、TEMP. インジケータがオレンジ色に点灯してメニュー画面の右下に「」アイコンが表示されます。室温を下げることで本機内部の温度が下がると、もとの明るさに戻ります。

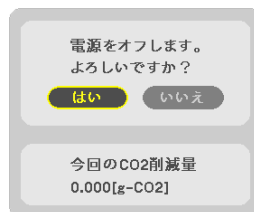
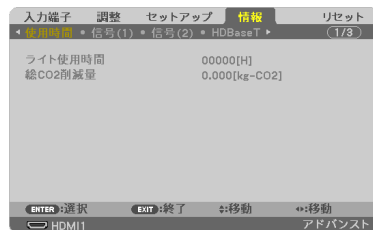
省エネ効果を見る（カーボンメーター）

本機の光源出力を下げている期間の省エネ効果を CO₂ 排出削減量で表示します。この表示を「カーボンメーター」と呼びます。

表示には「総 CO₂ 削減量」と「今回の CO₂ 削減量」があります。

「総 CO₂ 削減量」は本機の工場出荷時から現在までの CO₂ 削減量 (kg) を累積し、メニューの情報→使用時間に表示します。(→ 115 ページ)

「今回の CO₂ 削減量」は電源を入れてから電源を切るまでの CO₂ 削減量 (g) を、電源オフ時に表示される電源オフ確認メッセージ内に表示します。



[参考]

- CO₂ 排出削減量は、ライトモードを「ノーマル」、ライト調整を 100 に設定して使用したときの消費電力量（推定）から、実際に使用したときの消費電力量（推定）を差し引き、CO₂ 排出係数を掛けて算出*します。
 - * CO₂ 削減量は、OECD（経済協力開発機構）から出版されている“CO₂ Emissions from Fuel Combustion”に基づいて算出しています。
- 「総 CO₂ 削減量」は 15 分単位で記録された値をもとにしています。
- 本機がスタンバイ状態のときの消費電力は、CO₂ 排出削減量の計算から除外しています。

3-5. 台形歪みを調整する（台形補正）

本機とスクリーンを正しく設置していないと投写画面が台形状に歪みます。この歪みを調整するのが台形補正です。

●台形補正調整の前に

台形補正には、台形補正 水平、台形補正 垂直、ピンクッション補正 左端 / 右端、ピンクッション補正 上端 / 下端、4点補正があります。

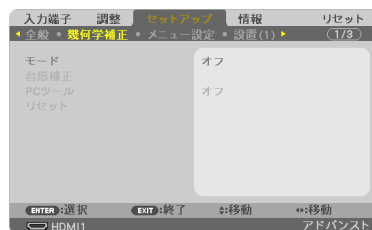
いずれかの補正項目で調整しているときは、他の補正項目はグレー表示になり選択できません。他の補正項目で調整するにはリセット操作をしてください。

[注意]

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても台形補正の調整値を保持しています。
- 台形補正は電気的な補正をしているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

1. リモコンの Geometric. ボタンを押す。

投写画面に幾何学補正画面が表示されます。



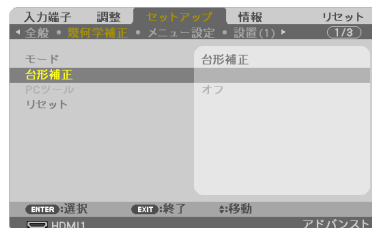
2. ▼ボタンを押して「モード」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

モード選択画面に切り替わります。



3. ▼ボタンを押して「台形補正」を選択し、ENTER ボタンを押す。

幾何学補正画面に戻ります。



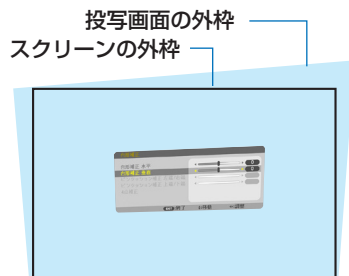
4. ▼ボタンを押して「台形補正」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

台形補正画面に切り替わります。



台形補正 垂直 / 水平

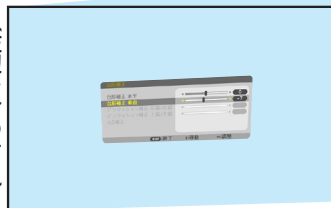
1. 台形補正画面で▼ボタンを押して「台形補正 垂直」にカーソルを合わせ、◀ / ▶ボタンを押して左右の辺を平行にする。
投写画面の台形歪み（垂直）を調整します。



2. スクリーンと投写画面の左辺または右辺を合わせる。

- ・ 投写画面の左辺と右辺を比べ、長さが短いほうの辺を合わせます。
- ・ 右の図のような台形歪みの場合は、左辺を合わせます。

(左辺を合わせる)



3. ▲ボタンを押して「台形補正 水平」にカーソルを合わせ、◀ / ▶ボタンを押して上下の辺を平行にする。

- 投写画面の台形歪み（水平）を調整します。
- ・ 右の図のように左辺を合わせた場合は、▶ボタンを押します。



4. 手順1～3を繰り返して、台形歪みを調整する。

5. 台形歪みの調整が終わったら、EXIT ボタンを数回押してメニュー画面を消す。



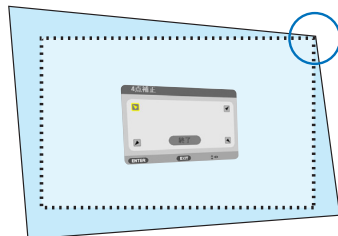
4 点補正

1. 台形補正画面で▼ボタンを押して「4点補正」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

4点補正画面が表示されます。



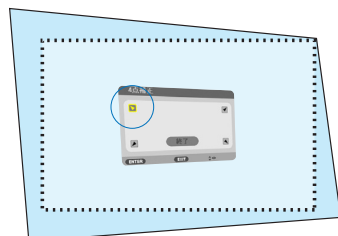
2. スクリーンがすべて含まれるように、投写画面の範囲を調整する。



3. スクリーンと投写画面の角を合わせる (図は右上の角)。

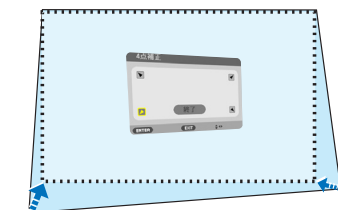
4. ▼▲◀▶ボタンを押して、画面の外枠を動かしたい角の「▲」を選ぶ (図は左上の▼)。

5. ENTER ボタンを押す。

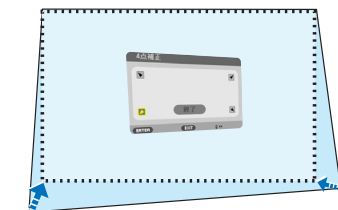


6. ▼▲◀▶ボタンを押して、投写画面の角がスクリーンの角に近付くように動かす。

7. ENTER ボタンを押す。



8. ▼▲◀▶ボタンを押して、別の角の「▲」を選ぶ。



9. 手順4～7を繰り返し、投写画面の歪みを調整する。



10. 投写画面の歪みの調整が終わったら、4点補正画面で「終了」を選んで、ENTER ボタンを押す。

4点補正の調整終了画面が表示されます。

11. ◀ / ▶ ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

4点補正の調整が確定されます。

・「取消」を選択して ENTER ボタンを押すと、4点補正画面に戻ります。

EXIT ボタンを押しても4点補正画面に戻ります。



12. EXIT ボタンを数回押してメニュー画面を消す。

ピンクッション補正

ピンクッション補正は「ピンクッション補正 左端 / 右端」または「ピンクッション補正 上端 / 下端」のどちらか1つが調整できます。

プロジェクターはスクリーン面に対して真正面にし、台形歪みがでないように設置してください。

1. 台形補正画面で▼ボタンを押して、「ピンクッション補正 左端 / 右端」または「ピンクッション補正 上端 / 下端」にカーソルを合わせる。



2. ◀ / ▶ ボタンを押して、投写画面のわん曲歪みを調整する。

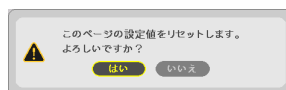
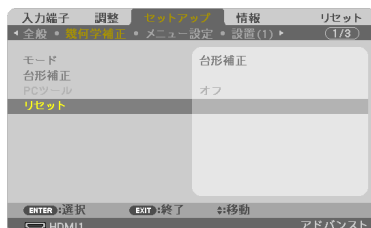
3. 調整が終わったら、EXIT ボタンを数回押してメニュー画面を消す。



※ピンクッション左端 / 右端調整例

台形補正値を初期値に戻すには

1. 幾何学補正画面を表示させ、モードで台形補正が選択されていることを確認する。
2. ▼ボタンを押して「リセット」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。
確認画面が表示されます。
3. ◀/▶ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。
確認画面が消えリセットされます。



[注意]

- リセットすると台形補正画面の項目、全ての調整値が初期化されます。

[参考]

- 当社のアプリケーションソフト ProAssist を使って、円柱面や球面等の特殊形状スクリーンに投写するときの歪みを補正することができます。
ProAssist は、当社のホームページからダウンロードしてください。
<https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html>

3-6. セキュリティを設定して無断使用を防止する

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ投写できなくなります。

【注意】

- セキュリティは、リセットでは解除されません。

セキュリティを有効にする

1. MENU ボタンを押す。
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。

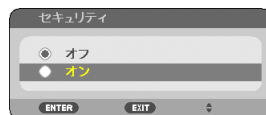
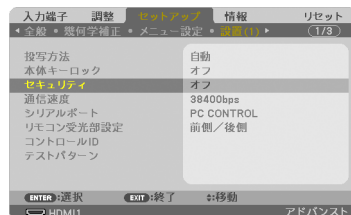
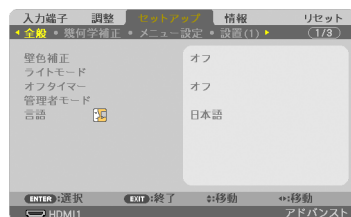
2. ▶ ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。
「全般」にカーソルが移動します。

3. ▶ ボタンを押して「設置 (1)」にカーソルを合わせる。

4. ▼ ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。
セキュリティ設定画面に変わります。

5. ▼ ボタンで「オン」を選択し、ENTER ボタンを押す。
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。

6. ▼▲◀▶ ボタンの組み合わせでセキュリティキーワードを入力し、ENTER ボタンを押す。
入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。

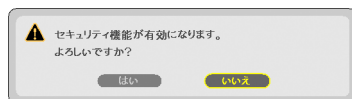


セキュリティキーワードは4個以上10個以下の組み合わせで設定してください。

[重要]

- セキュリティキーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

セキュリティキーワードの再入力画面が表示されます。



7. 6で設定したセキュリティキーワードを再入力し、ENTER ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

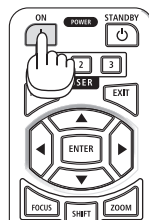
8. ◀ ボタンで「はい」を選択し、ENTER ボタンを押す。

セキュリティが有効になります。

セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

1. POWER ON を押す。

本機の電源が入り、「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」のメッセージが表示されます。



2. MENU ボタンを押す。

セキュリティキーワード入力画面が表示されます。



3. セキュリティキーワードを入力し、ENTER ボタンを押す。

入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。

セキュリティロックが一時的に解除され、選択している信号が投写されます。

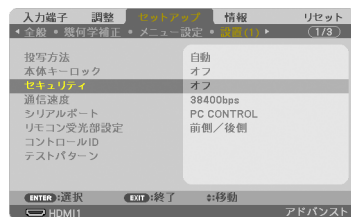
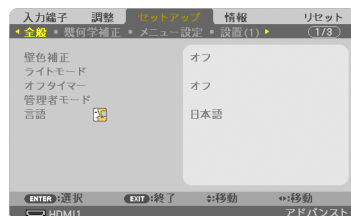


[注意]

- セキュリティロックの解除状態は、AC 電源を切断するまで保持されます。

セキュリティを無効にする

1. MENU ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
2. ▶ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。
「全般」にカーソルが移動します。
3. ▶ボタンを押して「設置 (1)」にカーソルを合わせる。
4. ▼ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。
セキュリティ設定画面に変わります。
5. ▲ボタンで「オフ」を選択し、ENTER ボタンを押す。
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
6. セキュリティキーワードを入力し、ENTER ボタンを押す。
入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。
セキュリティが無効になります。



[参考]

- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター ([裏表紙](#)) にご連絡ください。

3-7.HTTP を使用したウェブブラウザによる操作

概要

HTTP サーバー機能では次の設定や操作ができます。

- 本機をネットワーク（有線 LAN）に接続するための設定。
有線 LAN の設定をする場合は、本機とコンピューターを市販の LAN ケーブルで接続してください。（→ 132 ページ）
- メール通知の設定（ALERT MAIL）。
本機をネットワーク（有線 LAN）に接続しているときに、光源の使用時間や各種エラーを、設定したメールアドレスへ通知します。
- 本機の操作。
本機の電源のオン／オフ、入力端子の切り替え、音量調整、映像調整などができます。
- AMX ビーコン、Extron XTP、HTTP サーバー、PJLink、CRESTRON などの設定。

[重要]

- このプロジェクターの工場出荷時は「有線 LAN」の設定が「無効（プロファイル）」になっています。ネットワークに接続する場合は、オンスクリーンメニューを表示してネットワーク設定の「有線 LAN」のプロファイル設定を「無効」から「有効」に変更して有線 LAN を有効にしてください。
- ご購入後はじめて有線 LAN を設定するときは、ネットワークパスワードを設定してください。（→ 113 ページ）

HTTP サーバー機能へアクセスするには

本機とネットワークで接続されたコンピューターでウェブブラウザを起動し、アドレスまたは URL の入力欄へ `http://〈本機の IP アドレス〉/index.html` と指定してください。

[参考]

- 工場出荷時の IP アドレス設定は、DHCP が「オン」になっています。

[注意]

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、設定してください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作をするとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作してください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。

- ウェブブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl + F5 キーを押してウェブブラウザの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能なようにブラウザを設定してください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

使用前の準備

ウェブブラウザによる操作の前にあらかじめ本機に市販の LAN ケーブルを接続してください。(→ 132 ページ)

プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したウェブブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことを推奨します。

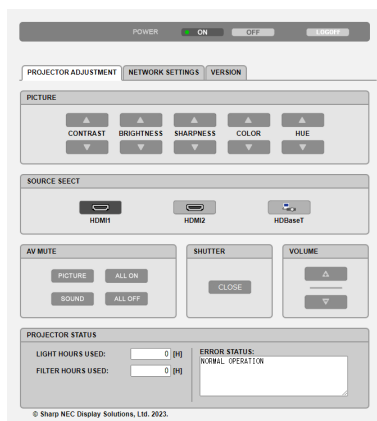
ウェブブラウザによる操作のアドレスの扱い

ウェブブラウザによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバーへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている場合、または使用しているコンピューターの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

(例 1) 本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
http://pj.nec.co.jp/index.html と指定します。

(例 2) 本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
http://192.168.73.1/index.html と指定します。

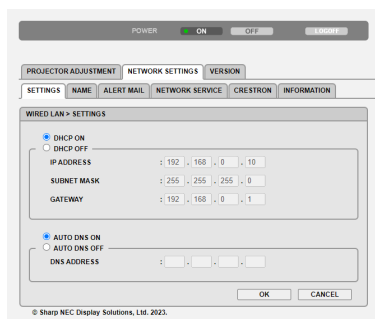
プロジェクター調整



POWER	<p>本機の電源をオン／オフします。</p> <p>ON 電源をオンにします。</p> <p>OFF 電源をオフにします。</p>
PICTURE	<p>本機の映像調整をコントロールします。</p> <p>CONTRAST ▲ コントラストの調整値をアップします。</p> <p>CONTRAST ▼ コントラストの調整値をダウンします。</p> <p>BRIGHTNESS ▲ 明るさの調整値をアップします。</p> <p>BRIGHTNESS ▼ 明るさの調整値をダウンします。</p> <p>SHARPNESS ▲ シャープネスの調整値をアップします。</p> <p>SHARPNESS ▼ シャープネスの調整値をダウンします。</p> <p>COLOR ▲ カラーの調整値をアップします。</p> <p>COLOR ▼ カラーの調整値をダウンします。</p> <p>HUE ▲ 色相の調整値をアップします。</p> <p>HUE ▼ 色相の調整値をダウンします。</p> <p>※ 本機に入力されている信号によって、コントロールできる機能が変わります。詳しくは「4-4. 調整」の「コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相」(→ 93 ページ)をご覧ください。</p>
SOURCE SELECT	<p>本機の入力端子を切り替えます。</p> <p>HDMI1 HDMI1 入力端子に切り替えます。</p> <p>HDMI2 HDMI2 入力端子に切り替えます。</p> <p>HDBaseT Ethernet/HDBaseT ポートに切り替えます。</p>
AV-MUTE	<p>本機の MUTE をコントロールします。</p> <p>PICTURE 映像をミュート（一時的に消去）します。</p> <p>PICTURE 映像ミュートを解除します。</p>

	SOUND <input checked="" type="radio"/>	音声をミュート（一時的に消去）します。
	SOUND <input type="radio"/>	音声ミュートを解除します。
	ALL ON	映像、音声、メニュー表示をすべてミュート（一時的に消去）します。
	ALL OFF	映像、音声、メニュー表示のミュートをすべて解除します。
SHUTTER	本機の投写光をオン／オフします。	
	CLOSE <input checked="" type="radio"/>	光源が消灯して投写光が一時的に消えます。
	CLOSE <input type="radio"/>	光源が点灯します。
VOLUME	本機の音量をコントロールします。	
	▲	音量調整値をアップします。
	▼	音量調整値をダウンします。
PROJECTOR STATUS	本機の状態を表示します。	
	LIGHT HOURS USED	光源の使用時間を表示します。
	FILTER HOURS USED	フィルターの使用時間を表示します。
	ERROR STATUS	本機内部のエラー発生状況を表示します。
LOG OFF	ログオフして認証画面（ログオン画面）に戻ります。	

ネットワーク設定



● SETTINGS

有線 LAN の有効、無効を選択します。

「SETTINGS」で有線 LAN の設定をします。設定内容はオンスクリーンメニューの説明をご覧ください。（→ [114](#) ページ）

● NAME

PROJECTOR NAME	本機のプロジェクター名を設定します	最大 16 文字
HOST NAME	本機のホスト名を設定します。	最大 16 文字

● ALERT MAIL

ALERT MAIL	<p>本機を LAN に接続して使用する場合、本機に各種エラーが発生したときに、本機の状態を E メールでコンピューターなどへ通知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) : 以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。 ・ <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) : メール通知機能は停止します。 	—
SENDER'S ADDRESS	本機から E メールを送信する際の差出人アドレスを設定します。	最大 60 文字
SMTP SERVER NAME	本機が接続をするネットワークの SMTP サーバーを設定します。	最大 60 文字
RECIPIENT'S ADDRESS 1 RECIPIENT'S ADDRESS 2 RECIPIENT'S ADDRESS 3	本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できません。	最大 60 文字
TEST MAIL	<p>Eメールの設定を確認するために、テストメールを送信します。</p> <hr/> <p>[注意]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 送信テストの結果がエラーになったり、メールが届かない場合は、ネットワーク設定を確認してください。 ● 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。 <hr/>	—
SAVE	設定情報を本機のメモリーへ記憶します。	

● NETWORK SERVICE

AMX BEACON	本機を AMX 社の NetLinx コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX DeviceDiscovery からの検出の有効/無効を設定します。	—
------------	--	---

[次ページへ続く](#)

AMX BEACON	<p>.....</p> <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AMX Device Discovery は、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要な Device Discovery Module を AMX のサーバーからダウンロードする仕組みです。 <p>.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) : AMX Device Discovery からの本機の検出を有効にします。 ・ <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) : AMX Device Discovery からの本機の検出を無効にします。 	—
Extron XTP	<p>本機を Extron 社の XTP トランスミッターに接続する場合に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) : XTP トランスミッターとの接続を有効にします。 ・ <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) : XTP トランスミッターとの接続を無効にします。 	—
HTTP	HTTP サーバーを使用する場合に、パスワードを設定します。	最大 10 文字
PJLink	<p>PJLink を使用する場合の設定をします。</p> <p>PASSWORD : パスワードを設定します。</p> <p>CLASS : Class1 と Class2 を切り替えます。</p> <p>NOTIFICATION : 通知機能の有効、無効を設定します。</p> <p>NOTIFIED ADDRESS : 通知先となる IP アドレスを設定します。</p> <p>.....</p> <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● PJLink (ピージェイリンク) とは一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (略称 JBMIA) が制定したネットワーク (通信) インターフェース規格です。 <p>https://pjlink.jbmia.or.jp/index.html</p> <p>.....</p>	PASSWORD 最大 32 文字

.....

[参考]

- 設定したパスワードを忘れてしまった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。
-

● **CRESTRON**

Crestron RoomView	コンピューターで制御する場合に設定します。 ・ DISABLE …ROOMVIEW を無効にします。 ・ ENABLE …ROOMVIEW を有効にします。	—
Crestron Control	コントローラーで制御する場合に設定します。 ・ DISABLE …CRESTRON CONTROL を無効にします。 ・ ENABLE …CRESTRON CONTROL を有効にします。 IP ADDRESS : CRESTRON SERVER の IP ADDRESS を入力します。 IP ID : CRESTRON SERVER の IP ID を入力します。	IP ID 最大 5 文字

.....

[参考]

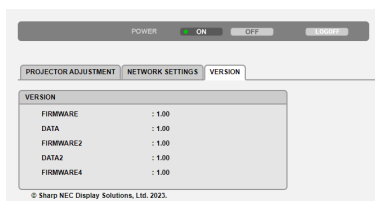
- CRESTRON の項目は、CRESTRON ROOMVIEW を使用する場合に設定します。CRESTRON ROOMVIEW については、Crestron 社のホームページをご覧ください。(英語のみ) <https://www.crestron.com>
-

● **INFORMATION**

WIRED LAN	有線 LAN の設定情報を一覧表示します。
UPDATE	設定情報を変更した場合、一覧の表示を更新します。

バージョン

本機の FIRMWARE および DATA のバージョンを表示します。



4. オンスクリーンメニュー

4-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して操作します。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するには MENU ボタンを押します。また、メニューを消す場合は EXIT ボタンを押します。

ここでは、メニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。

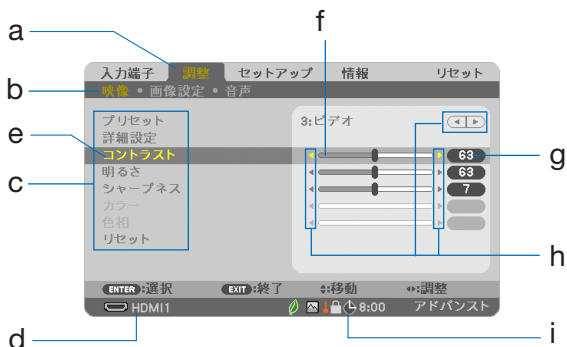
準備：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

1. MENU ボタンを押す。

ご購入後、はじめて操作したときは入力端子のメニューが表示されます。

2. ▶ ボタンを 1 回押す。

カーソルが「調整」に移動し、調整のメニューが表示されます。



a : メインメニュータブ

b : サブメニュータブ

c : 調整項目

d : 入力信号表示

e : カーソル (黄色の部分)

f : 調整バー

g : 調整値

h : 選択可能マーク

i : 動作中の状態

🌱 ライトモードの「長寿命」設定、🌀 ファンモードの「高地」設定、

🔥 高温のため保護機能動作中、🔒 本体キーロック中、

🕒 8:00 オフタイマーの残り時間のアイコン

3. ▼ / ▲ ボタンを押す。

カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。

4. 「明るさ」にカーソルを合わせ、◀ / ▶ ボタンを押す。

画面の明るさが調整されます。

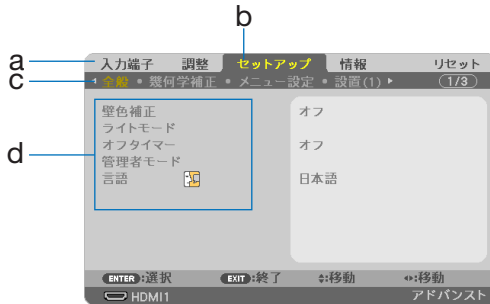
- ・「◀ ▶ (選択可能マーク)」が付いている項目は◀ / ▶ ボタンで設定を切り替えることができます。
- ・「◀ ▶ (選択可能マーク)」が付いていない項目を設定する場合は、その項目にカーソルを合わせ ENTER ボタンを押します。
- ・調整項目内のリセットにカーソルを合わせ ENTER ボタンを押すと、映像の調整や設定を工場出荷状態に戻します。

5. EXIT ボタンを 2 回押す。

カーソルがメインメニュータブの調整に移動します。

6. ▶ ボタンを 1 回押す。

カーソルがセットアップに移動し、セットアップのメニューが表示されます。



a : メインメニュータブ / b : カーソル / c : サブメニュータブ / d : 設定項目

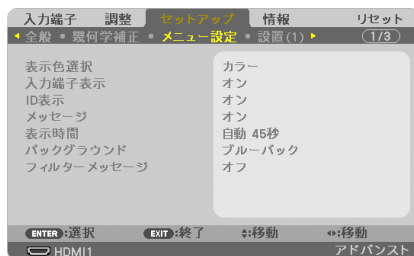
7. ENTER ボタンを押す。

全般にカーソルが移動します。

- ・セットアップには全般、幾何学補正、メニュー設定、設置 (1)、設置 (2)、オプション (1)、オプション (2)、ネットワーク設定という 8 つのサブメニュータブがあります。◀ / ▶ ボタンで選択します。

8. ▶ ボタンを 2 回押して「メニュー設定」にカーソルを合わせる。

メニュー設定のメニューに切り替わります。



9. ▼ボタンを押して「バックグラウンド」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

バックグラウンド選択画面が表示されます。

・バックグラウンドとは、無信号時に表示される画面のことです。



10. ▼ / ▲ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。

11. 選択したい項目にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

バックグラウンドが設定されます。

・選択を取り消す場合は、EXIT ボタンを押します。

12. MENU ボタンを1回押す。

メニューが消えます。

[注意]

●入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

調整画面、設定画面の操作例

●ラジオボタンの選択

選択肢の中からから1つ「●」を選びます。

【例1】「壁色補正」の選択

セットアップ→全般→壁色補正



a: ラジオボタン

1. ▼ / ▲ボタンを押す。

選択されているマーク (●) が移動します。

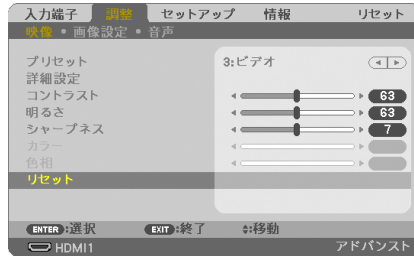
2. 選択する項目に「●」を移動したら、ENTER ボタンを押す。

●実行ボタン

機能を実行します。

実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で EXIT ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

【例 2】調整のリセット



1. 「リセット」にカーソルが合っていることを確認する。
2. ENTER ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。
3. 実行する場合は、◀ / ▶ ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。
機能が実行されます。
 - ・ 機能を実行しない場合は、確認メッセージで「いいえ」を選択し、ENTER ボタンを押します。

4-2. オンスクリーンメニュー一覧

以下は、「アドバンスメニュー」の一覧です。「ベーシックメニュー」で表示される項目には「**B**」マークを付けています。

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニュー		サブメニュー		選択項目	参照ページ		
メインメニュー	サブメニュー						
入力端子	—			HDMI1 B HDMI2 B HDBaseT B	89		
調整	映像	プリセット		1: 高輝度モード、2: プレゼンテーション、3: ビデオ、4: ムービー、5: グラフィック、6: sRGB、7: DICOM SIM.	90		
		詳細設定	全般			91	
			参照	高輝度モード、プレゼンテーション、ビデオ、ムービー、グラフィック、sRGB、DICOM SIM.			
			ガンマ補正	ダイナミック、ナチュラル、ソフト			
			スクリーンサイズ	大、中、小		92	
			色温度				
			ダイナミックコントラスト	オフ、オン			
			カラーエンハンスメント	オフ、弱、中、強			
			ホワイトバランス				
			コントラスト赤				
			コントラスト緑				
			コントラスト青				
			明るさ赤				
			明るさ緑				
			明るさ青				
			コントラスト B			93	
		明るさ B					
シャープネス B							
カラー B							
色相 B							
リセット B							
画像設定	オーバースキャン	自動、0%、5%、10%		94			
	アスペクト	自動、4:3、16:9、15:9、16:10、レターボックス、リアル					
音声	音量 B						

4. オンスクリーンメニュー

メニュー		サブメニュー	選択項目	参照ページ			
メインメニュー	セットアップ	全般	壁色補正 B	オフ、ホワイトボード、黒板、黒板（グレー）、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、スカイブルー、ライトローズ、ピンク	95		
			ライトモード B	ライトモード		ノーマル、静音、長寿命	
				ライト調整			
				輝度一定モード	オフ、オン		
			オフタイマー B		オフ、0:30、1:00、2:00、4:00、8:00、12:00、16:00	96	
			管理者モード B	メニューモード	アドバンスド、ベーシック		
		設定値を保存しない		オフ、オン			
		キーワード		オフ、オン			
		言語 B		ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、SVENSKA、РУССКИЙ、عربي、ئۆيغۇر、日本語、DANSK、PORTUGUÉS、ČEŠTINA、MAGYAR、POLSKI、NEDERLANDS、БЪЛГАРСКИ、हिन्दी、简体中文、繁體中文、SUOMI、NORSK、TÜRKÇE、ROMÂNĂ、HRVATSKI、INDONESIA、ΕΛΛΗΝΙΚΑ、ไทย、한국어、TIẾNG VIỆT			
		幾何学補正	モード	台形補正	オフ、台形補正、PC ツール		97
				台形補正 水平	台形補正 垂直		
					ピンクッション補正 左端 / 右端		
ピンクッション補正 上端 / 下端							
4 点補正							
PC ツール	オフ、1、2、3			98			
メニュー設定	リセット	表示色選択	カラー、モノクロ	99			
		入力端子表示	オフ、オン				
		ID 表示	オフ、オン				
		メッセージ	オフ、オン				
		表示時間	手動、自動 5 秒、自動 15 秒、自動 45 秒				
		バックグラウンド	ブルーバック、ブラックバック、ロゴ				
		フィルターメッセージ	オフ、500[H]、1000[H]、1500[H]、2000[H]、2500[H]、3000[H]、3500[H]、4000[H]	100			
設置 (1)	投写方法	投写方法	自動、デスク / フロント、天吊り / リア、デスク / リア、天吊り / フロント	101			
		本体キーロック	オフ、オン	102			
		セキュリティ	オフ、オン				
		通信速度	4800bps、9600bps、19200bps、38400bps				
		シリアルポート	PC CONTROL、HDBaseT		103		

4. オンスクリーンメニュー

メニュー		サブメニュー		選択項目	参照ページ	
メインメニュー	セットアップ	設置 (1)	リモコン受光部設定		前側 / 後側、前側、後側、HDBaseT	103
			コントロール ID	コントロール ID 番号	1- 254	104
				コントロール ID	オフ、オン	
		テストパターン			105	
	設置 (2)	基準ホワイトバランス	コントラスト 赤			106
			コントラスト 緑			
			コントラスト 青			
			明るさ 赤			
			明るさ 緑			
			明るさ 青			
		レンズホーム				
		レンズキャリブレーション				
	オプション (1)	シームレススイッチング		オフ、オン	107	
		ファンモード		自動、高地		
		WXGA モード		オフ、オン		
		ビデオレベル	HDMI1	自動、標準、拡張		108
	HDMI2		自動、標準、拡張			
	HDBaseT		自動、標準、拡張			
	オプション (2)	スタンバイモード		ノーマル、ネットワークスタンバイ、スリープ	109	
		ダイレクトパワーオン		オフ、オン	110	
オートパワーオン		オフ、自動、HDMI1、HDMI2				
オートパワーオフ		時刻	1 ~ 60 (分)	111		
		モード	オフ、オン			
初期入力選択		ラスト、自動、HDMI1、HDMI2、HDBaseT	112			
コンバージェンス		水平赤				
		水平緑				
		水平青				
		垂直赤				
	垂直緑					
	垂直青					
ネットワーク設定	ネットワークパスワード			113		
	有線 LAN		(インターフェース、プロファイル、DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、自動 DNS、DNS、再接続)	114		
	HTTP サーバー		オフ、オン			
情報	使用時間 [ⓑ]		ライト使用時間、フィルター使用時間、総 CO2 削減量、	115		
	信号 (1) [ⓑ]		信号名、信号番号、水平同期周波数、垂直同期周波数、同期極性、走査方式			
	信号 (2) [ⓑ]		信号形式、色深度、ビデオレベル			
	HDBaseT		信号品質、オペレーションモード、リンクステータス、HDMI ステータス			
	有線 LAN		IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス			

4. オンスクリーンメニュー

メニュー		選択項目	参照 ページ
メインメニュー	サブメニュー		
情報	VERSION (1) B	FIRMWARE、DATA、	115
	VERSION (2) B	FIRMWARE2、DATA2、FIRMWARE4	
	その他 B	プロジェクター名 B 、ホスト名 B 、 MODEL NO. B 、SERIAL NUMBER B 、 CONTROL ID B *1、レンズ ID	
	状態	吸気温度、排気温度、設定位置、 X 軸、Y 軸、Z 軸	
リセット	—	表示中の信号	117
		全データ	
		フィルター時間クリア	

※1：CONTROL ID はコントロール ID を設定しているときに表示されます。

4-3. 入力端子

投写する入力端子を選択します。

現在選択されている入力端子には「●」(ドット)を表示します。

HDMI1	HDMI1 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDMI2	HDMI2 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDBaseT	HDBaseT 対応の伝送機器から送られてくる映像信号を投写します。

4-4. 調整

映像

●プリセット

投写した映像に最適な設定を選択します。

鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。

本機の工場出荷時は、プリセット項目 1～7 に、あらかじめ次の設定がされています。また、詳細設定でお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目 1～7 に登録できます。

1：高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2：プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションするときに適した設定にします。
3：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
4：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
5：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
6：sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。
7：DICOM SIM.	医療業界で用いられている DICOM 規格に近似した設定にします。

[注意]

- 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM 規格に近似した映像に調整する設定であり正しく投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、実際の診断には使用しないでください。

[参考]

- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、コンピューターやディスプレイ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年に Hewlett-Packard 社と Microsoft 社が策定し、1999年に IEC の国際規格となりました。
- 「DICOM SIM.」の DICOM（ダイコム）は、医療用画像の保存や通信に用いられている世界標準規格の名称です。コンピューター断層撮影（CT）、磁気共鳴映像法（MRI）や内視鏡などの診療で用いられています。

●詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。

調整値を登録するには、プリセット項目 1～7 のいずれかを選択し、「詳細設定」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押します。

ガンマ補正、スクリーンサイズ、色温度、ダイナミックコントラスト、カラーエンハンスメントの項目について、細かな設定ができます。

全般—参照

詳細設定のもとになるモードを選択します。

全般—ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

[注意]

- 参照で「DICOM SIM.」を選択した場合は、ガンマ補正は設定できません。

全般—スクリーンサイズ

投写画面のサイズに応じた適切なガンマ補正にします。

大	300 型前後のサイズのときに選択します。
中	200 型前後のサイズのときに選択します。
小	100 型前後のサイズのときに選択します。

[注意]

- 参照で「DICOM SIM.」を選択した場合のみ選択できます。

全般—色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。

5000K から 10500K まで、100K 単位で設定できます。

[注意]

- 参照で「高輝度モード」を選択した場合、色温度は選択できません。

全般—ダイナミックコントラスト

「オン」に設定すると、最適なコントラスト比に調整します。

【注意】

- 輝度一定モードが動作している場合、ダイナミックコントラストは選択できません。
- 参照で「DICOM SIM.」を選択した場合、ダイナミックコントラストは選択できません。

全般—カラーエンハンスメント

映像の色の濃さを調整します。「弱」「中」「強」の順に色が濃くなりますが、画面は暗くなります。「オフ」を選択したときは、カラーエンハンスメントは機能しません。

【注意】

- 参照で「sRGB」または「DICOM SIM.」を選択した場合、カラーエンハンスメントは選択できません。

ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	映像の黒色を調整します。
コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	映像の白色を調整します。

【注意】

- ホワイトバランスを操作した場合は、色温度の数値と実際の色合いが異なります。

●コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像を調整します。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。

[注意]

- 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

入力信号	コントラスト	明るさ	シャープネス	カラー	色相
HDMI/HDBaseT の RGB 系	○	○	○	×	×
HDMI/HDBaseT の コンポーネント系	○	○	○	○	○

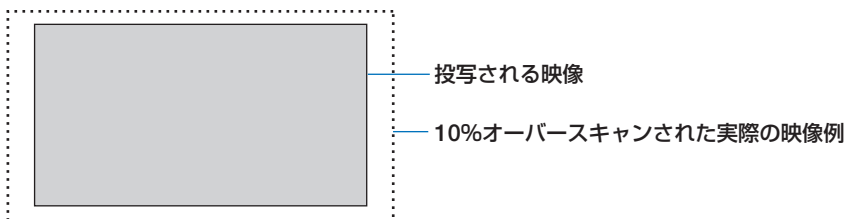
(○：調整可、×：調整不可)

●リセット

「映像」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。プリセットの番号、およびそのプリセット内の参照はリセットされません。現在選択されていないプリセットの詳細設定もリセットされません。

●オーバースキャン

オーバースキャン（画面周囲のフレーム部分をカットする処理）の割合を設定します。「自動」を選択すると、入力信号に最適なオーバースキャンをして表示します。



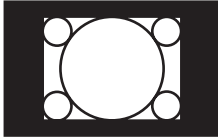
[注意]

- アスペクトが「リアル」のときは選択できません。

●アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。

本機は、入力された信号を自動的に判別して最適なアスペクト比を選択します。

選択項目	説明
自動	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。 誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。
4 : 3	4 : 3 のサイズで投写します。
16 : 9	16 : 9 のサイズで投写します。
15 : 9	15 : 9 のサイズで投写します。
16 : 10	16 : 10 のサイズで投写します。
レターボックス	レターボックスの信号が適切に投写されるように縦方向、横方向を均等に拡大して投写します。映像の上端と下端は表示されません。
リアル	<p>コンピューター入力信号の解像度が本機の解像度よりも小さいときに、コンピューター入力信号の解像度のまま投写します。</p> <p>【例】 解像度が 800 × 600 の信号を入力したとき</p>  <p>【注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コンピューター以外の信号を投写しているときは「リアル」は選択できません。 ● コンピューター入力信号の解像度が本機の解像度以上のときは「リアル」は選択できません。

音声

●音量

音声出力端子の音量を調整します。

4-5. セットアップ

全般

●壁色補正



映像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

[注意]

- 「ホワイトボード」を選択すると、明るさが低下します。

●ライトモード

使用目的などに合わせてライトモードを選択できます。また、出力を調整して輝度(明るさ)を変えることができます。

ライトモード	ノーマル	標準的なモードです。
	静音	動作音を小さくすることを優先するモードです。
	長寿命	光学部品の寿命を延ばすことを優先するモードです。
ライト調整		ライトモードごとに出力を 1%刻みで調整して保存できます。 調整範囲はライトモードの設定により異なります。 ノーマル : 70 ~ 100% 静音、長寿命 : 70 ~ 90%
輝度一定モード	オフ	輝度一定モードが解除されます。
	オン	「オン」に切り替えた時点の明るさを基準にして、明るさを一定に保つように制御します。調整値は「オフ」にしない限り電源を切っても記憶しています。 ・再度輝度調整を実施する場合は、一度「オフ」にしてから輝度調整してください。
		[注意] ● 輝度一定モードは明るさを一定に保つ機能です。色は一定になりません。

[注意]

- 輝度一定モードは、以下の場合に選択できます。
ライトモードが「ノーマル」で、ライト調整が 70 ~ 95%
ライトモードが「静音」または「長寿命」で、ライト調整が 70 ~ 85%
- 輝度一定モードを「オン」に設定している場合、ライトモードとライト調整は選択できません。

[参考]

- 通常は使用時間に応じて輝度が下がりますが、輝度一定モードを設定すると、使用時間に応じて出力を自動調整し、輝度を維持できます。
ただし、出力が最大になった後は、使用時間に応じて輝度が下がります。

●オフタイマー

オフタイマーを設定しておく、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。オフタイマーを設定するとオンスクリーンメニュー下部には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。また、オフタイマー動作時は電源インジケーターの青色が長い点滅になります。

●管理者モード

本機のメニューモードの選択、プロジェクター全体の設定値の保存の有効／無効、管理者モードのキーワードを設定します。

メニューモード	ベーシックメニューとアドバンスメニューを選択します。それぞれのメニューで使用できる項目は 85 ページをご覧ください。
設定値を保存しない	オンを選択すると、オンスクリーンメニューで設定した項目の値を保存しません。
キーワード	管理者モードにパスワードを設定します。▲▼◀▶ボタンと ENTER ボタンを使って入力します。(最大 10 文字)

●言語

メニューに表示される言語を選択します。

[参考]

- 言語は、リセットしても変更されません。

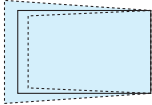
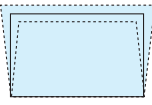
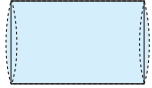


幾何学補正

●モード

投写画面の歪みを補正する方法を選択します。
オフを選択すると、幾何学補正が無効になります。

●台形補正

投写画面の歪みを補正するのが台形補正です。
台形補正には、台形補正 水平、台形補正 垂直、ピンクッション補正 左端 / 右端、ピンクッション補正 端 / 下端、4点補正があります。
台形補正 水平と台形補正 垂直は、同時に調整することができます。
いずれかを選択して調整すると、同時に調整できない補正はグレー表示になります。
他の補正に変更する場合は、リセットしてください。

台形補正 水平	スクリーンに対してプロジェクターを斜横方向から投写しているときの調整です。(→ 67 ページ)	
台形補正 垂直	スクリーンに対してプロジェクターを上または下向きから投写しているときの調整です。(→ 67 ページ)	
ピンクッション補正 左端 / 右端	投写画面の左端と右端のわん曲歪みを調整します。(→ 69 ページ)	
ピンクッション補正 上端 / 下端	投写画面の上端と下端のわん曲歪みを調整します。(→ 69 ページ)	
4点補正	投写画面の四隅を選択してスクリーンに合わせる調整方法です。(→ 68 ページ)	

【注意】

- 台形補正、ピンクッション補正および4点補正は電氣的な補正をしているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。
- 調整すると調整値は上書きされます。電源を切っても調整値を保持しています。

[参考]

- 4点補正および台形補正での調整範囲は次のとおりです。

	水平方向	垂直方向
4点補正	最大 ±約 30°	最大 ±約 30°
台形補正		

- ・ 信号によっては、最大範囲まで調整できない場合があります。

● PC ツール

本機にあらかじめ登録されている幾何学補正のデータを呼び出します。

当社のアプリケーションソフト ProAssist (→ 70 ページ) を使った幾何学補正データは、ここに登録されます。

[注意]

- 幾何学補正は電気的な補正をしているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

● リセット

幾何学補正のモードで選択されている項目をリセットします。

選択しているモードにより動作が異なります。

モード	動作
台形補正	台形補正の全ての調整値を初期値に戻します。
PC ツール	設定をオフにします。 登録されたデータはリセットされません。
オフ	リセットは無効です。

[参考]

- リモコンの Geometric. ボタンを 2 秒以上押しでもリセットできます。

メニュー設定

●表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

●入力端子表示

画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。

「オン」を選択した場合は、次のように表示します。

・入力信号を切り替えたときに、画面右上に「HDMI1」などの入力端子名を表示します。

●ID表示

複数台のプロジェクトターを本機のリモコンやコントロールID機能対応のリモコンを使って操作する場合、リモコンのボタンを押したときに、コントロールID画面を表示するか、しないかを選択します。設定はコントロールID (→ [104](#) ページ) をご覧ください。

●メッセージ

投写画面下側に本機のメッセージを表示するか、しないかを選択します。

「オフ」を選択しても、セキュリティロック中の警告は表示されます。セキュリティロック中の警告は、ロックを解除すると表示が消えます。

●表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

●バックグラウンド

入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示

[参考]

- ロゴとして表示する背景画像を変更するには、[158](#) ページをご覧ください。
- バックグラウンドは、リセットしても変更されません。
- オンスクリーンミュート中はバックグラウンドを変更できません。

●フィルターメッセージ

本機には、フィルターの清掃時期をお知らせする機能があります。フィルターメッセージで設定した時間（工場出荷時は「オフ」）を超えると、画面上に「フィルター清掃時期です。」のメッセージが表示されます。

この場合はフィルターの清掃時期ですので、フィルターを清掃してください。清掃のしかたは「7-3. フィルターの清掃」（→ [135](#) ページ）をご覧ください。

フィルターの汚れかたに応じて、工場出荷時の設定「オフ」を変更してください。たとえば、フィルターの汚れかたがひどい場合は、設定時間を短くしてこまめに清掃してください。

オフ	フィルター清掃のメッセージは表示されません。
500[H] / 1000[H] / 1500[H] / 2000[H] / 2500[H] / 3000[H] / 3500[H] / 4000[H]	設定した時間（500 時間 / 1000 時間 / 1500 時間 / 2000 時間 / 2500 時間 / 3000 時間 / 3500 時間 / 4000 時間）を超えると、画面上にフィルター清掃のメッセージが表示されます。

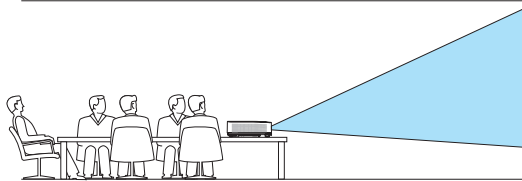
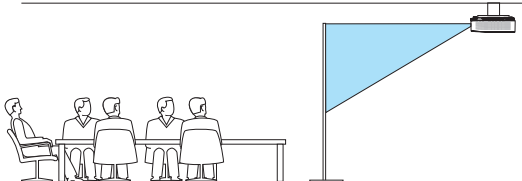
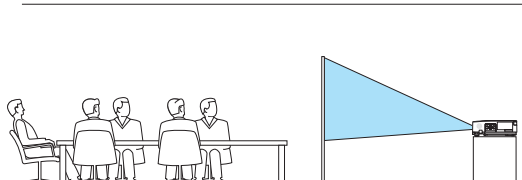
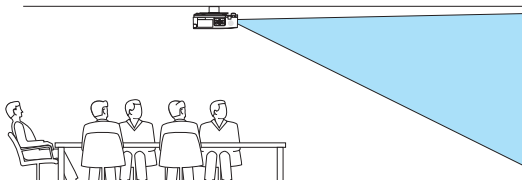
設置 (1)

●投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。



天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
お客様による設置は絶対にしないでください。
落下してけがの原因となります。

自動	本機の電源を入れたときに、本体内部のセンサーで、デスク/フロントであるか、天吊り/フロントであるかを判別して、投写方法を切り替えます。
デスク/フロント	テーブルに設置してスクリーンの前面から投写 
天吊り/リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写 
デスク/リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写 
天吊り/フロント	天井に設置してスクリーンの前面から投写 

●本体キーロック

プロジェクトター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。


オフ	本体操作部のボタンが働きます。
オン	本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。

【注意】

● 本体キーロックの解除方法

- (1) 投写中またはスリープ状態のときは、本体の EXIT ボタンを約 10 秒間押し、本体のキーロックの設定が解除されます。
- (2) スタンバイ状態のときは、本体の (電源) ボタンを約 10 秒間押しと本機の電源を入れることができます。本機が投写状態に移行したあと、(1) の操作してください。

【参考】

- 本体キーロック中は、メニュー画面右下に「」アイコンが表示されます。
- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

●セキュリティ

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ映像は投写されません。セキュリティ設定のしかたは「3-6. セキュリティを設定して無断使用を防止する」(→ 71 ページ) をご覧ください。

オフ	セキュリティを無効にします。
オン	セキュリティキーワードを設定してセキュリティを有効にします。

【参考】

- セキュリティは、リセットしても解除されません。

●通信速度

PC コントロール端子のデータ転送速度を設定します。接続する機器と転送速度を合わせてください。

【参考】

- 通信速度は、リセットしても変更されません。

●シリアルポート

市販のHDBaseT 伝送機器側からプロジェクターを遠隔操作する（電源の入 / 切など制御信号）場合、本機のどの端子でシリアル制御信号を受信するかの設定です。遠隔操作しない（映像と音声のみの伝送）場合は設定の必要はありません。

PC CONTROL	PC コントロール端子で制御信号（RS-232C シリアル通信）を受信します。
HDBaseT	Ethernet/HDBaseT ポートで映像 / 音声と制御信号（RS-232C シリアル通信）を受信します。

[注意]

- 「HDBaseT」設定時は、スタンバイモード（→ 109 ページ）がノーマルまたはネットワークスタンバイの設定に関わらず、"スリープ状態" になります。それにより、本機がスタンバイ状態のとき、接続している HDBaseT 伝送機器から本機の電源を入れることができます。
また、「HDBaseT」設定時、スタンバイモードの設定は変更できません。

[参考]

- LAN ポートでプロジェクターを制御するときは、どちらの設定でも動作します。

●リモコン受光部設定

本体前面と後面および HDBaseT のリモコン受光部を設定します。

前側／後側	前面および後面のリモコン受光部を有効にします。
前側	前面のみのリモコン受光部を有効にします。
後側	後面のみのリモコン受光部を有効にします。
HDBaseT	市販の HDBaseT 伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定し、リモコンを使って本機を操作する場合に選択します。

[参考]

- 本機を天吊り設置したときなどに、蛍光灯の影響でリモコンが利きづらくなる場合があります。その場合はリモコン受光部設定を変更してみてください。

●コントロール ID

複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。

また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID 番号	割り当てる番号を 1～254 の中から選択します。	
コントロール ID	オフ	コントロール ID 機能が無効になります。
	オン	コントロール ID 機能が有効になります。

[注意]

- コントロール ID を「オン」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります（本体操作ボタンは除く）。

[参考]

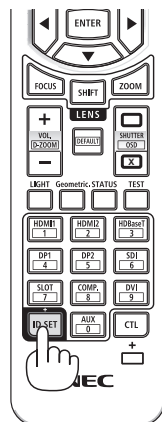
- コントロール ID は、リセットしても変更されません。
- 本体の ENTER ボタンを 10 秒間押し続けると、コントロール ID を解除するメニューが表示されます。

リモコンへの ID の設定／変更方法

1. プロジェクターの電源を入れる。
2. リモコンの ID SET ボタンを押す。
コントロール ID 画面が表示されます。



このとき、現在のリモコン ID で操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順 3 でプロジェクターのコントロール ID 番号と同じ番号をリモコンに設定します。



3. リモコンの ID SET ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンの ID を設定する。

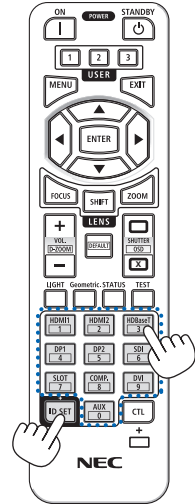
たとえば「3」に変更するには数字の3を押します。
ID なし（すべてのプロジェクターを一括操作）にするには、000 を入力します。また、ID SET ボタンを押したまま数字の0を押すと、コントロール ID 設定を解除します。

【参考】

- リモコンの ID は 1 ～ 254 まで登録できます。

4. ID SET ボタンを離す。

コントロール ID 画面が表示されます。
このとき、変更されたリモコン ID で動作・非動作画面が更新されます。



【注意】

- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくすると ID はクリアされることがあります。
- リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定している ID はクリアされます。

●テストパターン

プロジェクター設置時の画面の歪み状態を確認およびフォーカスを調整する際に表示します。

オンスクリーンメニューで「テストパターン」を選択すると、調整用のパターンが表示されます。画面に歪みがある場合は、プロジェクターの設置角度を変更するか、リモコンの Geometric. ボタンを押して調整してください。

フォーカスを調整する場合は、フォーカスリングを回してください。

フォーカス調整は、テストパターンを投写した状態で 30 分以上経過したのちに調整することをおすすめします。

テストパターンを消す場合は、EXIT ボタンを押します。

設置 (2)

●基準ホワイトバランス

各信号共通のホワイトバランスを調整します。
信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	画面の白色を調整します。
明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	画面の黒色を調整します。

●レンズポジション

レンズの位置をホームポジションに戻します。

●レンズキャリブレーション

レンズの調整範囲を校正します。
レンズユニットを交換したあとは、必ずレンズキャリブレーションを実施してください。

[注意]

- レンズユニット NP50ZL と NP44ML はレンズキャリブレーションに対応していません。

オプション (1)

●シームレススイッチング

入力端子切り替え時、切り替え前の映像を保持 (フリーズ) することで、無信号状態を経ずに切り替え後の映像が映し出されます。

●ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

自動	本機内部の温度センサーにより、適切な速度で回転します。
高地	標高約 1600m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に選びます。常に高速で回転します。

[注意]

- 標高約 1600m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- ファンモードを「高地」に設定しないまま、標高約 1600m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、光源が消灯後内部の温度が上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 高地で使用すると、光学部品（光源など）の交換時期が早まる場合があります。
- ファンモードは、リセットしても変更されません。

●WXGA モード

「オン」にすると、入力信号を認識する際、ワイド信号 (WXGA : 1280 × 768 ドット / WUXGA : 1920 × 1200 ドット) を優先します。

WXGA モードを「オン」に設定しているとき、XGA (1024 × 768 ドット) 信号または UXGA (1600 × 1200 ドット) 信号を入力すると、正しく認識されない場合があります。その場合は WXGA モードを「オフ」にしてください。

[参考]

- 工場出荷時の設定は「オン」になっています。

●ビデオレベル

本機の HDMI 1 入力端子、HDMI 2 入力端子および Ethernet/HDBaseT ポートと外部機器とを接続した場合の映像信号レベルの選択です。

自動	信号を出力する機器の情報をもとにビデオレベルを自動的に切り替えます。 接続している機器によっては正しく設定できない場合があります。その場合は、メニューで「標準」または「拡張」に切り替え最適な状態で視聴してください。
標準	拡張を無効にします。
拡張	映像のコントラストが向上し、暗部および明部がよりダイナミックに表現されます。

オプション (2)

●スタンバイモード

本機の電源を切った後の状態を設定します。

ノーマル	スタンバイ状態になり、消費電力が下がります。電源インジケータはオレンジ色で点滅します。スタンバイ状態のときは次のボタン・端子・機能のみ動作します。 本体の ⏻ ボタン、リモコンの POWER ON ボタン、PC コントロール端子を使った電源オン、オートパワーオン	消費電力 低
ネットワークスタンバイ	ネットワークスタンバイ状態になります。有線 LAN (LAN ポート) を使って本機の電源を入れることができます。電源インジケータはオレンジ色で点灯します。スタンバイ状態のときは次のボタン・端子・機能のみ動作します。 本体の ⏻ ボタン、リモコンの POWER ON ボタン、PC コントロール端子を使った電源オン、オートパワーオン、NETWORK SERVICE	消費電力 中
スリープ	スリープ状態を維持します。ネットワークスタンバイで動作するボタン、端子、機能に加え、Ethernet/HDBaseT ポートに接続した HDBaseT 対応の伝送機器を使って本機を操作することができます。電源インジケータは緑色で点灯します。	消費電力 高

[重要]

- 「ネットワークスタンバイ」 に設定している場合、LAN が 3 分間リンクダウンすると、消費電力を下げるために、自動的に「ノーマル」 に変わります。
- 「ネットワークスタンバイ」 を選択するとオートパワーオフは選択できなくなり (灰色表示)、自動的にオートパワーオフの「0:15」 が選択された状態になります。
- 以下の状態では、スタンバイモードの設定は無効となりスリープ状態※になります。
※スリープ状態とは、スタンバイモードの設定による機能制限をなくした状態です。
 - ・ 温度エラーなどのエラーが発生しているとき
 - ・ シリアルポートが「HDBaseT」 のとき
 - ・ リモコン受光部設定が「HDBaseT」 のとき
 - ・ 有線 LAN のインターフェースが「HDBaseT」 のとき
 - ・ レンズの移動中
 - ・ スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」 で、かつ以下の設定のとき
NETWORK SERVICE の AMX BEACON が有効
NETWORK SERVICE の Crestolon control が有効
NETWORK SERVICE の Extron XTP が有効

オートパワーオンが「オフ」以外で、かつ HDMI1 または HDMI2 入力端子に信号が入力されている

- ・ HTTP サーバーにアクセスしているとき

【参考】

- スタンバイモードを「ノーマル」にしても、PC コントロール端子を使った電源のオン/オフはできません。ただし、「ノーマル」では、ASCII コントロールコマンドは使用できません。
ASCII コントロールコマンドを使用する場合は、「ネットワークスタンバイ」または「スリープ」に設定してください。
- スタンバイモードは、リセットしても変更されません。
- スタンバイモードはカーボンメーターの CO₂ 削減量の計算から除外しています。

●ダイレクトパワーオン

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	AC 電源が供給されると電源が入ります。初期入力選択 (→ 112 ページ) で設定している信号が投写されます。



警告

- プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。

●オートパワーオン

本機がスタンバイ状態のとき、HDMI 信号が入力されると自動的に投写する設定です。本機の HDMI1 入力端子または HDMI2 入力端子と機器を接続して、本機をスタンバイ状態にします。

オフ	オートパワーオン機能は働きません。
自動	HDMI 信号を検知すると本機の電源を自動で入れて投写します。本機に複数の機器を接続していて、入力信号が正しく検出されない場合は、HDMI1 または HDMI2 を選択してください。
HDMI1	選択した入力端子の信号を検出します。
HDMI2	信号を検知すると、本機の電源を自動で入れて投写します。



警告

- プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。

【注意】

- 本機の電源を切ったあとにオートパワーオンを働かせたい場合は、電源を切ってスリープ状態になったあと 30 秒以上待ってから、HDMI 信号を入力してください。本機の電源を切りスタンバイ状態になるときに、HDMI 信号が本機に入力され続けていると、本機の電源は入らずスタンバイ状態を継続します。
- ご使用の機器によっては、オートパワーオンが正常に動作しない場合があります。その場合は、スタンバイモードを「ネットワークスタンバイ」に設定してください。

●オートパワーオフ

設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切ります。

時刻		本機をスタンバイ状態にするまでの無信号状態の時間を 1 から 60 分の間で設定します。
モード	オフ	オートパワーオフ機能は働きません。
	オン	「時刻」で設定した時間以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

【参考】

- スタンバイモードのモードごとにオートパワーオフを設定することができます。各モードの工場出荷時の設定は以下のとおりです。

	時刻	モード
ノーマル	60 分	オン
ネットワークスタンバイ	15 分	オン
スリープ	5 分	オフ

- プロジェクターの電源が切れるまでの残り時間が 3 分になると、画面下部に「3 分以内にパワーオフします。」というメッセージが表示されます。ただし、時刻で 1 分、2 分、または 3 分を選択した場合、プロジェクターの電源が切れるまでの残り時間が 30 秒になると、上記のメッセージが表示されます。

●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号（入力端子）にするかを設定します。

ラスト	最後に投写した入力信号を投写します。
自動	入力信号を自動検出し、最初に見つかった入力信号を投写します。
HDMI1	HDMI 1 入力端子の入力信号を投写します。
HDMI2	HDMI 2 入力端子の入力信号を投写します。
HDBaseT	HDBaseT 対応の伝送機器から送られてくる映像信号を投写します。

●コンバージェンス

画面の色ずれを調整します。

水平 赤、水平 緑、水平 青は水平方向、垂直 赤、垂直 緑、垂直 青は垂直方向に±1画素の調整ができます。

ネットワーク設定

本機をネットワークに接続して使用する際の各種設定です。
ネットワークパスワードなどの文字を入力するときは、本体またはリモコンの▲▼ボタンで英数字を選択して、◀▶ボタンでカーソルを移動します。

【重要】

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、設定してください。
- 有線 LAN を使う場合は、本機の LAN ポートに Ethernet ケーブル（LAN ケーブル）を接続してください。（→ 132 ページ）
LAN ケーブルは、市販のカテゴリ 5e 以上のシールド付きツイストペア（STP）ケーブルを使用してください。
- 工場出荷時は、有線 LAN の設定が「無効」になっています。ネットワークに接続するには、有線 LAN のプロファイル設定を「無効」から「有効」に変更してください。（→ 114 ページ）

【参考】

- ネットワーク設定で設定した内容は、「リセット」をしても変更されません。

●ネットワークパスワード

有線 LAN を使用する場合に、パスワードを設定します。また、設定したパスワードを変更します。

パスワードは最大 10 文字までの英数字で設定してください。

パスワードを設定すると、以下の場合にパスワードの入力が必要になります。

- ・ オンスクリーンメニューのネットワークパスワード画面および有線 LAN 画面を開くとき
- ・ HTTP サーバーの SETTINGS 画面でネットワーク設定を更新するとき

設定したパスワードを削除する場合は、パスワード入力欄を空欄にして登録します。

【参考】

- 登録したパスワードを忘れてしまった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（→ 裏表紙）にご連絡ください。このときパスワード入力画面に表示されているサービス問い合わせ用シリアルコード「XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXX」（X は英数字）をお知らせください。

●有線 LAN

ご購入後はじめて有線 LAN を選択すると、ネットワークパスワード設定画面が表示されます。次の (1) または (2) を実施してください。

- (1) ネットワークパスワードを設定する場合 (推奨)
ネットワークパスワード (→ 113 ページ) を参照ください。
- (2) ネットワークパスワードを設定しない場合
ネットワークパスワード設定画面の入力欄に何も入力せず空欄のまま、ENTER ボタンを押します。

ネットワークパスワードを設定した場合、パスワードの入力なしに有線 LAN 画面を表示することはできません。

インターフェース	有線 LAN の接続に LAN ポートを使用する場合は「LAN」、Ethernet/HDBaseT ポートを使用する場合は「HDBaseT」を選択します。	—
プロファイル	有線 LAN と接続するときは「有効」、接続しないときは「無効」を選択します。	—
DHCP	オン：DHCP サーバーによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。 オフ：ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを設定します。	—
IP アドレス	「DHCP」がオフの場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。	12 文字
サブネットマスク	「DHCP」がオフの場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のサブネットマスクを設定します。	12 文字
ゲートウェイ	「DHCP」がオフの場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。	12 文字
自動 DNS	オン：DHCP サーバーによって、本機を接続する DNS サーバーの IP アドレスを自動的に設定します。 オフ：本機を接続するネットワークの DNS サーバーの IP アドレスを設定します。	12 文字
DNS	「自動 DNS」がオフの場合に、本機を接続するネットワークの DNS サーバーの IP アドレスを設定します。	12 文字
再接続	ネットワークの接続を試みます。「プロファイル」を変更したときなどに実行してください。	—

● HTTP サーバー

HTTP サーバー機能を使用する場合は「有効」、しない場合は「無効」を選択します。次回本機の電源を入れたときに設定が反映されます。

4-6. 情報

ライト使用時間、総 CO2 削減量、有線 LAN のアドレス情報、入力選択されている入力信号の詳細、製品の型名や製造番号、ファームウェアなどの情報を表示します。

サブメニュー	項目名
使用時間	ライト使用時間、フィルター使用時間、総 CO2 削減量
信号 (1)	信号名、信号番号、水平同期周波数、垂直同期周波数、同期極性、走査方式
信号 (2)	信号形式、色深度、ビデオレベル
HDBaseT	信号品質、オペレーションモード、リンクステータス、HDMI ステータス
有線 LAN	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス
VERSION (1)	FIRMWARE、DATA
VERSION (2)	FIRMWARE2、DATA2、FIRMWARE4
その他	プロジェクター名、ホスト名、MODEL NO.、SERIAL NUMBER、CONTROL ID、レンズ ID
状態	吸気温度、排気温度、設定位置、X 軸、Y 軸、Z 軸

- ・ 使用時間ページの「総 CO2 削減量」は、プロジェクターの省エネ効果を表示します。(→ 65 ページ)
- ・ 信号ページは、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が投写されない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」(→ 148 ページ) もあわせてご覧ください。

[参考]

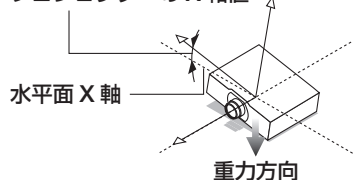
- 状態の X 軸、Y 軸、Z 軸表示について

(注) 右図の Z 軸の矢印方向がプロジェクターの上面を表します。

X 軸：

プロジェクターの図の X 軸方向において、水平に対する傾きを $-100 \sim +100$ の値で表示します。

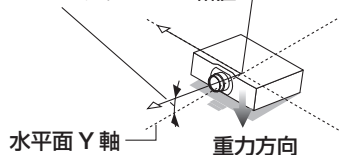
プロジェクターの X 軸値



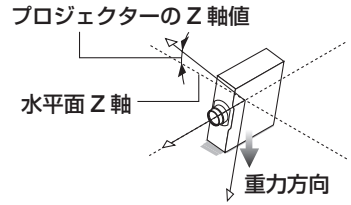
Y 軸：

プロジェクターの図の Y 軸方向において、水平に対する傾きを $-100 \sim +100$ の値で表示します。

プロジェクターの Y 軸値



Z 軸：
プロジェクターの図の Z 軸方向において、垂直
に対する傾きを $-100 \sim +100$ の値で表示しま
す。



4-7. リセット

本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

リセットの処理には多少時間がかかります。

●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされるデータ】

プリセット・コントラスト・明るさ・シャープネス・カラー・色相・オーバースキャン・アスペクト

●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】

台形補正 水平/垂直・ピンククッション補正・PC ツール・管理者モード・言語・バックグラウンド・フィルターメッセージ・投写方法・セキュリティ・通信速度・シリアルポート・コントロール ID・基準ホワイトバランス・ファンモード・スタンバイモード・コンバージェンス・ネットワーク設定・ライト使用時間・フィルター使用時間・総 CO2 削減量・プロジェクター名

●フィルター時間クリア

フィルターを清掃または交換したときに「フィルター使用時間」をクリアします。

本機の工場出荷時、オンスクリーンメニューの「フィルターメッセージ」は「オフ」に設定されています。「オフ」の場合は「フィルター時間クリア」は必要ありません。

5. レンズユニットや添付品などを取り付ける

5-1. レンズユニット（別売）を取り付ける

本機は、10種類の別売レンズユニットが使用できます。ここではNP13ZL（2倍ズーム）のレンズユニットで説明します。他のレンズユニットも同じ方法で取り付けてください。レンズユニットを本機に取り付けたとき、またはレンズユニットを交換したときは、本体のZOOM/L-CALIB ボタンを長く（2秒以上）押し、「レンズキャリブレーション」を実行してください。（→ 44, 106 ページ）

レンズキャリブレーションにより、レンズの調整範囲を校正します。



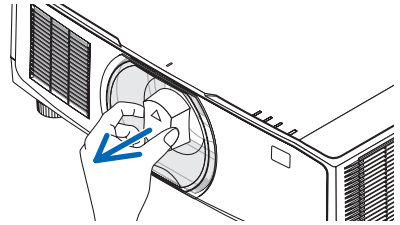
- レンズユニットは（1）電源を切る操作をし、冷却ファンが停止するのを待つ、（2）電源プラグをコンセントから抜いて、本体が十分冷えてから着脱してください。投写状態で着脱すると目の障害、感電やけどの原因になります。

【重要】

- プロジェクターおよびレンズユニットは精密部品でできています。衝撃を与えたり、無理な力を加えたりしないでください。
- 別売のレンズユニットを装着しているときに本機を移動する際はいったんレンズユニットを取り外してください。移動する際にレンズユニットに衝撃を与えると、レンズユニットおよびレンズシフト機構が破損するおそれがあります。
- 本機からレンズユニットを取り外す際は、電源を切る前にレンズ位置をホームポジションに戻してください。ホームポジションに戻していないと、プロジェクターとレンズユニットの隙間が狭くなり、取り外しおよび取り付けの障害になります。
- 作業中、レンズ面には絶対に手を触れないでください。
- レンズ面にゴミや油などが付着しないよう、また、傷が付かないように十分ご注意ください。
- 平らな場所で、傷が付かないように布などを敷いて作業してください。
- 長時間レンズユニットを外しておく場合は、防塵キャップを本体に取り付け、ほこりやゴミが内部に入らないようにしてください。
- NP50ZL を取り付けた後は、必ず同梱のサポートキットを使って、プロジェクター本体とレンズユニットを固定してください。詳しくは、NP50ZL に添付の取扱説明書をご覧ください。
- NP44ML を取り付けた後は、必ず別売のサポートキット（NP01LK）を使って、プロジェクター本体とレンズユニットを固定してください。詳しくは、サポートキットに添付の取扱説明書をご覧ください。

レンズユニットを取り付ける

1. 本体の防塵キャップを外す。

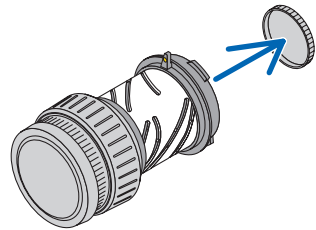


2. レンズユニット後ろのレンズキャップを外す。

・レンズユニット NP13ZL で説明しています。

【注意】

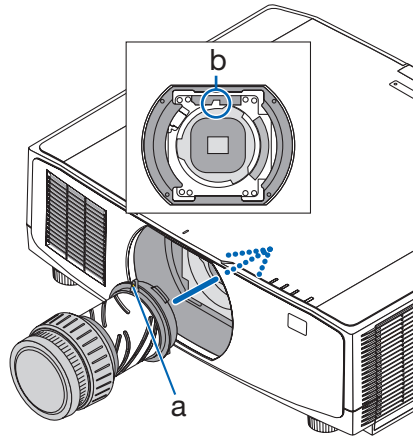
- 後ろのレンズキャップは必ず取り外してください。後ろのレンズキャップを取り付けたまま本体に取り付けると故障の原因となります。



3. レンズユニットの突起①を、プロジェクターのレンズ挿入口のミゾ②に合わせて挿入する。

- ・ NP11FL/NP12ZL/NP13ZL/NP14ZL/NP15ZL の突起には黄色のマークが付いています。
- ・ NP40ZL/NP41ZL/NP43ZL/NP50ZL/NP44ML はレンズユニットの貼付ラベル内の矢印で突起を示しています。

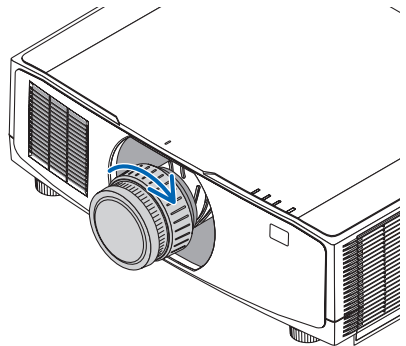
ゆっくり奥まで挿入してください



4. レンズユニットを右に回す。

【注意】

- レンズユニットを取り付けるときに、レンズ取り付け部の下にあるレンズリリースボタンを押さないでください。レンズユニットを正しい位置に固定できなくなります。

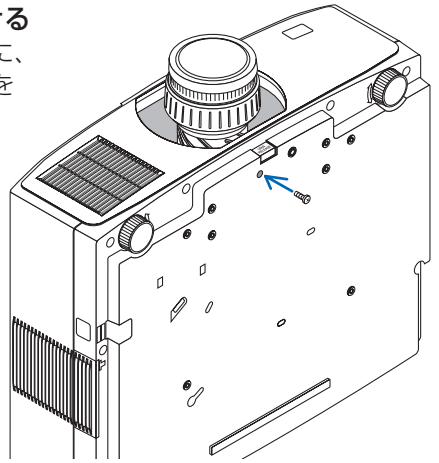


カチッと音がするまで回します。

レンズユニットがプロジェクター本体に固定されます。

5. レンズユニット盗難防止用ネジを取り付ける

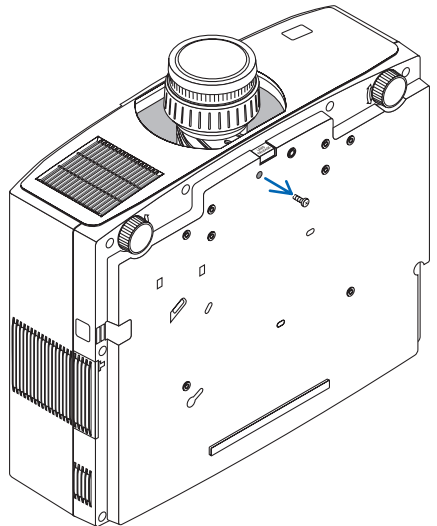
レンズユニットを簡単に取り外されないように、本機に添付のレンズユニット盗難防止用ネジを本体底面にネジ止めします。



レンズユニットを取り外す

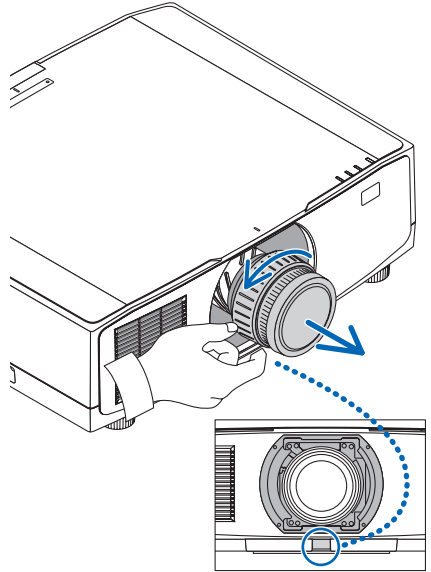
- 準備：1. プロジェクターの電源を入れ投写状態にしてください。
2. 本体の SHIFT/HOME POSITION ボタンを長押し（約 2 秒以上）してください。
レンズ位置がホームポジションに戻ります。
3. 電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
4. しばらく待って、本体が十分に冷えたことを確認してください。

1. レンズユニット盗難防止用ネジを外す。



2. プロジェクター本体前面のレンズ取り付け部の下にあるレンズリリースボタンを奥まで押し込みながら、レンズユニットを左に回す。

レンズユニットが外れます。

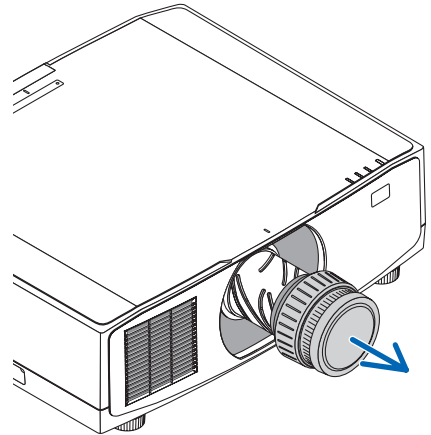


3. プロジェクター本体からレンズユニットをゆっくり引き出す。

・ 外したレンズユニットはレンズユニットに添付していたレンズキャップ（前と後）を取り付けてから保管してください。

・ レンズユニットを取り付けないときは、本体に添付の防塵キャップを取り付けてください。

このとき、防塵キャップの識別マーク（△）が上を向くようにしてください。



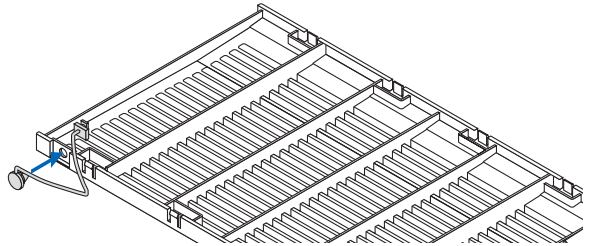
5-2. 落下防止用ストラップ(添付)を取り付ける

本機を天吊りで設置する場合は、フィルターカバーの落下防止のためにストラップを取り付けてください。

準備：本体からフィルターカバーを取り外します。

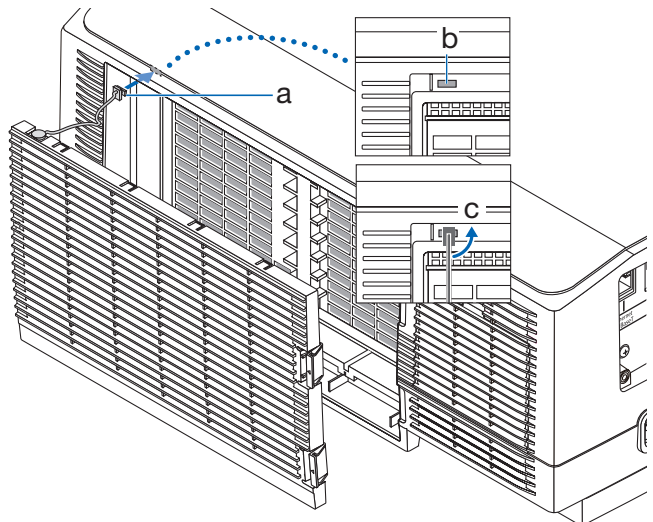
フィルターカバーの取り外し/取り付けについては、7-3. フィルターの清掃 (→ 135 ページ) をご覧ください。

1. フィルターカバー用ストラップ(ひも状の樹脂製)の丸い突起を、フィルターカバーの穴に差し込む。



2. フィルターカバー用ストラップの反対側の四角い突起①を本体の穴②に差し込んだ後、90度回転③させて固定する。

・先にフィルターユニットを取り外しておくと、ストラップを装着しやすくなります。



5-3. 電源コードストッパー (添付) を取り付ける

本体の AC IN 端子に接続した電源コードのコネクターが抜け落ちないように、添付の電源コードストッパーを使って固定します。



注意

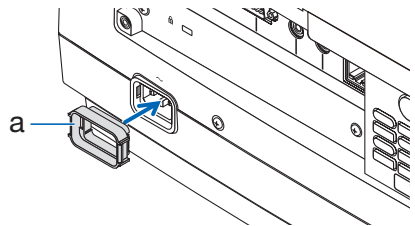
- 本機の AC IN 端子に電源コードを接続する際は、コネクターを奥までしっかり差し込み、必ず電源コードストッパーを使って固定してください。電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。

[注意]

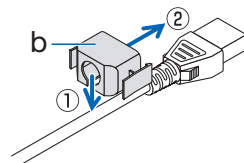
- コネクターが固定された状態で電源コードを引っ張ると、本体が落下して破損するおそれがあります。

電源コードストッパーは、本体取り付け用の部品①と電源コード取り付け用の部品②に分かれています。

1. 部品①をプロジェクター本体の AC IN 端子に取り付ける。

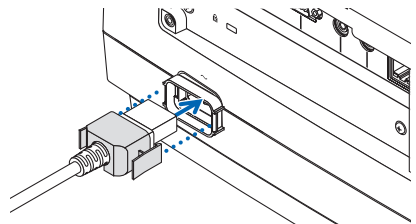


2. 部品②を電源コードに取り付ける。



3. 電源コードのプラグを AC IN 端子に差し込む。

カチッと音がして電源コードストッパーが固定されるまで押し込んでください。



5-4. ケーブルカバー（別売）を取り付ける

別売のケーブルカバーを本体に取り付けると接続線がかくれてきれいな外観になります。

NP-PV800UL-WJL/NP-PV730UL-WJL 用：NP10CV

NP-PV800UL-BJL/NP-PV730UL-BJL 用：NP10CV-B



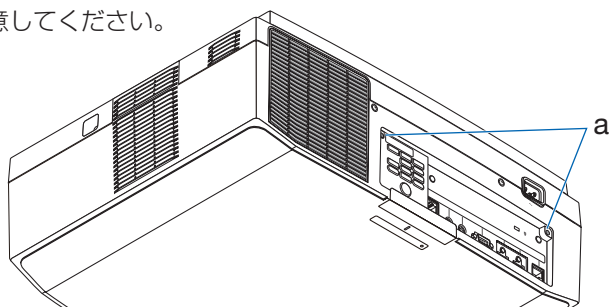
警告

- ケーブルカバーを取り付け後、必ずネジ止めしてください。ケーブルカバーが落下してけがをするおそれがあります。また、落下するとケーブルカバーが破損します。
- 電源コードを束ねてケーブルカバー内に収納しないでください。電源コードを束ねると火災の原因になります。
- ケーブルカバーを持つての移動や無理な力を加えることはしないでください。ケーブルカバーが破損しけがをするおそれがあります。

取り付けかた

準備：1. 電源コードやケーブル類を本機と接続してください（図は接続線を省略しています）。

2. プラスドライバーを用意してください。



a：ケーブルカバー取り付け用ネジ穴

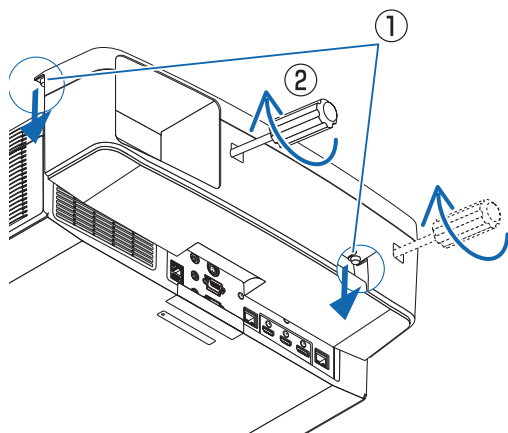
1. ケーブルカバーの左右端にある2箇所丸い突起を本体底面のミゾに入れる。

【注意】

- 電源コードやケーブル類をケーブルカバーで挟まないようにしてください。

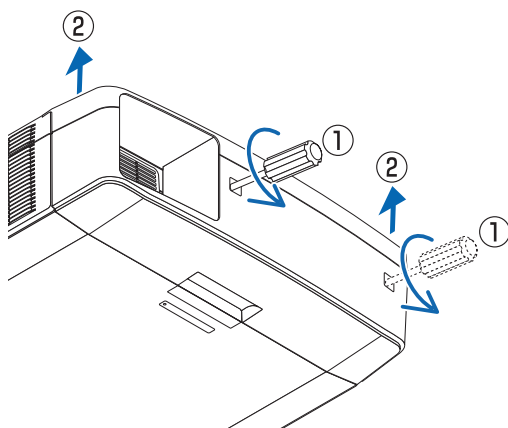
2. ケーブルカバーネジを右に回してしめる。

・ネジは確実にしめてください。



取り外しかた

1. ケーブルカバーネジを空転するまで左に回してゆるめる。
 - ・ケーブルカバーが落下しないように手を添えてください。
 - ・ネジは外れません。
2. ケーブルカバーを外す。



6. 機器と接続する



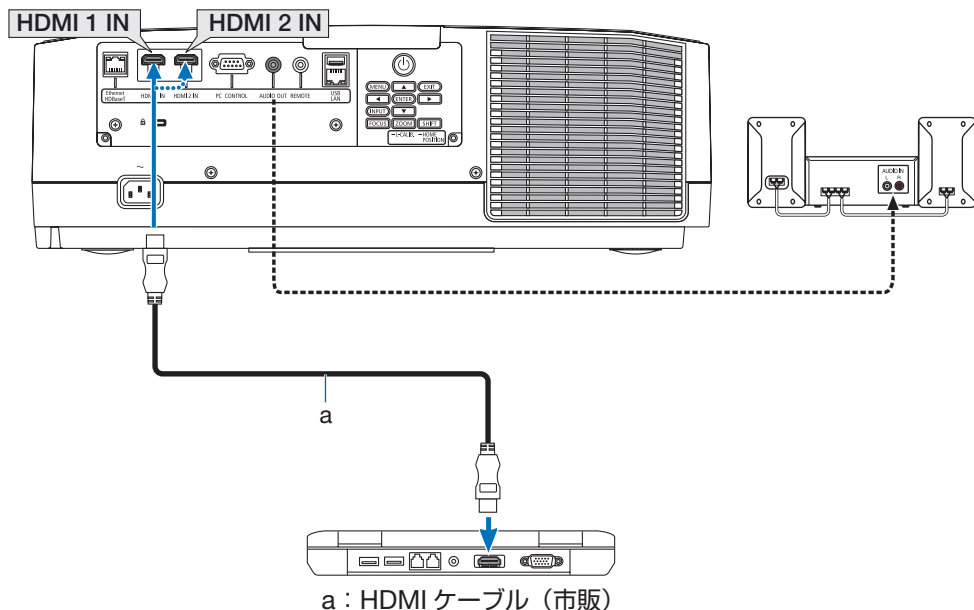
- 本機と外部機器は、必ず本機の電源が切れた状態で接続してください。投写光が目に入ると、視力障害の原因となることがあります。

[注意]

- 本機に接続ケーブルは添付していません。外部機器と接続する際は、接続に合ったケーブルをご用意ください。
HDMI、LAN、RS-232C、オーディオについてはシールドタイプのケーブルを使用してください。
これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。
-

6-1. コンピューターと接続する

- ・ HDMI ケーブルは、コンピューターの HDMI 出力端子と本機の HDMI 1 入力端子 (HDMI 1 IN) または HDMI 2 入力端子 (HDMI 2 IN) を接続します。



- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

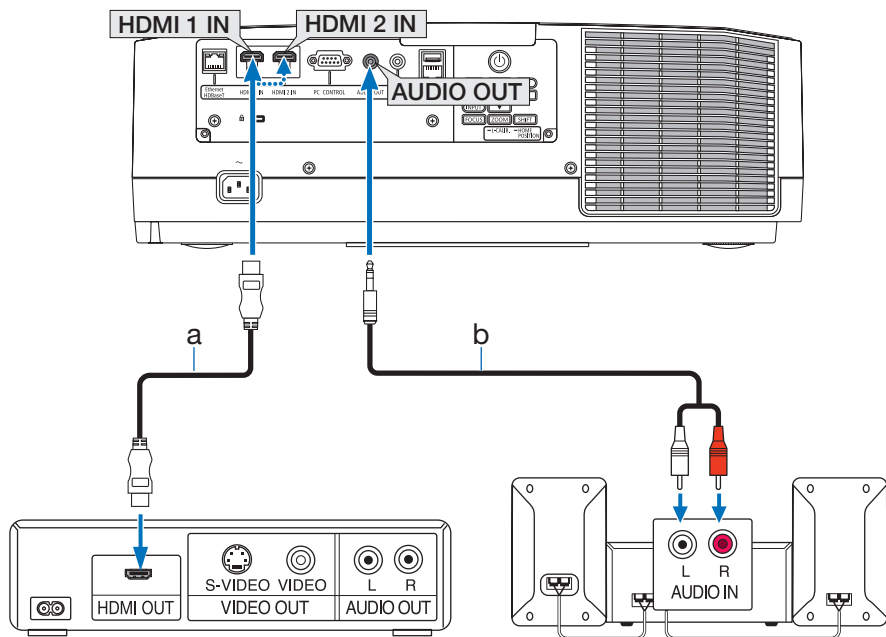
接続端子	本体の INPUT ボタン	リモコンのボタン
HDMI 1 入力端子	 HDMI1	HDMI1
HDMI 2 入力端子	 HDMI2	HDMI2

- HDMI ケーブル接続時の注意

- ・ HDMI ケーブルは、認証済みの HIGH SPEED ケーブルを使用してください。
- ・ コンピューターによっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ・ 信号変換アダプターを使用した機器からの信号を接続した場合、映像が出なかったり、正常に表示されなかったりすることがあります。

6-2. 映像機器と接続する

ブルーレイプレーヤーまたはデジタル放送チューナーなどの HDMI 出力端子を本機に接続してハイビジョン映像を投写することができます。本機の HDMI 1 入力端子 (HDMI 1 IN) または HDMI 2 入力端子 (HDMI 2 IN) はデジタル映像とデジタル音声を入力します。



a : HDMI ケーブル (市販) (High Speed HDMI ケーブルを使用してください。)

b : ミニプラグ-RCA プラグ変換ケーブル (市販)

※機器によって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、機器の取扱説明書でご確認ください。

●本機の電源を入れたあとに HDMI を選択してください。

接続端子	本体の INPUT ボタン	リモコンのボタン
HDMI 1 入力端子	 HDMI1	HDMI1
HDMI 2 入力端子	 HDMI2	HDMI2

[参考]

- 本機の HDMI 1 入力および HDMI 2 入力端子にブルーレイプレーヤーを接続している場合に、ブルーレイプレーヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定できます。本機のオンスクリーンメニューの調整→ビデオ→ビデオレベルで設定します。ブルーレイプレーヤーのビデオレベルの設定については、ブルーレイプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

- 本機は HDCP（不正コピー防止を目的とする著作権保護用システム）を装備しています。ただし、HDCP の規格が変更された場合などは、プロジェクターが故障していても、HDMI 1 入力および HDMI 2 入力端子の映像が表示されないことがあります。

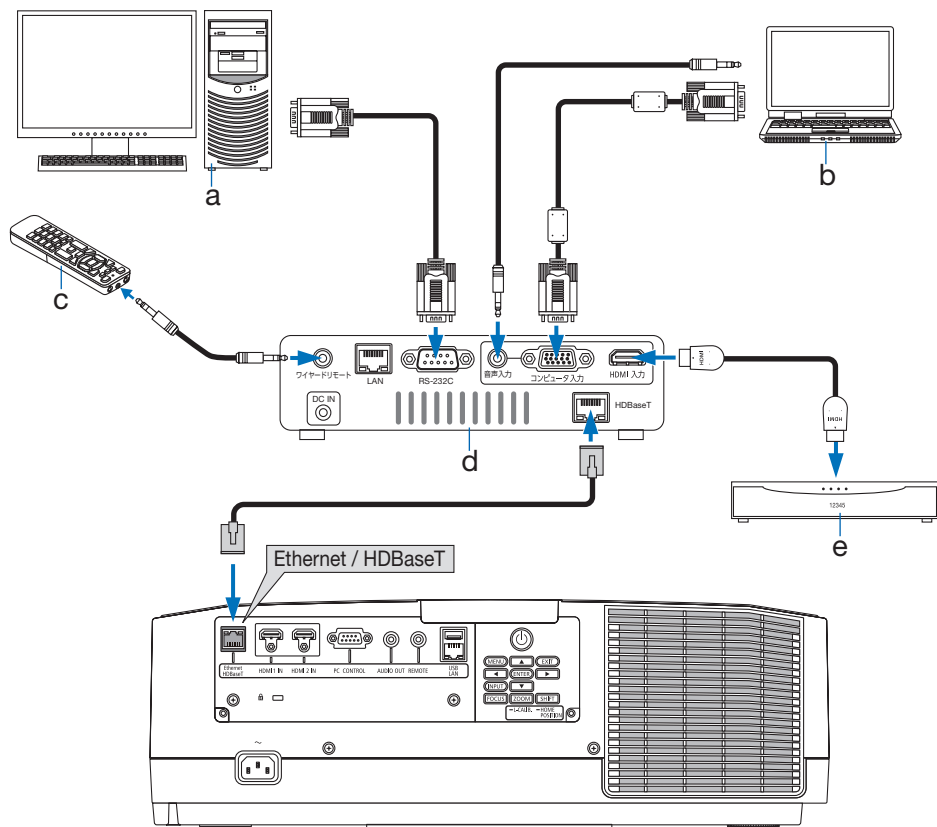


6-3. HDBaseT 対応の伝送機器（市販）と接続する

HDBaseT は、HDBaseT Alliance によって策定された家電製品向けの接続規格です。市販の LAN ケーブルを使って、本機の Ethernet/HDBaseT ポート（RJ-45）を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。

本機の Ethernet/HDBaseT ポートは、伝送機器からの HDMI 信号（HDCP 対応）、外部機器からの制御信号（シリアル、LAN）、リモコン信号（IR コマンド）に対応しています。外部機器との接続については、HDBaseT 対応の伝送機器の取扱説明書をご覧ください。

接続例



a : コンピューター（制御用） / b : コンピューター（出力用） / c : リモコン /
d : 伝送機器の例 / e : HDMI 出力映像機器

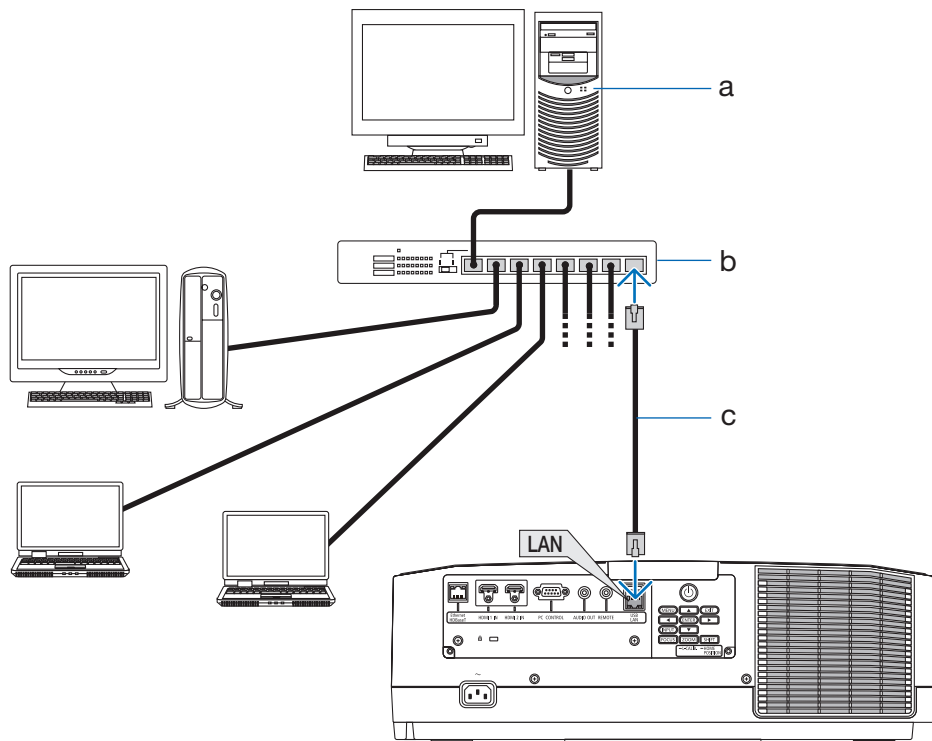
[注意]

- LAN ケーブル（市販）は、カテゴリ 5e 以上のシールド付きツイストペア（STP）ケーブルを使用してください。
 - LAN ケーブルで伝送可能な距離は、最長 100 m です。
 - 本機と伝送装置との間に他の伝送装置を使用しないでください。画質が劣化することがあります。
 - 本機は、市販のすべての HDBaseT 対応の伝送機器との接続を保証するものではありません。
-

6-4. 有線 LAN と接続する

本機には LAN ポート (RJ-45) が標準装備されています。LAN ケーブルを接続すると LAN 環境を利用することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。本機への LAN の設定について詳しくは、本書のオンスクリーンメニュー→セットアップ→ネットワーク設定→有線 LAN (→ 114 ページ) をご覧ください。

接続例



a : サーバー / b : HUB など /

c : LAN ケーブル (市販) (カテゴリ 5 以上に対応したケーブルを使用してください。)

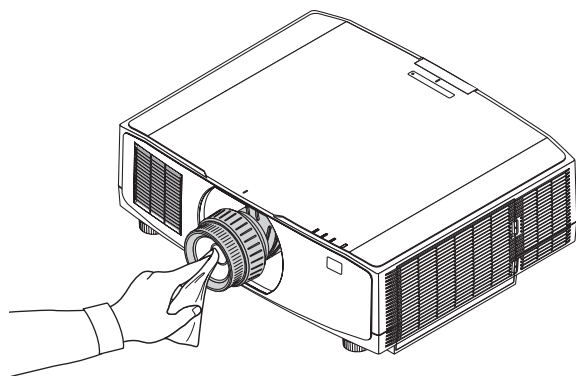
7. 本体のお手入れ

7-1. レンズの清掃

本機専用のレンズユニット(別売)のレンズはプラスチック製です。レンズを清掃する際は、市販のプラスチック用レンズクリーナーを使用して汚れをふき取ってください。



- レンズなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。
- レンズを清掃する際は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください。レンズの清掃中に電源が入ると、レンズからの強い光が目に入り、視力障害の原因となります。また強い光によって指をやけどするおそれがあります。



[注意]

- ガラス用クリーナーやアルコールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックレンズの表面を侵食し、輝度低下や画質劣化の原因となります。

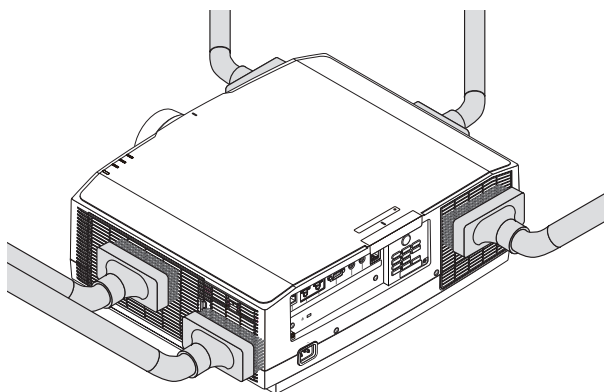
7-2. キャビネットの清掃



警告

- お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- キャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風口のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプターを使用して吸い取ってください。なお、アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。



通風口のほこりを吸い取ります。

- 通風口にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

【注意】

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

7-3. フィルターの清掃

吸気口のフィルターはプロジェクター内部をほこりや汚れから守っています。フィルターにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、汚れが気になるときは清掃をしてください。



警告

フィルターなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

【参考】

● フィルター清掃時期の表示について

本機には、フィルターの清掃時期をお知らせする機能があります。あらかじめ設定した時間（工場出荷時は「オフ」）を超えて本機を使用すると、画面上に「フィルター清掃時期です。」のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、フィルターを清掃してください。

- ・ 設置する環境に合わせて、フィルター清掃のメッセージ表示間隔を変更することができます。設定についてはオンスクリーンメニューの「フィルターメッセージ」（→100ページ）をご覧ください。
- ・ フィルター清掃のメッセージは、電源投入時の1分間、および本体の④ボタンまたはリモコンのPOWER STANDBYボタンを押したときに表示されます。
- ・ 「フィルター清掃時期です。」というメッセージは、本機またはリモコンのいずれかのボタンを押すと消えます。

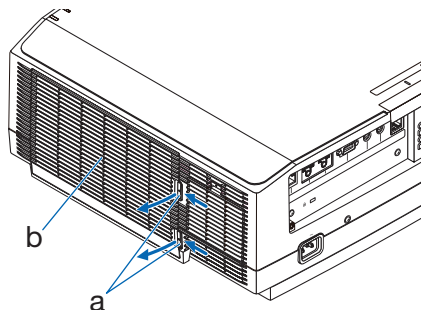
フィルターユニットおよびフィルターカバーを取り外して清掃します。



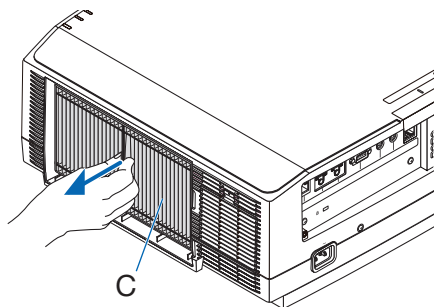
注意

フィルターは、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分冷えてから清掃してください。動作中にフィルターユニットを外すとやけどや内部に触れて感電のおそれがあります。

1. 2箇所ボタン④を押しながら手前に引いてフィルターカバー⑥を取り外す。

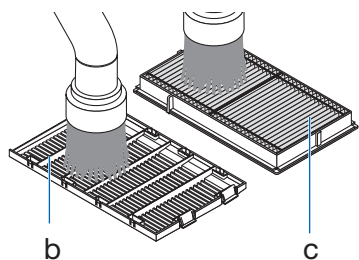


2. フィルターユニット④の中央を持って、手前に引いて取り外す。



3. 掃除機でフィルターユニット④の裏と表のほこりを吸い取る。

- ・ フィルターのすき間のほこりもていねいに取り除いてください。
- ・ フィルターカバー⑥のほこりもきれいに取り去ってください。

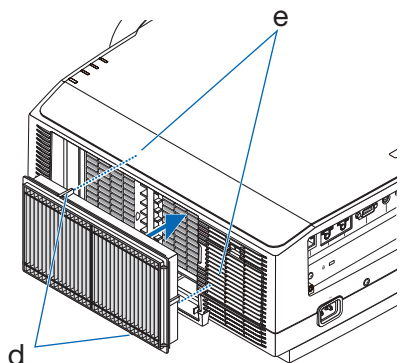


【注意】

- フィルターの清掃はブラシ付きアダプターを使用してください。アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。
- 水洗いをしないでください。目詰まりの原因となります。

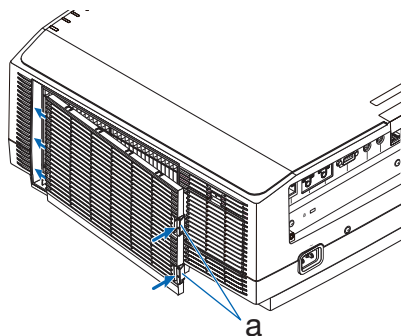
4. フィルターユニットを本体に取り付ける。

上下2箇所の突起④が本体のミゾ⑤に合うようにして本体に入れます。



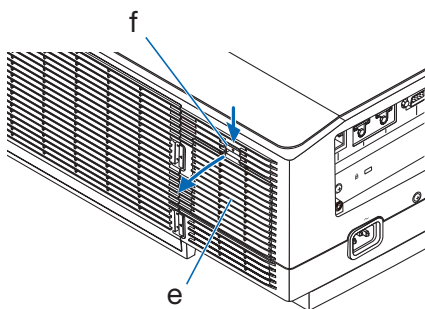
5. フィルターカバーをしめる。

しめたあと、「カチッ」と音がするまでボタン⑥付近を押してください。フィルターカバーが固定されます。



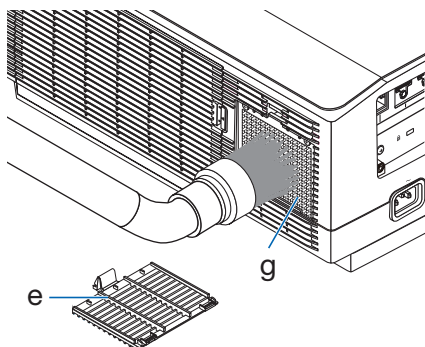
続いて、フィルター横の吸気口も清掃します。

- 6 吸気口カバー⑥のボタン⑦を押しながら手前に引いて取り外す。



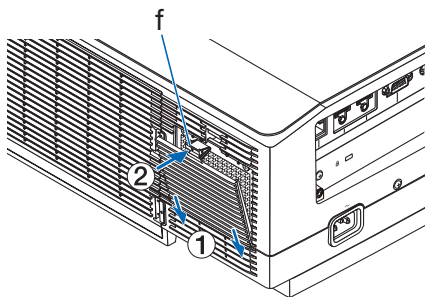
- 7 吸気口カバー⑥と、中の金属部分⑧についたほこりを掃除機で吸い取る。

・掃除機で取り切れないほこりは、やわらかい乾いた布でふき取ってください。



- 8 吸気口カバーをしめる。

しめたあと、「カチッ」と音がするまでボタン⑦付近を押してください。吸気口カバーが固定されます。



9. フィルター使用時間をクリアする。

電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。オンスクリーンメニューのリセットの「フィルター時間クリア」を選択してください。(→ 117 ページ)

7-4. フィルターの交換

フィルターは最大で 10000 時間の使用を目安に交換してください。

ただし、設置する環境によってフィルターの使用可能時間は異なります。ほこりの多い場所などに設置している場合は、目安の時間よりも早くフィルターを交換することをおすすめします。

- 交換用フィルターは販売店で求めください。ご注文の際は交換用フィルター型名 NP06FT をご指定ください。



注意

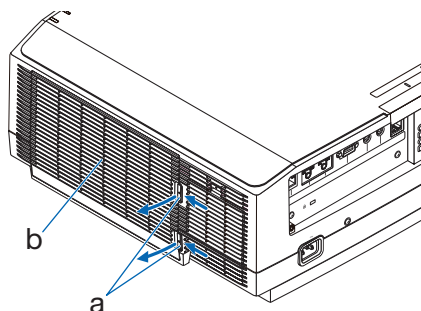
フィルターは、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分冷えてから交換してください。動作中にフィルターユニットを外すとやけどや内部に触れて感電のおそれがあります。

フィルターを交換する

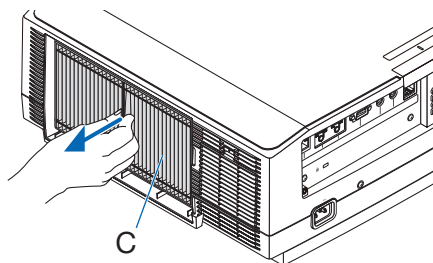
【注意】

- フィルターを交換するときは、プロジェクター本体のほこりをよくふき取ってください。
- プロジェクターは精密機器ですので、内部にほこりが入らないようにご注意ください。
- フィルターは水洗いしないでください。目づまりの原因となります。
- 必ずフィルターを正しく取り付けてください。フィルターを正しく取り付けていないと、内部にほこりなどが入り故障の原因となります。

1. 2箇所ボタン③を押しながら手前に引いてフィルターカバー④を取り外す。

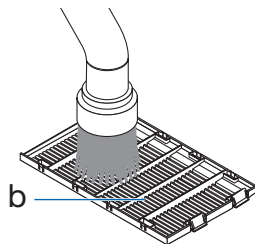


2. フィルターユニット⑤の中央を持って、手前に引いて取り外す。



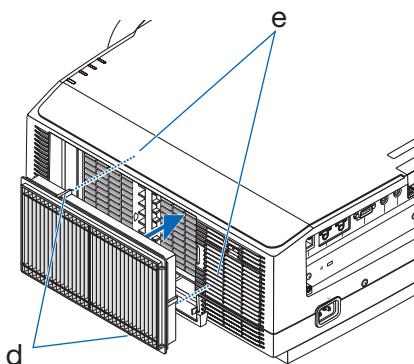
3. フィルターカバー**⑥**のほこりを取り去る。

表側と裏側を清掃してください。



4. 新しいフィルターユニットを本体に取り付ける。

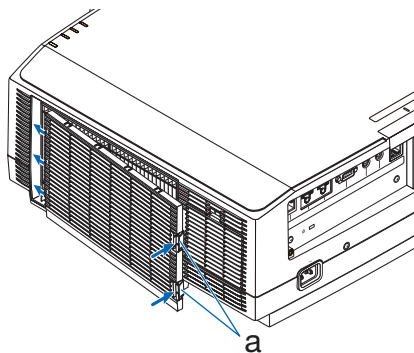
上下2箇所の突起**④**が本体のミゾ**⑤**に合うように入れて本体に入れます。



5. フィルターカバーを閉める。

閉めた後、「カチッ」と音がするまでボタン**④**付近を押してください。フィルターカバーが固定されます。

これで、フィルター交換が終わりました。
続いてフィルター使用時間をクリアしてください。



フィルター使用時間をクリアする

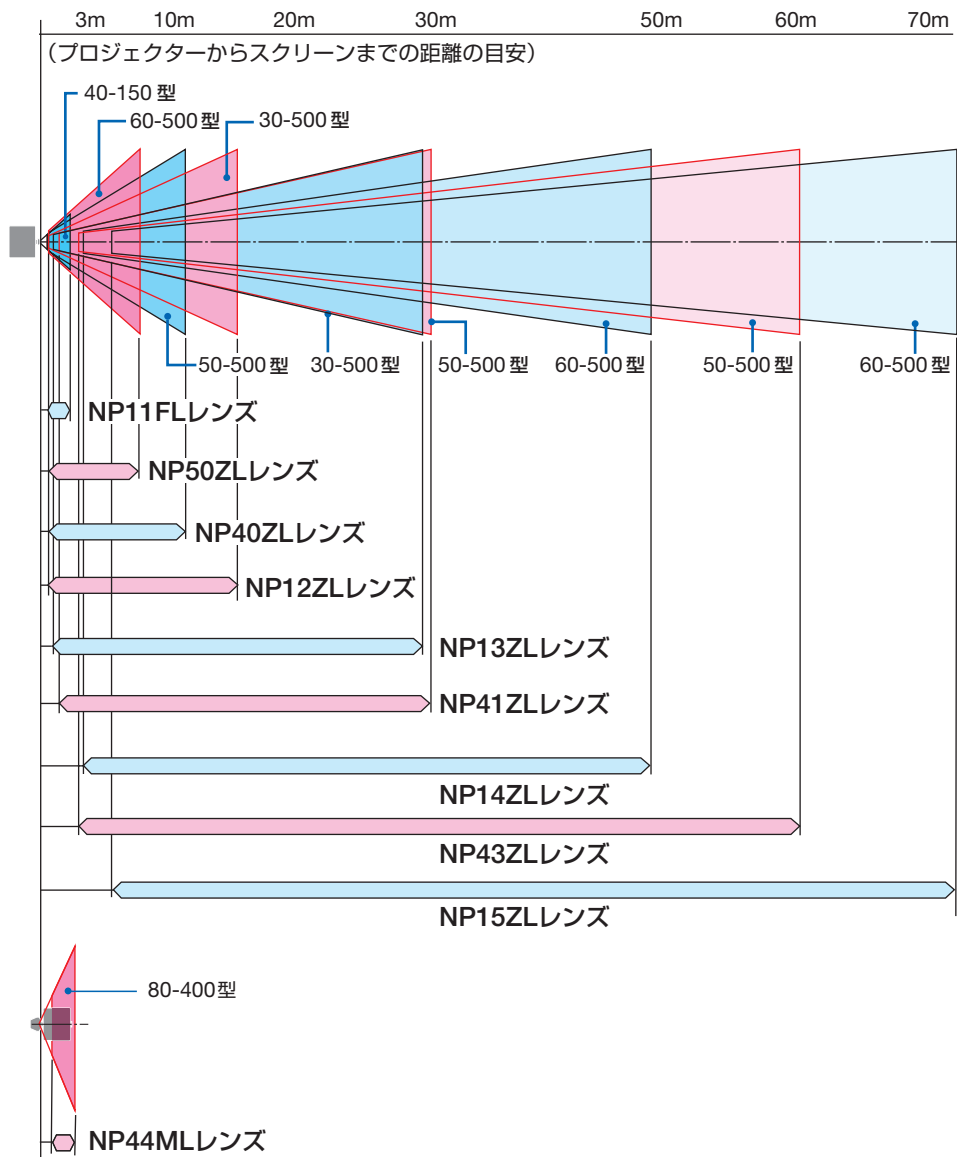
1. 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。
2. オンスクリーンメニューのリセットで「フィルター時間クリア」を実行する。
(→ 117 ページ)

8. 付 録

8-1. 投写距離とスクリーンサイズ

本機は、10種類のレンズユニット(別売)が使用できます。このページの情報を参考にして、設置環境(スクリーンサイズと投写距離)に応じたレンズユニットをお使いください。

下図は各レンズユニットの投写範囲のイメージです。



レンズユニットの種類と投写距離（アスペクト比 16:10）

	スクリーンサイズ (cm)		レンズユニットの型名と投写距離 (m)				
	対角	幅 × 高さ	NP11FL	NP12ZL	NP13ZL	NP14ZL	NP15ZL
30型	76.2	64.6 × 40.4	-	0.7 ~ 0.9	0.9 ~ 1.9	-	-
40型	101.6	86.2 × 53.8	0.7	1.0 ~ 1.3	1.2 ~ 2.5	-	-
50型	127.0	107.7 × 67.3	0.8	1.2 ~ 1.6	1.6 ~ 3.1	-	-
60型	152.4	129.2 × 80.8	1.0	1.5 ~ 1.9	1.9 ~ 3.8	3.7 ~ 6.0	5.9 ~ 9.0
80型	203.2	172.3 × 107.7	1.4	2.0 ~ 2.6	2.5 ~ 5.1	5.0 ~ 8.0	7.9 ~ 12.1
100型	254.0	215.4 × 134.6	1.7	2.5 ~ 3.3	3.2 ~ 6.3	6.3 ~ 10.1	9.9 ~ 15.1
120型	304.8	258.5 × 161.5	2.1	3.0 ~ 3.9	3.8 ~ 7.6	7.5 ~ 12.1	11.9 ~ 18.2
150型	381.0	323.1 × 201.9	2.6	3.8 ~ 4.9	4.8 ~ 9.5	9.4 ~ 15.2	14.9 ~ 22.8
200型	508.0	430.8 × 269.2	-	5.1 ~ 6.6	6.4 ~ 12.7	12.6 ~ 20.3	20.0 ~ 30.5
240型	609.6	516.9 × 323.1	-	6.1 ~ 7.9	7.6 ~ 15.3	15.2 ~ 24.4	24.0 ~ 36.6
300型	762.0	646.2 × 403.9	-	7.6 ~ 9.9	9.6 ~ 19.1	19.0 ~ 30.5	30.1 ~ 45.8
400型	1016.0	861.6 × 538.5	-	10.2 ~ 13.2	12.8 ~ 25.5	25.4 ~ 40.7	40.1 ~ 61.1
500型	1270.0	1077.0 × 673.1	-	12.7 ~ 16.5	16.0 ~ 31.9	31.8 ~ 50.9	50.2 ~ 76.4

(注) NP44ML については [146](#) ページをご覧ください。

	スクリーンサイズ (cm)		レンズユニットの型名と投写距離 (m)				
	対角	幅 × 高さ	NP40ZL	NP41ZL	NP43ZL	NP50ZL	NP44ML
30型	76.2	64.6 × 40.4	-	-	-	-	(注)
40型	101.6	86.2 × 53.8	-	-	-	-	
50型	127.0	107.7 × 67.3	0.8 ~ 1.2	1.4 ~ 3.2	3.3 ~ 6.4	-	
60型	152.4	129.2 × 80.8	1.0 ~ 1.4	1.7 ~ 3.9	3.9 ~ 7.7	0.8 ~ 1.0	
80型	203.2	172.3 × 107.7	1.4 ~ 1.9	2.2 ~ 5.2	5.2 ~ 10.2	1.0 ~ 1.3	
100型	254.0	215.4 × 134.6	1.7 ~ 2.4	2.8 ~ 6.5	6.4 ~ 12.8	1.3 ~ 1.6	
120型	304.8	258.5 × 161.5	2.0 ~ 2.9	3.4 ~ 7.8	7.7 ~ 15.3	1.6 ~ 2.0	
150型	381.0	323.1 × 201.9	2.6 ~ 3.6	4.2 ~ 9.8	9.6 ~ 19.1	2.0 ~ 2.5	
200型	508.0	430.8 × 269.2	3.4 ~ 4.8	5.7 ~ 13.0	12.7 ~ 25.4	2.6 ~ 3.3	
240型	609.6	516.9 × 323.1	4.1 ~ 5.8	6.8 ~ 15.6	15.3 ~ 30.5	3.2 ~ 4.0	
300型	762.0	646.2 × 403.9	5.2 ~ 7.3	8.5 ~ 19.6	19.1 ~ 38.1	4.0 ~ 5.0	
400型	1016.0	861.6 × 538.5	6.9 ~ 9.7	11.4 ~ 26.1	25.4 ~ 50.8	5.3 ~ 6.7	
500型	1270.0	1077.0 × 673.1	8.6 ~ 12.1	14.2 ~ 32.6	31.7 ~ 63.4	6.7 ~ 8.3	

レンズユニットの種類と投写距離（アスペクト比 16:9）

スクリーンサイズ (cm)			レンズユニットの型名と投写距離 (m)				
	対角	幅 x 高さ	NP11FL	NP12ZL	NP13ZL	NP14ZL	NP15ZL
30型	76.2	66.4 x 37.4	-	0.7~1.0	0.9~1.9	-	-
40型	101.6	88.6 x 49.8	0.7	1.0~1.3	1.3~2.6	-	-
50型	127.0	110.7 x 62.3	0.9	1.3~1.7	1.6~3.2	-	-
60型	152.4	132.8 x 74.7	1.0	1.5~2.0	1.9~3.9	3.8~6.2	6.0~9.3
80型	203.2	177.1 x 99.6	1.4	2.1~2.7	2.6~5.2	5.1~8.3	8.1~12.4
100型	254.0	221.4 x 124.5	1.8	2.6~3.4	3.2~6.5	6.4~10.4	10.2~15.6
120型	304.8	265.7 x 149.4	2.1	3.1~4.0	3.9~7.8	7.7~12.5	12.2~18.7
150型	381.0	332.1 x 186.8	2.6	3.9~5.1	4.9~9.8	9.7~15.6	15.4~23.4
200型	508.0	442.8 x 249.1	-	5.2~6.8	6.5~13.1	13.0~20.9	20.5~31.3
240型	609.6	531.3 x 298.9	-	6.3~8.1	7.9~15.7	15.6~25.0	24.7~37.6
300型	762.0	664.1 x 373.6	-	7.8~10.2	9.8~19.7	19.5~31.3	30.9~47.1
400型	1016.0	885.5 x 498.1	-	10.4~13.6	13.1~26.3	26.1~41.8	41.3~62.8
500型	1270.0	1106.9 x 622.6	-	13.1~17.0	16.4~32.8	32.7~52.3	51.6~78.6

(注) NP44ML については 146 ページをご覧ください。

スクリーンサイズ (cm)			レンズユニットの型名と投写距離 (m)				
	対角	幅 x 高さ	NP40ZL	NP41ZL	NP43ZL	NP50ZL	NP44ML
30型	76.2	66.4 x 37.4	-	-	-	-	(注)
40型	101.6	88.6 x 49.8	-	-	-	-	
50型	127.0	110.7 x 62.3	0.9~1.2	1.4~3.3	3.4~6.6	-	
60型	152.4	132.8 x 74.7	1.0~1.5	1.7~4.0	4.0~7.9	0.8~1.0	
80型	203.2	177.1 x 99.6	1.4~2.0	2.3~5.3	5.3~10.5	1.1~1.3	
100型	254.0	221.4 x 124.5	1.7~2.5	2.9~6.7	6.6~13.1	1.3~1.7	
120型	304.8	265.7 x 149.4	2.1~3.0	3.5~8.0	7.9~15.7	1.6~2.0	
150型	381.0	332.1 x 186.8	2.6~3.7	4.3~10.0	9.9~19.6	2.0~2.5	
200型	508.0	442.8 x 249.1	3.5~5.0	5.8~13.4	13.1~26.1	2.7~3.4	
240型	609.6	531.3 x 298.9	4.2~6.0	7.0~16.1	15.7~31.3	3.3~4.1	
300型	762.0	664.1 x 373.6	5.3~7.5	8.7~20.1	19.6~39.1	4.1~5.1	
400型	1016.0	885.5 x 498.1	7.1~10.0	11.7~26.8	26.1~52.2	5.5~6.8	
500型	1270.0	1106.9 x 622.6	8.9~12.5	14.6~33.5	32.6~65.2	6.9~8.6	

画面サイズからの投写距離の計算方法

L : 投写距離

W : スクリーンの幅

レンズユニット	計算式 (ズーム最小～ズーム最大)
NP11FL	$L = W \times 0.8$
NP12ZL	$L = W \times 1.2 \sim W \times 1.5$
NP13ZL	$L = W \times 1.5 \sim W \times 3.0$
NP14ZL	$L = W \times 2.9 \sim W \times 4.7$
NP15ZL	$L = W \times 4.6 \sim W \times 7.1$
NP40ZL	$L = W \times 0.8 \sim W \times 1.1$
NP41ZL	$L = W \times 1.3 \sim W \times 3.0$
NP43ZL	$L = W \times 3.0 \sim W \times 5.9$
NP50ZL	$L = W \times 0.6 \sim W \times 0.8$

(計算例)

レンズユニット NP41ZL を使用して 16:10 の 150 型スクリーンに投写する場合の投写距離
「レンズユニットの種類と投写距離(アスペクト比 16:10)」(→ [141](#) ページ)の表より、W(スクリーン幅) = 323.1 cm となります。

投写距離は、 $323.1 \text{ cm} \times 1.3 \sim 323.1 \text{ cm} \times 3.0 = 420.0 \text{ cm} \sim 969.3 \text{ cm}$ となります (ズームレンズのため)。

※簡易計算式のため数%の誤差があります。

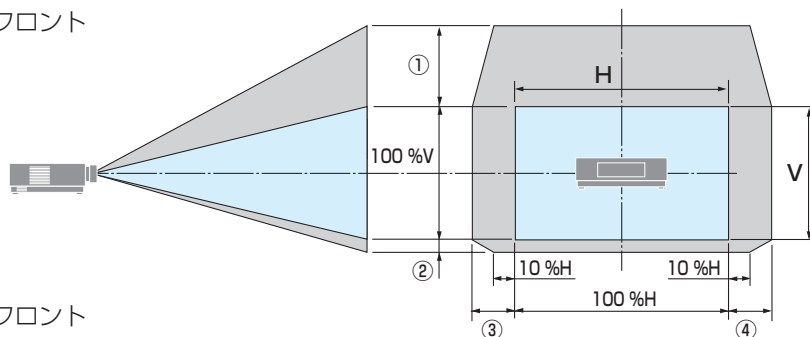
レンズシフト範囲

本機にはボタン操作で画面位置を調整するレンズシフト機能があります。次の範囲内のレンズシフトができます。

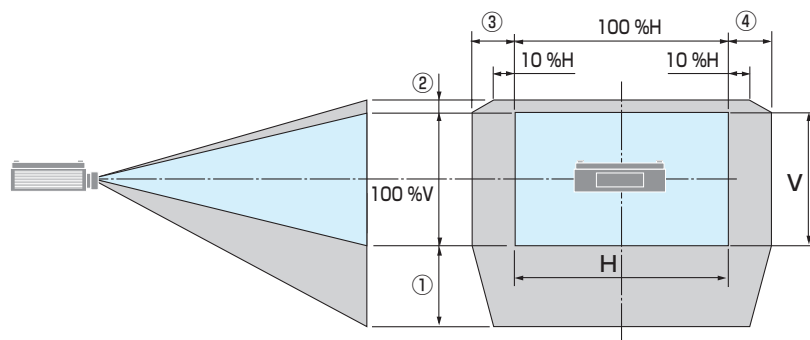
- レンズシフトの操作および注意事項は 49 ページをご覧ください。
- レーザー光の放射範囲については 15 ページをご覧ください。

記号の意味：Vは垂直（投写画面の高さ）、Hは水平（投写画面の幅）を表し、レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表しています。

デスク/フロント



天吊り/フロント



図の番号	レンズユニット							
	NP12ZL	NP13ZL	NP14ZL	NP15ZL	NP40ZL	NP41ZL	NP43ZL	NP50ZL
①	50%V							
②	10%V							
③	30%H *				20%H			
④	30%H *				20%H			

※ レンズユニット「NP13ZL」を使用して150型を超えて画面を投写する場合、水平方向のシフト範囲は、15%Hまでになります。

(計算例)**NP40ZL レンズで 16:10 の 150 型で投写している場合**

「レンズユニットの種類と投写距離（アスペクト比 16:10）」（→ 141 ページ）の表より $H=323.1$ cm、 $V=201.9$ cm になります。

垂直方向の調整範囲：上方向 0.50×201.9 cm \doteq 101 cm、下方向 0.1×201.9 cm \doteq 20 cm 投写画面を移動することができます（レンズが中心位置の場合）。

水平方向の調整範囲：左方向 0.20×323.1 cm \doteq 65 cm、右方向も同様に約 65 cm 投写画面を移動することができます。

※簡易計算式のため数%の誤差があります。

[注意]

- レンズユニット NP11FL を装着している場合は、ホームポジションで使用してください。その上で、必要な場合には、レンズシフトで投写画面の位置を微調整してください。
- レンズユニット NP50ZL を装着している場合は、同梱のサポートキットを使ってプロジェクター本体に固定してください。サポートキットのボルトをゆるめた状態で、レンズシフトで投写画面の位置を調整できます。
- レンズユニット NP44ML は、レンズシフトに対応していません。

NP44ML 装着時の投写距離

[注意]

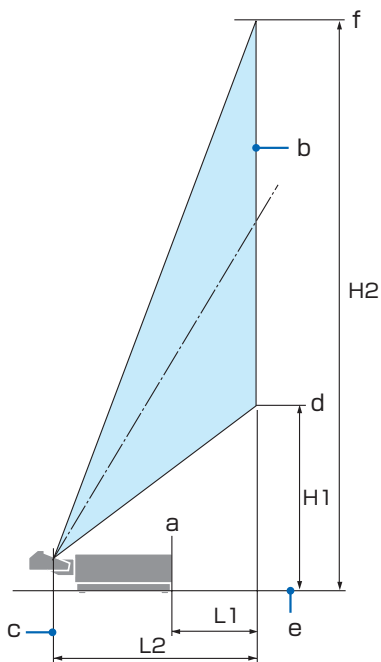
- スクリーンの下が壁面の場合は、L1 の距離が 0.3 m 以上になるように設置してください。
- レーザー光の放射範囲については 16 ページをご覧ください。

アスペクト比 16:10

	スクリーンサイズ (cm)		(単位 : m)			
	対角	幅 x 高さ	L1	L2	H1	H2
80 型	203.2	172.3 x 107.7	0.03	0.55	0.51	1.59
100 型	254.0	215.4 x 134.6	0.17	0.70	0.60	1.95
120 型	304.8	258.5 x 161.5	0.32	0.84	0.70	2.31
150 型	381.0	323.1 x 201.9	0.54	1.06	0.84	2.86
180 型	457.2	387.7 x 242.3	0.76	1.28	0.98	3.40
200 型	508.0	430.8 x 269.2	0.90	1.43	1.07	3.77
240 型	609.6	516.9 x 323.1	1.20	1.72	1.26	4.49
270 型	685.8	581.6 x 363.5	1.42	1.94	1.40	5.04
300 型	762.0	646.2 x 403.9	1.64	2.16	1.54	5.58
350 型	889.0	753.9 x 471.2	2.00	2.52	1.78	6.49
400 型	1016.0	861.6 x 538.5	2.37	2.89	2.01	7.40

アスペクト比 16 : 9

	スクリーンサイズ (cm)		(単位 : m)			
	対角	幅 x 高さ	L1	L2	H1	H2
80 型	203.2	177.1 x 99.6	0.04	0.57	0.57	1.57
100 型	254.0	221.4 x 124.5	0.19	0.72	0.68	1.93
120 型	304.8	265.7 x 149.4	0.34	0.87	0.79	2.29
150 型	381.0	332.1 x 186.8	0.57	1.09	0.96	2.83
180 型	457.2	398.5 x 224.1	0.80	1.32	1.13	3.37
200 型	508.0	442.8 x 249.1	0.95	1.47	1.24	3.73
240 型	609.6	531.3 x 298.9	1.25	1.77	1.46	4.45
270 型	685.8	597.7 x 336.2	1.47	1.99	1.62	4.99
300 型	762.0	664.1 x 373.6	1.70	2.22	1.79	5.53
350 型	889.0	774.8 x 435.8	2.07	2.59	2.07	6.43
400 型	1016.0	885.5 x 498.1	2.45	2.97	2.34	7.33



- L1:** プロジェクター背面 (a) からスクリーン面 (b) までの距離
- L2:** レンズユニット投写窓中心 (c) からスクリーン面 (b) までの距離
- H1:** スクリーン下端 (d) からプロジェクター底面 (e) までの高さ (チルトフットを含めない)
- H2:** スクリーン上端 (f) からプロジェクター底面 (e) までの高さ (チルトフットを含めない)

画面サイズからの投写距離の計算方法

L2 : レンズユニット投写窓中心からスクリーン面までの距離

W : スクリーンの幅

レンズユニット	計算式
NP44ML	$L2 = W \times 0.32$

(計算例)

16:10 の 150 型スクリーンに投写する場合の投写距離

「アスペクト比 16:10」(→ 前ページ) の表より、W (スクリーン幅) = 323.1 cm となります。

投写距離は、 $323.1 \text{ cm} \times 0.32 = 103.4 \text{ cm}$ となります。

※簡易計算式のため数%の誤差があります。

8-2. 対応解像度一覧

HDMI/HDBaseT

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768	4 : 3	60
WXGA	1280 × 768	15 : 9	60
	1280 × 800	16 : 10	60
	1366 × 768	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA++	1680 × 1050	16 : 10	60
WUXGA	1920 × 1200 *	16 : 10	60 Reduced Blanking
4K	3840 × 2160	16 : 9	23.98/24/25/29.97/30
HDTV(1080p)	1920 × 1080 *	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080 *	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV(480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV(576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

*: リアル表示

- ・ アドバンスド・アキュブレンドの場合、文字や罫線の太さなどが不均一になったり、色がにじんだりする場合があります。
- ・ 出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピューターの種類によっては調整が必要な場合があります。

8-3. 仕 様

型名		NP-PV800UL-WJL/ NP-PV800UL-BJL	NP-PV730UL-WJL/ NP-PV730UL-BJL	
方式		三原色液晶シャッター投映方式		
主要 部品 仕様	液晶パネル	サイズ	0.76 型 (19.3 mm) × 3 枚、 アスペクト比 16:10	
		画素数 ^{(*)1}	2,304,000 画素 (1920 ドット× 1200 ライン)	
	投写レンズ		投写レンズ仕様 (別売) をご覧ください。(→ 151 ページ)	
		ズーム	マニュアル/電動	
		フォーカス	マニュアル/電動	
	レンズシフト	電動		
光源	レーザーダイオード+蛍光体			
光学装置	ダイクロイックミラーによる光分離、クロスプリズムによる合成方式			
明るさ ^{(*)2} ^{(*)3}		8000 lm	7300 lm	
画面サイズ (投写距離)		30 ~ 500 型 (投写距離はレンズユニットにより異なります)		
色再現性		10ビット カラープロセッシング (約 10 億 7000 万色)		
走査周波数	水平	15 kHz、24 ~ 100 kHz		
	垂直	24, 25, 30, 48 Hz、50 ~ 85 Hz		
入 出 力 端 子	HDMI	映像入力	タイプ A × 2 LipSync、HDCP ^{(*)4} 、4K	
		音声入力	サンプリング周波数 32/44.1/48 kHz サンプリングビット 16/20/24 bit	
	Ethernet/ HDBaseT	映像入力	RJ-45 × 1、100BASE-TX、PjLink Class2、 LipSync、HDCP ^{(*)4} 、4K	
		音声入力	サンプリング周波数 32/44.1/48 kHz サンプリングビット 16/20/24 bit	
	音声出力	ステレオミニジャック × 1 (全信号共通)		
	USB	USB タイプ A × 1		
	LAN	RJ-45 × 1、10BASE-T/100BASE-TX、PjLink Class2		
制御入出力端子				
	PC コントロール	D-Sub 9 ピン × 1、RS232C		
	リモート	ステレオミニジャック × 1		
スピーカー		なし		
使用環境 ^{(*)5}		動作温度 : 0 ~ 45 °C 動作湿度 : 20 ~ 80 % (ただし、結露しないこと)		
		保存温度 : - 10 ~ 50 °C 保存湿度 : 20 ~ 80 % (ただし、結露しないこと)		
		動作高度 : 0 ~ 2600 m (1600 ~ 2600 m はファンモード「高地」)		

型名	NP-PV800UL-WJL/ NP-PV800UL-BJL		NP-PV730UL-WJL/ NP-PV730UL-BJL
電源	AC 100 V 50/60 Hz ^(*6)		
消費電力	490 W	465 W	
消費電力（スタンバイ時）			
スタンバイ モード	ノーマル時	0.16 W	
	ネットワーク スタンバイ時	1.6 W	
定格入力電流	6.1 A	5.8 A	
外形寸法	499 (幅) × 164 (高) × 407 (奥行) mm (突起部含まず) 503 (幅) × 168 (高) × 407 (奥行) mm (突起部含む)		
質量	11.2kg (レンズユニット含まず)		

(* 1) : 有効画素数は 99.99 % です。

(* 2) : 別売のレンズユニット NP41ZL を装着し、ライトモードが「ノーマル」でライト調整が「100」、プリセットが「高輝度モード」のときの明るさです。ライト調整をすると明るさが低下します。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

(* 3) : JIS X6911:2021 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。

(* 4) : HDCP/HDCP 技術とは？

HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本機の HDMI 1 および HDMI2 入力端子、HDBaseT ポートは、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。

ただし、HDCP の規格が変更された場合などは、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 1 および HDMI2 入力端子、HDBaseT ポートの映像が表示されないことがあります。

映像 : DeepColor (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット、LipSync
音声 : LPCM; チャンネル数 ; 2 ch、サンプリング周波数 : 32/44.1/48 kHz、サンプリングビット : 16/20/24 ビット

HDMI : HDCP 1.4 に対応

HDBaseT : HDCP 1.4 に対応

(* 5) : 使用環境の温度により、本機の保護機能が働きます。(→ 64 ページ)

(* 6) : 高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

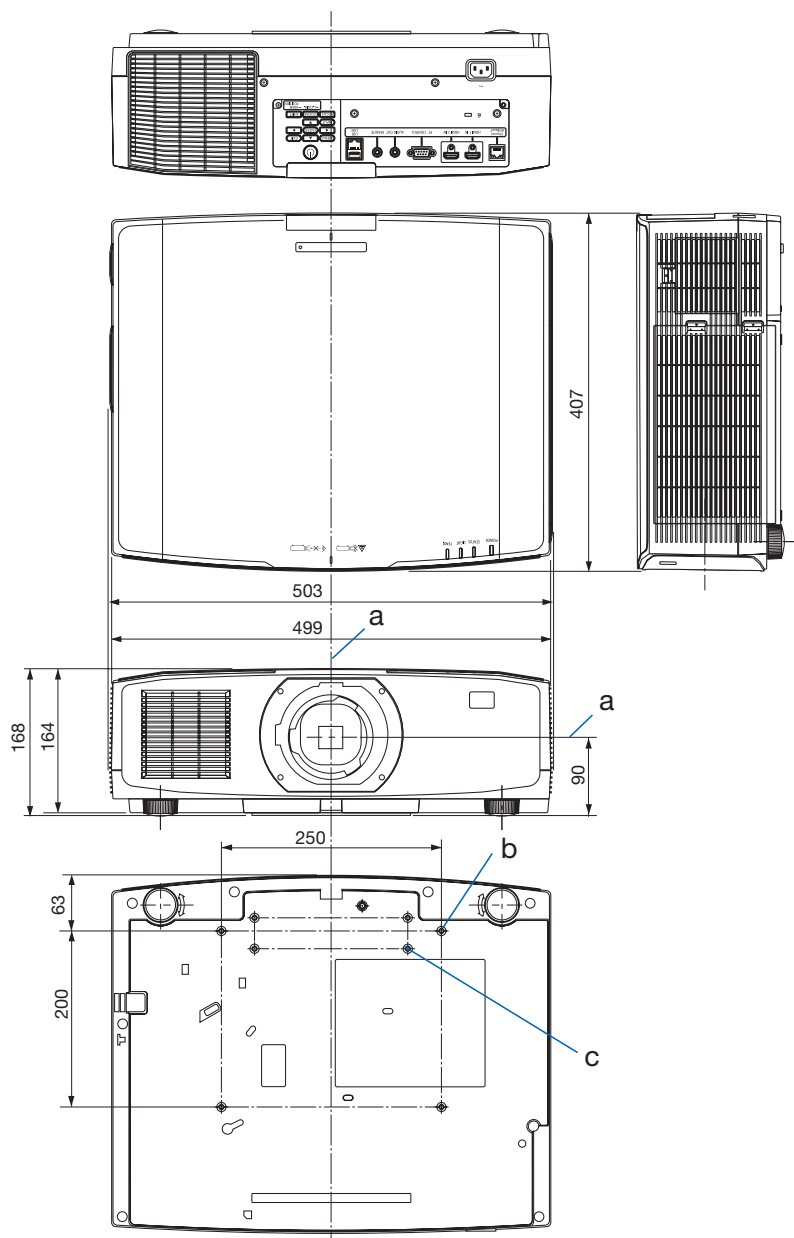
●投写レンズ仕様（別売）

NP11FL	マニュアルフォーカス 投写比 0.81 : 1、F2.3、f=13.2 mm)
NP12ZL	電動レンズシフト、マニュアルズーム、マニュアルフォーカス 投写比 1.16 ~ 1.52 : 1、F2.20 ~ 2.69、f=19.4 ~ 25.3 mm)
NP13ZL	電動レンズシフト、マニュアルズーム、マニュアルフォーカス (投写比 1.46 ~ 2.95 : 1、F1.70 ~ 2.37、f=24.4 ~ 48.6 mm)
NP14ZL	電動レンズシフト、マニュアルズーム、マニュアルフォーカス (投写比 2.90 ~ 4.68 : 1、F2.20 ~ 2.64、f=48.5 ~ 77.6 mm)
NP15ZL	電動レンズシフト、マニュアルズーム、マニュアルフォーカス 投写比 4.59 ~ 7.02 : 1、F2.20 ~ 2.70、f=76.6 ~ 116.5 mm)
NP40ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 0.79 ~ 1.11 : 1、F2.0 ~ 2.5、f=13.3 ~ 18.6 mm)
NP41ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 1.30 ~ 3.02 : 1、F1.7 ~ 2.0、f=21.8 ~ 49.8 mm)
NP43ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 2.99 ~ 5.93 : 1、F2.2 ~ 2.6、f=49.7 ~ 99.8 mm)
NP50ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 0.60 ~ 0.75 : 1、F1.9 ~ 2.1、f=10.2 ~ 12.8 mm)
NP44ML	電動フォーカス (投写比 0.32 : 1、F2.0、f=6.27 mm)

- ・ 投写比は 100 型の画面を投写する場合の値です。
- ・ NP11FL 装着時は、レンズ位置をホームポジションにして使用してください。その上で、必要な場合には、レンズシフトで投写画面の位置を微調整してください。
- ・ NP50ZL 装着時は、同梱のサポートキットを使ってプロジェクター本体に固定してください。サポートキットのボルトをゆるめた状態で、レンズシフトで投写画面の位置を調整できます。
- ・ NP44ML 装着時は、別売のサポートキット (NP01LK) を使ってプロジェクター本体に固定してください。レンズシフトには対応していません

8-4. 外観図

単位：mm



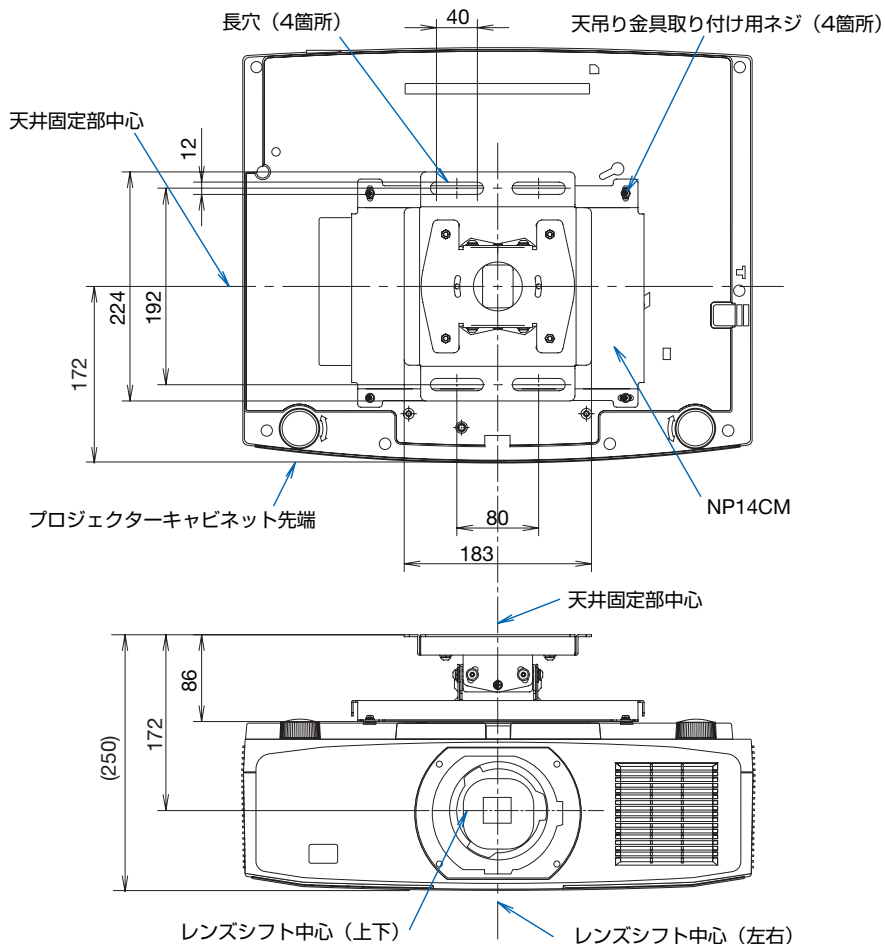
a：レンズ中心 / b：天吊り金具取り付け用ネジ穴 /
c：NP50ZL サポートキット取り付け用ネジ穴

天吊り金具（別売）取り付け図

●天井設置面寸法図

(適応レンズユニット) NP11FL/NP12ZL/NP13ZL/NP14ZL/NP15ZL/NP40ZL/NP41ZL

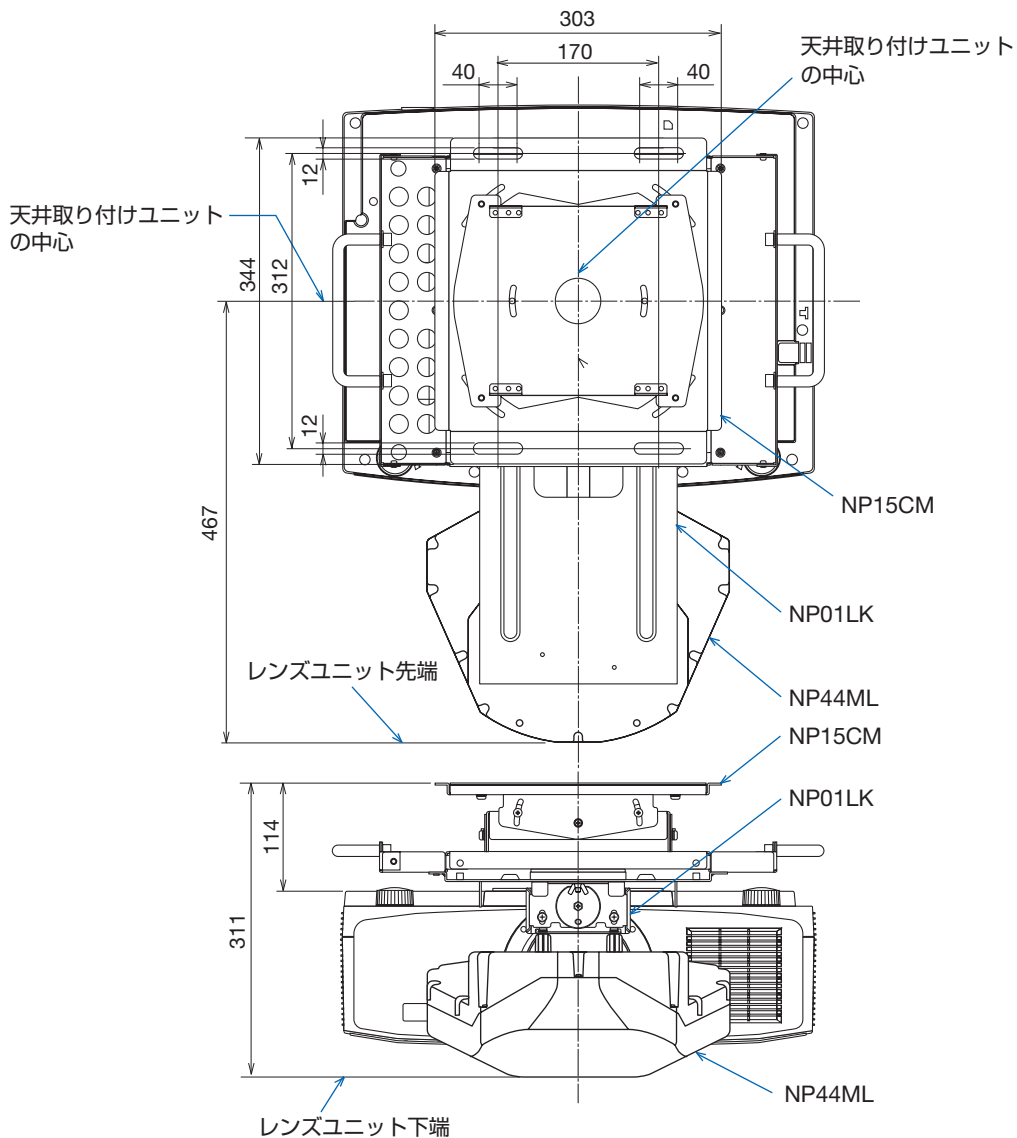
(単位：mm)



注) 天吊り金具が左右0度、上下0度、傾き0度の位置です。

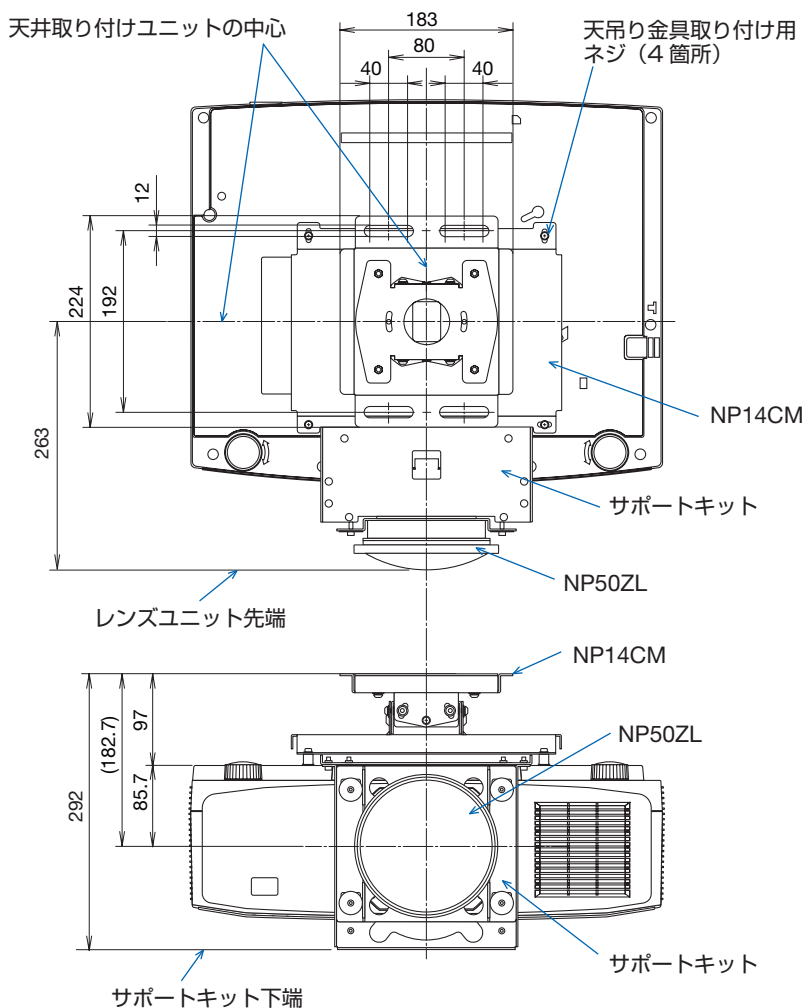
(適応レンズユニット) NP44ML

(単位：mm)



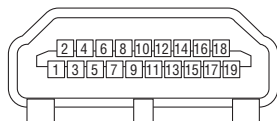
(適応レンズユニット) NP50ZL

(単位 : mm)



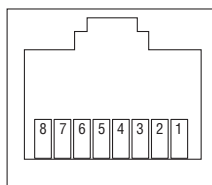
8-5. 主な端子のピン配列と信号

● HDMI IN 1/2 端子 (タイプ A)



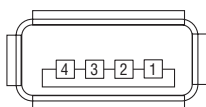
ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	TMDS データ 2 +	11	TMDS クロック シールド
2	TMDS データ 2 シールド	12	TMDS クロッキー シールド
3	TMDS データ 2 -	13	CEC
4	TMDS データ 1 +	14	非接続
5	TMDS データ 1 シールド	15	SCL
6	TMDS データ 1 -	16	SDA
7	TMDS データ 0 +	17	DDC/CEC 接地
8	TMDS データ 0 シールド	18	+ 5 V 電源
9	TMDS データ 0 -	19	ホットプラグ検出
10	TMDS クロック +		

● Ethernet/HDBaseT ポート (RJ-45)



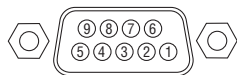
ピン番号	信号
1	TxD + / HDBT0 +
2	TxD - / HDBT0 -
3	RxD + / HDBT1 +
4	非接続 / HDBT2 +
5	非接続 / HDBT2 -
6	RxD - / HDBT1 -
7	非接続 / HDBT3 +
8	非接続 / HDBT3 -

● USB ポート (USB タイプ A)



ピン番号	信号
1	VBUS
2	D -
3	D +
4	接地

● PC コントロール端子 (D-Sub 9 ピン)



ピン番号	信号
1	未使用
2	RxD 受信データ
3	TxD 送信データ
4	未使用
5	接地
6	未使用
7	RTS 送信要求
8	CTS 送信可
9	未使用

8-6. バックグラウンドロゴを変更する (Virtual Remote Tool)

Virtual Remote Tool を使用すると、コンピューターの画面に Virtual Remote 画面（リモコンウインドウまたはツールバー）を表示し、LAN を経由してプロジェクターの電源の入／切や信号切り替えなどの操作ができます。

また、画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。登録後は、ロックをかけてロゴの書き換えを防止できます。

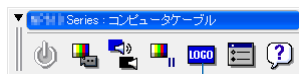
【Virtual Remote 画面】



リモコンウインドウ

● 主な制御機能

- ・ 電源の入／切
 - ・ 入力信号切替
 - ・ 映像・音声のミュート
 - ・ 投写中の動画を静止する
 - ・ プロジェクターへロゴ画像を送信する
- その他、コンピューターの画面上でのリモコン操作



ツールバー

バックグラウンドロゴを登録するときは、このボタンを使います。

Virtual Remote Tool は、当社のホームページからダウンロードしてください。

<https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html>

【注意】

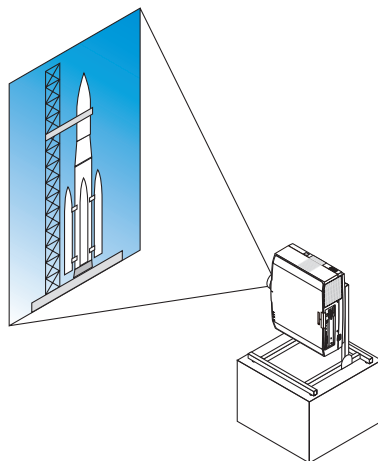
- リモコンウインドウを表示しているときは、ロゴを登録することができません。Virtual Remote 画面の表示をツールバーに切り替えてください。表示の切り替え方法については、Virtual Remote Tool のヘルプをご覧ください。
- Virtual Remote Tool を使って送信できるロゴデータ（画像）には以下の条件があります。
 - フォーマット : JPEG または PNG
 - 解像度 : 本機のパネル解像度以下
WUXGA (1920 × 1200)
 - ファイルサイズ : 1 メガバイト以下
- Virtual Remote Tool で送信したロゴデータ（画像）は中央に表示され、周囲の色は黒色になります。

【参考】

- Virtual Remote Tool は、シリアル接続での制御も可能です。

8-7. ポートレート（縦向き）投写をする

本機を縦設置することでコンピューターなどのポートレート画面を投写することができます。



設置上のご注意

- 床や台の上に本体をそのまま縦向きで設置しないでください。吸気口がふさがれ、本体が高温になり火災や故障の原因となります。
- 本体を支えるスタンドを必ず製作してください。このとき本体の重心がスタンド脚の内側に十分入る様に設計してください。転倒して故障や破損、けがの原因となります。
- プロジェクター本体やスタンドに不具合が発生した場合を想定して、落下防止の対応が必要です。

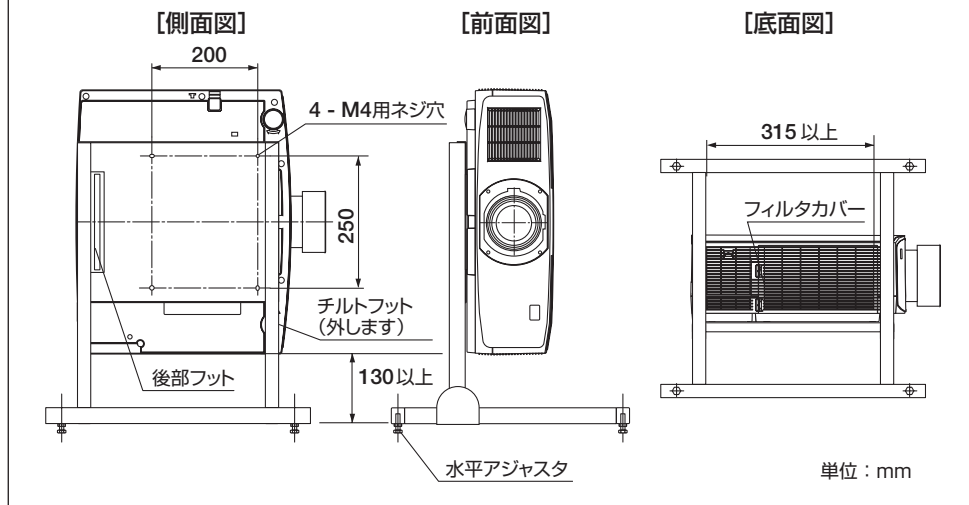
スタンド設計製作の条件

ポートレート投写をするには専用のスタンドをプロジェクター設置業者にご依頼ください（有料）。設計に際しては次のことをお守りください。

1. 本体の吸気口 / フィルターを塞がれないために開口部 315 × 150mm 以上確保してください。
2. 床と本体吸気口（フィルターカバーの開閉）の距離 130mm 以上確保してください。
3. 本体背面にある 4 箇所ネジ穴を使ってスタンドと固定してください。
ネジ穴センター寸法：200 × 250mm
本体のネジ穴寸法：M4 ネジ最大深さ 8mm
※ 本体背面の後部の脚がスタンドにぶつからないように設計してください。前方の脚は回して外すことができます。
4. 水平調整機構（たとえばボルトとナット：4箇所）
5. スタンドは容易に転倒しないよう設計してください。

参考図

※ 寸法条件を表す図で、実際のスタンド設計図ではありません。



8-8. 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

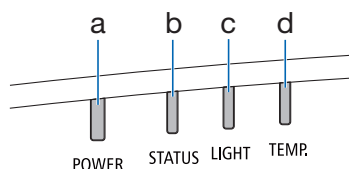
このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	42
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	165
	標高約 1600 m 以上の高地で本機を使用していませんか。 高地で使用する場合はオンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択してください。 高地で本機を使用する場合にファンモードで「高地」を選択していないと、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。	107
	上記の電源コードの接続、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	59
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューのオフタイマーまたはオートパワーオフを「オン」にしていますか。	96 111
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体の INPUT ボタンまたはリモコンの入力を選択するボタンを再度押してください。	46
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	127 } 132
	調整のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	93
	SHUTTER CLOSE ボタンが押されていませんか。	61

このようなとき	確認してください	参照ページ
映像が出ない	<p>HDMI1 入力端子、HDMI2 入力端子の映像がうまく投写できない場合は次の点をご確認ください。</p> <p>お使いのコンピューターに内蔵されているグラフィックボードのドライバーを再インストールください。または最新のバージョンアップを適用してください。</p> <p>再インストール、最新のバージョンアップに関しては、コンピューター、グラフィックボードの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート窓口にお問い合わせください。</p> <p>なお、最新ドライバーや最新 OS は、お客様の責任においてインストールしていただきますようお願いいたします。これらインストールに起因するトラブル、不具合については一切の責任を負わないものとします。</p>	—
	<p>HDBaseT 対応伝送機器によっては信号が対応していない場合があります。また IR、RS-232C が対応できない場合があります。</p>	—
	<p>各設定が正しく調整・設定されていますか。</p>	85
	<p>それでも解決しない場合は、リセットをしてください。</p>	117
	<p>セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたセキュリティキーワードを入力しないと映像は投写されません。</p>	72
	<p>標高約 1600 m 未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクターが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときはファンモードを「高地」に設定してください。</p>	107
映像が歪む	<p>正しく設置されていますか。</p>	48
	<p>台形状に歪む場合は台形補正で調整してください。</p>	66
映像がぼやける	<p>レンズのフォーカスは合っていますか。</p>	51
	<p>投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。</p>	48
	<p>投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。</p>	140
	<p>レンズシフトの移動量が保証範囲を超えていませんか</p>	144
	<p>レンズなどが結露していませんか 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れると投写窓や内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。</p>	—
映像が乱れる	<p>本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。</p>	—

このようなとき	確認してください	参照ページ
映像が突然暗くなった	室温が高いと、本機の保護機能が働いて、一時的に輝度（明るさ）が下がることがあります。 室温を下げてください。	64
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	入力信号が対応している解像度、周波数になっていませんか。	148
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	39
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	38
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はありませんか。	39
	リモコンの有効範囲を超えていませんか。	39
	コントロールID機能を設定している場合、リモコンのID番号とプロジェクターのID番号は一致していますか。コントロールIDを「オン」にすると、本機のリモコンから本機を操作できなくなります。	104
インジケーターが点滅する	インジケーター表示一覧をご覧ください。	164 165
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約5分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	59

8-9. インジケータ表示一覧





本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



- a：電源インジケータ
- b：ステータスインジケータ
- c：ライトインジケータ
- d：温度インジケータ

●通常のインジケータ表示

POWER	STATUS	LIGHT	TEMP.	本機の状態
 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	主電源が切れている
 オレンジ色 (長い間隔の点滅 ^{*1})	 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ノーマル」)
 オレンジ色 (点灯)	 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」)
 緑色 (点灯)	 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	スリープ状態
 青色 (点灯)	 (消灯)	 緑色 (点灯)	 (消灯)	電源オン状態 (ライトモードが「ノーマル」)
 青色 (点灯)	 (消灯)	 緑色 (長い点滅 ^{*2})	 (消灯)	電源オン状態 (ライトモードが「静音」または「長寿命」)
(各状態)	 オレンジ色 (2回周期点滅 ^{*3})	(各状態)	 (消灯)	レンズキャリブレーション実行要求 (画面にレンズキャリブレーション実行要求のメッセージを表示)
 青色 (点灯)	 緑色 (2回周期点滅 ^{*3})	(各状態)	 (消灯)	レンズキャリブレーション中
 青色 (点灯)	(各状態)	 (消灯)	 (消灯)	シャッターが「閉」の状態 (光源が消灯)
 青色 (長い点滅 ^{*2})	 (消灯)	(各状態)	 (消灯)	オフタイマー有効状態 (電源オン状態)

POWER	STATUS	LIGHT	TEMP.	本機の状態
 青色 (短い点滅 ^{*4})	 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	電源オン準備中

※1 1.5 秒点灯 / 7.5 秒消灯 のくり返し

※2 2.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 のくり返し

※3 0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 / 0.5 秒点灯 / 2.5 秒消灯 のくり返し

※4 0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 のくり返し

●異常時のインジケータ表示

POWER	STATUS	LIGHT	TEMP.	本機の状態	処置方法
 青色 (点灯)	 オレンジ色 (点灯)	(各状態)	 (消灯)	本体キーロック中にボタンを押したとき プロジェクターのID番号とリモコンのID番号が一致しないとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。(→ 102 ページ) コントロールIDを確認してください。(→ 104 ページ)
 青色 (点灯)	 (消灯)	 オレンジ色 (点灯)	 オレンジ色 (点灯)	周囲高温	周囲の温度が高くなっているため、保護機能が働いています。室温を下げてください。
 赤色 (短い点滅 ^{*5})	 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	温度エラー	室温が、本機の動作温度 (0 ~ 45℃) を超えています。適切な室温に調節してください。また、排気口がふさがれていないか、吸気口の近くに他のプロジェクターの排気口がないか確認してください。
 赤色 (点灯)	(各状態)	(各状態)	 (消灯)	修理が必要な異常発生中	NEC カスタマーサポートセンターへ修理を依頼してください。その際に、インジケータの点灯状態をお知らせください。

※5 0.5 秒点灯 / 2.5 秒消灯 のくり返し

●温度プロテクターが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、電源インジケータが赤色で短く点滅します。その後、本機の温度プロテクター機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。このようなときは、以下の処置をしてください。

- ・電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・通風口にほこりがたまっていたら、清掃してください。(→ 134, 135 ページ)
- ・本機内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。

8-10. ASCII コントロールコマンドについて

本機は、当社のプロジェクターまたはディスプレイを制御するための共通 ASCII コントロールコマンドに対応しています。

コマンドの詳細は当社ホームページをご覧ください。

<https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/pj/manual/lineup.html>

外部機器との接続方法

プロジェクターとコンピューターなどの外部機器との接続方法には、次の 2 つがあります。

① シリアルポートを使用した接続

シリアルケーブル（クロスケーブル）を使用して、コンピューターとプロジェクターを接続します。

② ネットワーク (LAN) 経由での接続

LAN ケーブルを使用して、コンピューターとプロジェクターを接続します。

使用する LAN ケーブルの種類（ストレート / クロス）については、ネットワーク管理者にご確認ください。

接続インターフェース

① シリアルポートを使用した接続

通信条件

項目	詳細
ボーレート	38400/19200/9600/4800 bps
データ長	8 ビット
パリティビット	なし
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし
通信手順	全二重

② ネットワーク (LAN/HDBaseT) 経由での接続

通信条件 (LAN による接続)

項目	詳細
伝送速度	自動設定 (10/100 Mbps)
対応規格	IEEE802.3 (10BASE-T) IEEE802.3u (100BASE-TX, Auto-Negotiation)

コマンドの送受信には、TCP のポート番号「7142」を使用します。

通信条件（HDBaseT による接続）

項目	詳細
伝送速度	100 Mbps
対応規格	IEEE802.3u (100BASE-TX, Auto-Negotiation)

コマンドの送受信には、TCP のポート番号「7142」を使用します。

本機で使用するパラメーター

● input コマンド

入力端子	レスポンス	パラメーター
HDMI1	hdmi1	hdmi1 または hdmi
HDMI2	hdmi2	hdmi2
HDBaseT	hdbaset	hdbaset または hdbaset1

● status コマンド

レスポンス	本機の状態
error:temp	温度エラー
error:fan	ファン異常
error:light	光源異常
error:system	システム異常

8-11. トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください、それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。

※このページと次のページを印刷してお使いください。

発生頻度 常時 時々 (回中 回) その他()

電源関係

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 電源が入らない (電源インジケータが青色に点灯しない)。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。 <input type="checkbox"/> ④ ボタンを押しても電源が入らない。 | <input type="checkbox"/> 使用中、電源が切れる。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。 <input type="checkbox"/> オートパワーオフは「オフ」に設定されている。 <input type="checkbox"/> オフタイマーは「オフ」に設定されている。 |
|--|--|

映像・音声関係

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> コンピューターの画面が投写されない。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> コンピューターと本機を接続したあとにコンピューターを起動してもなおらない。 <input type="checkbox"/> ノートブックコンピューターにおいて外部出力信号が出力されている。
Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]~[F12]キーのいずれかを押しと外部出力信号が出力されます(コンピューターによって異なります)。 | <input type="checkbox"/> 映像が歪む。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 台形に歪む(台形補正を実行してもなおらない)。 |
| <input type="checkbox"/> 映像が出ない(ブルーバック・ロゴ・表示なし)。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。 <input type="checkbox"/> 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。 <input type="checkbox"/> 画面に何かメッセージが出ている。
() <input type="checkbox"/> 接続している入力を選択している。 <input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。 <input type="checkbox"/> 入力是对応している解像度・周波数の信号である。 | <input type="checkbox"/> 映像が切れる。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。 <input type="checkbox"/> 水平または垂直方向に映像がずれる。 <input type="checkbox"/> コンピューター映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。 <input type="checkbox"/> 入力是对応している解像度・周波数の信号である。 <input type="checkbox"/> 数ドット欠けている。 |
| <input type="checkbox"/> 映像が暗い。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。 | <input type="checkbox"/> 映像がちらつく。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。 <input type="checkbox"/> コンピューター映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。 <input type="checkbox"/> ファンモードを「高地」から「自動」にしてもなおらない。 |
| <input type="checkbox"/> 映像がぼやける・フォーカスが合わない。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。 | <input type="checkbox"/> 映像がぼやける・フォーカスが合わない。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 音声が出ない。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。 <input type="checkbox"/> 音量を調整してもなおらない。 |

その他

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> リモコンが利かない。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。 <input type="checkbox"/> 蛍光灯の近くに本体が設置されている。 <input type="checkbox"/> プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。 | <input type="checkbox"/> 本体操作パネルのボタンが利かない。 <ul style="list-style-type: none"> 本体キーロック設定のある機種において <input type="checkbox"/> 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。 <input type="checkbox"/> 本体のEXITボタンを10秒以上押ししてもなおらない。 |
|---|--|

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクター

型名: NP-PV800UL-WJL
 NP-PV800UL-BJL
 NP-PV730UL-WJL
 NP-PV730UL-BJL

製造番号:
 購入時期:
 ライトモード: ノーマル
 静音 長寿命

入力信号情報:
 水平同期周波数 [kHz]
 垂直同期周波数 [Hz]
 同期極性 H (+) (-)
 V (+) (-)
 同期形態 セパレート ミックス
 Gシンク

インジケータの状態
 POWER : 色 () / 点灯・点滅 ()
 STATUS : 色 () / 点灯・点滅 ()
 LIGHT : 色 () / 点灯・点滅 ()
 TEMP. : 色 () / 点灯・点滅 ()

設置環境

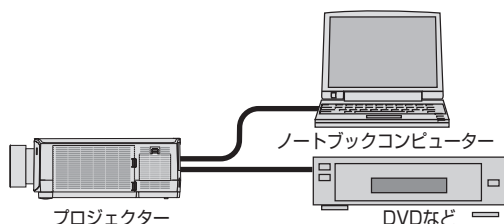
スクリーンサイズ: 型
 タイプ: ホワイトマット ビーズ 偏光
 広視野角 ハイコントラスト

投写距離: m
 投写方法: 天吊り 床置き

電源コンセントは?
 壁からのコンセントを直接利用している。
 電源用テーブルタップを利用している。
 (他、接続機器の数: 台)
 電源ドラム(ロール式)を利用している。
 (他、接続機器の数: 台)

コンピューター

メーカー:
 型名:
 ノートブックコンピューター・デスクトップ一体型
 解像度:
 リフレッシュレート:
 ビデオボード:
 その他:



信号ケーブル

純正・その他
 (型名: 長さ: m)

分配器
 型名:

スイッチャー
 型名:

アダプター
 型名:

接続機器

ビデオ・ブルーレイプレーヤー・カメラ・ゲーム・
 その他
 メーカー:
 型名:

8-12. 別売品

商品名		型名
レンズユニット	短焦点固定レンズ	NP11FL
	ズームレンズ	NP12ZL
	ズームレンズ	NP13ZL
	ズームレンズ	NP14ZL
	ズームレンズ	NP15ZL
	電動ズームレンズ	NP40ZL
	電動ズームレンズ	NP41ZL
	電動ズームレンズ	NP43ZL
	電動ズームレンズ	NP50ZL
	固定焦点レンズ	NP44ML
レンズサポートキット	NP44ML 取り付け用	NP01LK
ケーブルカバー	NP-PV800UL-WJL/NP-PV730UL-WJL 用	NP10CV
	NP-PV800UL-BJL/NP-PV730UL-BJL 用	NP10CV-B
交換用フィルター		NP06FT
天吊り金具	天井用取付けユニット	NP14CM
	天井用取付けユニット (NP44ML 取り付け用)	NP15CM

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

保証と修理サービス(必ずお読みください)

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのと大切に保存してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。(ただし、定期交換部品、消耗品、添付品は除く)

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター(→[裏表紙](#))をお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(→ [161](#) ページ)に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」(→ [168](#), [169](#) ページ)で現象を確認してください。その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

●修理形態

保証書をご覧ください。

●保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	NEC プロジェクター
型名	NP-PV800UL-WJL NP-PV800UL-BJL NP-PV730UL-WJL NP-PV730UL-BJL
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	法人名、ご担当者名
電話番号	

べんり メモ	お買い上げ 店名	☎() -
-----------	-------------	--------

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターの
トータルサポート窓口

NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター

- NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフがお受けいたします。

TEL **0120-610-161** FAX 0120-134-516

受付時間 9:00～18:00 (土・日・祝日、その他特定日を除く)
通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

ホームページ <https://www.sharp-nec-displays.com/jp/support/projector/>

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社